

和歌山県立近代美術館年報

二〇二二

(令和3)年度



## 目 次

---

刊行にあたって	3
和歌山県立近代美術館の使命	4
沿革	5
展覧会事業	9
普及事業	48
作品貸付	51
調査・研究・発表活動および対外協力活動	52
収集事業	57
図書資料収集	79
保存事業	82
管理運営	83
関係法規・規則・規定等	86
建築概要	93
案内	96

# 刊行にあたって

2021(令和3)年度も、昨年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出されるなか、美術館活動全体が厳しい状況のもとで行う必要に迫られました。しかし、徹底した感染症対策を講じて事業を継続し、今後につながる着実な一歩を踏み出す一年となりました。

前年度の開館50年を記念した事業に続いて、本年度は「和歌山県誕生150年」および本県で初開催となる国民文化祭「紀の国わかやま文化祭2021」の特別連携事業として「和歌山の近現代美術の精華」展を、2部構成による全館展示で開催。絵画、彫刻、版画、写真、デザイン、建築を含めた総合的な展示によって、本県ゆかりの美術を広く紹介しました。企画展では「疎密考」「もうひとつの世界」「コミュニケーションの部屋」といった世相を反映した企画が続き、コロナ禍での展覧会活動の見直しが求められるなか、コレクションの意味を深めつつ、「ステイホーム」といった時宜にかなったテーマ等も取り上げながら、来館者の関心を高めるよう努めました。また、11回目を数える恒例の「なつやすみの美術館」では、御坊市出身の画家・野田裕示氏の協力を得て展覧会が実現しました。さらに、新政策事業の「おでかけ美術館」を継続して「野田裕示展」を橋本市で開催し、来館が困難な地域への美術の普及にも努めました。

作品収集では、建畠覚造の代表作である大型彫刻に加えて、京都の創作版画や竹久夢二の版画、稀少な版画誌、国内の美術館でははじめての収蔵となるヴァルター・クレムの版画などを購入しました。寄贈としては、稗田一穂の日本画や日和崎尊夫の版画を作家のご遺族から多数ご寄贈いただき、当館のコレクションの性格を鮮明にする作品が加えられました。

教育普及活動は、昨年度に引き続き感染症対策に注意し

て、解説会やワークショップなどを可能な限り実施しました。また、第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021」の美術・工芸部門に協力し、作品展示を実施しました。

調査・研究活動では、「和歌山の近現代美術の精華」展のカタログに、学芸員全員が、それぞれの専門領域に即した論考を執筆し、写真家・島村逢紅のはじめての紹介とその調査研究の成果も発表され、将来への展開が期待できる取り組みが特筆されます。特別展以外の展覧会での図録やパンフレットの刊行は、依然として困難な状況ですが、引き続き美術館ニュースの発行や、また新たに展示室の3D撮影を行い、360°ウォークスルービューをウェブサイトで公開するなど、活動の記録を残す試みを行いました。

パンデミックの状況下で、美術館界でも展覧会や各種事業活動の開催形態のあり方が問われるなか、50年の蓄積により公立美術館でも屈指のコレクションを有する当館では、さらなる展開の可能性が考えられます。そのためにも、現在の黒川紀章設計による新館開館から28年を経て、施設面の老朽化、収蔵庫や一時保管庫の狭隘の状況の改善、南海トラフ地震への対応など、施設面での整備が急がれるところです。

当館の活動は、ご来館くださる方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立っています。ここに心から感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため、本年報を刊行いたします。

2023(令和5)年3月

和歌山県立近代美術館

# 和歌山県立近代美術館の使命

芸術は、私たちに楽しさや深い感動、精神的な安らぎをもたらします。芸術作品に触れることで、人は豊かな人間性を涵養し、未来への創造力を自らのうちに育むことができます。

和歌山県立近代美術館は、展覧会等を通じて人々に国内外の優れた美術文化に接する機会を提供し、地域や学校と連携しながら各種事業を通じて学校教育や生涯学習を支援することをめざします。そうした活動を通じて文化による地域作りを活性化し、文化資源の保全と活用を図り、文化芸術を担う人作りの推進に努めます。

このような目的を実現するため、以下の基本方針をもって臨みます。

## 1 魅力ある展覧会を開催します。

県民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供するため、魅力的な特別企画展・企画展を開催するとともに、充実した館藏品コレクションを活用して常設展を開催します。展覧会は次の4つの方針によって開催します。

- ①国内の近現代美術を紹介
- ②海外の多様な美術を紹介
- ③和歌山ゆかりの優れた作家を紹介
- ④現在活躍している若手作家を紹介

## 2 調査・研究の充実を図り成果の公表と反映に努めます。

美術史等の研究に寄与するため、充実した調査・研究を行い、その成果を展覧会や教育普及活動等に反映させ、印刷物、インターネット等を通して公開します。

## 3 作品・資料の収集を行います。

美術作品収集方針に沿って作品・資料の収集を行い、県民の文化遺産のさらなる形成に努めます。

## 4 所蔵作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備を行います。

収集した作品・資料を文化財として活用し、文化遺産として未来に伝えるため、状態調査及び保存修復、保存環境の整備に努めます。

## 5 地域と連携し学校教育や生涯学習を支援します。

地域の学校と連携して、子どもたちが団体鑑賞、体験的プログラムに参加できる環境を整備することによって、また

鑑賞教材の作成等を通じて、幅広い学習支援を行います。多様化する県民の関心に応えるため、ワークショップや解説会への参加等を通して生涯学習の支援を行います。またボランティアや友の会との協働を図り、他の県立博物館施設をはじめとする生涯学習施設・関係機関・団体等と連携します。

## 6 国内外の美術館や関連組織等と連携し、多様な活動を展開します。

これまで深めてきたわが国の美術館や関連組織等との信頼関係を基に、さらなる学術交流を行い、より質の高い、幅広い事業を展開するように努めます。国内外の美術館に所蔵作品・資料を貸し出すことにより、当館の優れたコレクションの魅力を発信します。本県の美術文化の発展並びに博物館活動を通じて広く知的資源の蓄積に寄与できるよう努めます。

## 7 利用者が安全で快適に利用できるよう美術館運営を行います。

すべての利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の維持管理を行うとともに、危機管理、安全、アメニティーに対する職員の意識向上に努めます。また施設の美観の保持と衛生管理に努めます。

## ■和歌山県立美術館

### 1963 (昭和 38) 年

- 3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館
- 7月 川口軌外展
- 10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展
- 11月 第17回和歌山県美術展(1969年第23回展まで開催)

### 1964 (昭和 39) 年

- 4月 紀州陶磁器展
- 10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展

### 1965 (昭和 40) 年

- 3月 祇園南海展
- 5月 長沢蘆雪名作展
- 7月 日高昌克展
- 10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展

### 1966 (昭和 41) 年

- 3月 ダリ・シャガール・ピュッフエ版画展
- 6月 石垣栄太郎遺作展
- 6月 日本伝統工芸秀作展
- 7月 川端龍子展
- 10月 松方コレクション展

### 1967 (昭和 42) 年

- 4月 国際青年美術家展・日本／アメリカ展
- 8月 和歌山アンデパンダン展
- 10月 富岡鉄斎展

### 1968 (昭和 43) 年

- 3月 桑山玉洲展
- 4月 浮世絵総合展(吉川観方コレクション)
- 7月 1968 和歌山アンデパンダン展
- 9月 扇絵展
- 10月 明治100年記念 郷土作家回顧展

### 1969 (昭和 44) 年

- 4月 保田龍門展
- 10月 明治・大正・昭和・名作美術展

### 1970 (昭和 45) 年

- 3月 京都の近代日本画展
- 4月 日本女装展(吉川観方コレクション)
- 11月2日 廃館

## ■和歌山県立近代美術館

### 1970 (昭和 45) 年

- 11月2日 和歌山県民文化会館内に開館
- 第24回和歌山県美術展(1993年第47回展まで開催)

### 1971 (昭和 46) 年

- 3月 大夢・晩花展
- 4月 竹久夢二展
- 8月 紀州の風景画展

### 1972 (昭和 47) 年

- 1月 浜口陽三版画展
- 3月 原勝四郎展
- 4月 現代日本絵画秀作展
- 10月 アメリカにおける日本人作家回顧展  
一石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本

### 1973 (昭和 48) 年

- 3月 地中海の古代美術展
- 4月 日本伝統工芸秀作展
- 10月 川口軌外展

### 1974 (昭和 49) 年

- 4月 吉田政次遺作展
- 10月 碓伊之助展

### 1975 (昭和 50) 年

- 10月 木下孝則回顧展

### 1976 (昭和 51) 年

- 2月 1910年代における京都日本画の新動向
- 10月 木下義謙作品展

### 1977 (昭和 52) 年

- 2月 田中恭吉展
- 10月 川端龍子展 龍子 そのすべて

### 1978 (昭和 53) 年

- 10月 日高昌克展

### 1979 (昭和 54) 年

- 2月 神中糸子と工部美術学校展
- 5月 村井正誠展
- 10月 高井貞二展

### 1980 (昭和 55) 年

- 3月 川口軌外とその周辺—和歌山の初期独立展系作家たち—
- 10月 開館10周年記念1930年協会の作家たち展

### 1981 (昭和 56) 年

- 3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展
- 10月 下村観山—その人と芸術—

### 1982 (昭和 57) 年

- 2月 建島覚造展
- 7月 イタリア美術の一世紀展《1880-1990》
- 10月 稗田一穂展

### 1983 (昭和 58) 年

- 7月 関西の美術家シリーズ1 一津高和一・泉茂・吉原英雄展
- 10月 日本の洋画秀作展

### 1984 (昭和 59) 年

- 2月 和歌山の作家と県内洋画壇展
- 7月 関西の美術家シリーズ2 元永定正・白髪一雄展
- 10月 紀州の風景を描いた作家たち展

### 1985 (昭和 60) 年

- 3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人—清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展
- 10月 開館15周年記念 近代洋画の展開—初期独立美術協会の作家たち展

### 1986 (昭和 61) 年

- 7月 独創傑出の画家 朝井閑右衛門の世界
- 10月 瑛九とその周辺

### 1987 (昭和 62) 年

- 3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人—大野倣嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
- 9月 太平洋を越えた日本の画家たち アメリカに学んだ18人

### 1988 (昭和 63) 年

- 3月 描かれた動物たち
- 7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人—井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
- 10月 竹久夢二とその周辺

### 1989 (昭和 64・平成元) 年

- 3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展

7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形—土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展  
10月 親と子で見る世界の名画展

#### 1990 (平成2) 年

7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在—4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展  
10月 現代の陶芸 1980—1990 関西の作家を中心として

#### 1991 (平成3) 年

3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展  
9月 ポスター芸術100年展 サントリー美術館所蔵グランヴィルコレクション

#### 1992 (平成4) 年

10月 版画芸術の饗宴—ケネス・タイラーと巨匠たち:1963-1992

#### 1993 (平成5) 年

3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

### ■新館計画

#### 1988 (昭和63) 年

2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定  
3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置  
9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置

#### 1989 (昭和64・平成元) 年

4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置  
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申  
8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置  
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置  
9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認

#### 1990 (平成2) 年

3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託

#### 1991 (平成3) 年

7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入  
10月 施設着工式を挙行  
11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入

#### 1992 (平成4) 年

8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッカIII》(1968)を購入

#### 1993 (平成5) 年

9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノトーロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入

#### 1994 (平成6) 年

2月 定礎式を挙行  
3月 工事完了  
4月 新美術館へ移転

### ■和歌山県立近代美術館 新館

7月8日 新近代美術館開館  
開館記念展1 美術館へ行こう  
10月 開館記念展2 大正のまなざし—若き保田龍門とその時

代—

11月 小企画展 ルオーの「ミゼレーレ」

#### 1995 (平成7) 年

1月 恩地孝四郎—色と形の詩人—  
2月 小企画展 和歌山ゆかりの作家たち  
4月 1994年度新収蔵作品展  
4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展—イギリス絵画の350年  
7月 村井正誠展 色と形と心—人間の詩  
8月 小企画展 美術館に行ったよ!—風景ってなあに—  
8月 小企画展 日本の近代版画  
9月 保田春彦展  
10月 野田裕示近作展

#### 1996 (平成8) 年

1月 線画の世界—かたりの表現—  
2月 ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作品たち  
4月 美術館へ行ったら!?「絵画」というしくみ  
6月 紀伊半島を歩いて—ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン  
8月 モスクワ、プーシキン美術館名作展—室内への視線—  
9月 ホックニーのグリム童話  
11月 日本のグラフィックデザイン

#### 1997 (平成9) 年

1月 和歌山の版画家10人  
3月 新しい関西の美術家たち ものとあらわれ  
4月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見る東京  
5月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見るパリ  
7月 アルザスとフランス近代美術の歩み—ストラスブール近代美術館展  
8月 版画の技法・表現の手法  
10月 マリノ・マリーニ展  
11月 アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち

#### 1998 (平成10) 年

1月 心のかたち  
2月 泉茂 初期版画作品を中心に  
4月 世紀末芸術の華 オーブリー・ピアズリー展  
5月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1  
6月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2  
8月 静けさの中から 星の贈りもの  
9月 和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3  
10月 意味とイメージ—あらわれる浪漫主義の明治  
12月 フランス現代美術展 眼と精神

#### 1999 (平成11) 年

2月 関西の戦後美術 1950's-1990's  
4月 めいさく根掘葉掘 アートと知り合い!  
6月 デモクラート 1951-1957 開放された戦後美術  
7月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4  
8月 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展  
9月 サンフランシスコ近代美術館展—カリフォルニア・アートシーン 1920's-1930's  
11月 川口軌外展 ある洋画家の軌跡  
12月 越境する想像力 素材との出会い

#### 2000 (平成12) 年

2月 コレクションにみる 芸術と社会  
4月 田中恭吉展  
5月 定規とコンパス?幾何学図形と美術の表現  
7月 印象派の巨匠 シスレー展—イル・ド・フランスの光を愛して  
9月 東欧絵本の世界展 国境を越える 子どものためのアート  
11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ  
12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト

<b>2001 (平成 13) 年</b>		7月	relations 関係 —藤本由紀夫 /happy conceptual—杉山知子 + 藤本由紀夫
2月	版画今昔	10月	森のなかで
4月	夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展	12月	美術百科「色・いろいろ」の巻—コレクションによる全館展示
5月	うごけば、かわる。	<b>2008 (平成 20) 年</b>	
8月	宇佐美圭司・絵画宇宙	4月	抒情の様式
9月	浜口陽三へのオマージュ	6月	共作×共鳴×共感—ともに作られた作品たち
10月	マックス・エルンスト展	7月	ルオーの〈ミセレーレ〉 人間へのまなざし
12月	一期一会 であう めでる つたえる—コレクションによる全館展示	9月	点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦
<b>2002 (平成 14) 年</b>		11月	彼岸の美術
4月	あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀	12月	美術百科「この人はだれ」の巻—コレクションによる全館展示
5月	「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界	<b>2009 (平成 21) 年</b>	
7月	アンジェ美術館展	4月	原勝四郎展
9月	山本容子の美術遊園地	4月	アメリカをめぐる
11月	美術百科「この人のこの一点」の巻—コレクションによる全館展示	6月	油絵の理由—「あぶらえ」は好きですか?
<b>2003 (平成 15) 年</b>		7月	生誕 100 年記念 浜口陽三展
4月	はじめての美術 絵本原画の世界展	7月	サマー・ミュージアム—わかやま発見—
6月	チャベック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド	9月	自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展
7月	近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	9月	コレクション名品展
9月	たがやすように 熟す画面の4つのかたち	11月	世界遺産登録 5 周年記念 描かれた紀伊山地の霊場と参詣道
11月	和歌山県特別事業 創設 40 周年記念 文化表彰の歩み展	11月	和歌山県特別事業 第 63 回和歌山県美術展覧会 (以降継続)
12月	美術百科「七つの鍵」の巻—コレクションによる全館展示	12月	美術百科「ここはどこ」の巻—コレクションによる全館展示
<b>2004 (平成 16) 年</b>		<b>2010 (平成 22) 年</b>	
4月	和歌山県特別事業「日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパントウデイ vol.6」	4月	開館 40 周年記念展Ⅰ ようこそ彫刻の森へ
4月	和歌山県特別事業 atW vol.1「永坂嘉光・鈴木理策 高野 熊野 聖地」	4月	特集展示 宇佐美圭司—絵画の歩み—
6月	小野竹喬展	7月	特集展示 大亦新治郎のスケッチから—明治・大正の和歌山のまち
7月	ピノッキオ その誕生から現代まで展	9月	開館 40 周年記念展Ⅱ 日本近代の青春創作版画の名品
11月	チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展	10月	特集展示 保田春彦 近作デッサンを中心に
<b>2005 (平成 17) 年</b>		11月	和歌山県特別事業 平山郁夫追悼展示、小沢道治展
1月	開館 10 周年記念 美術百科「版画」の巻—コレクションによる全館展示	<b>2011 (平成 23) 年</b>	
4月	没後 10 年 遺業・泉茂	1月	開館 40 周年記念展Ⅲ 油絵の魅力 イズムを超えて
6月	世界の版画名品選	3月	版画の「アナ」 ガリ版がつなぐ孔版画の歴史
7月	夏休み わかやま美術探偵団 関連企画 鈴木昭男「点音 in 和歌山」	3月	特集展示 吉田政次の世界
9月	版画家たちの表情	4月	ポップ? ポップ! ポップ♡ コレクションに見るポップなアートの 50 年
11月	佐伯祐三—芸術家への道—	6月	特集展示 生誕 120 年記念 恩地孝四郎・藤森静雄
<b>2006 (平成 18) 年</b>		7月	なつやすみの美術館「みること」「うつすこと」
1月	美術百科「世界一周」の巻—コレクションによる全館展示	9月	生誕 100 年 高井貞二展—「昭和」を描いた人—
4月	ベトナム近代絵画展 花と銃—インドシナ・モダンの半世紀	9月	特集展示 生誕 120 年 保田龍門
4月	小特集 追悼・建畠寛造 + 新収蔵作品	11月	吉原英雄展 画家のドラマ
6月	現代「日本画」の展望—内と外のあいだで—	12月	特集展示 生誕 130 年 日高昌克
8月	和歌山県特別事業 和歌山県美術展覧会第 60 回記念 和歌山の美術を担う作家たち展	12月	特集展示 吉原英雄を囲む作家たち
7月	小特集 野田裕示 + 鈴木理策	<b>2012 (平成 24) 年</b>	
9月	森鷗外と美術	2月	ホックニーのグリム童話
11月	小特集 没後 20 年 高井貞二—ニューヨークのタカイ	3月	特集展示 井田照一
11月	科学の感情—あたらしい時代の感覚と表現—	4月	人間と自然の美術
<b>2007 (平成 19) 年</b>		6月	なつやすみの美術館 2 : かたちと色の ABC
1月	美術百科「前衛の関西」の巻—コレクションによる全館展示	6月	特集展示 なつやすみ特集 野田哲也
4月	教育普及課を設置	9月	生誕 120 年記念 田中恭吉展
4月	竹久夢二展—描くことが生きること—	9月	特集展示 幻想の美術
4月	特集展示 大正デカダンス 「夢二学校」+「テルヲ・バンカ」	11月	生誕 120 年記念 川口軌外の歩み展
6月	ふだん美術—日常に向けた目と心—	12月	特集展示 没後 70 年 建畠大夢
6月	特集展示 うるわしき技の世界 近現代美術の達人たち	<b>2013 (平成 25) 年</b>	
7月	relations 関係 —藤本由紀夫 /FUJIMOTO and	2月	謄写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート
		3月	特集展示 版画・図案・オブジェ
		4月	日本の絵画の五十年
		6月	特集展示 瑛九：紙の上の仕事

- 7月 なつやすみの美術館3 『美術の時間』
- 9月 生誕120年記念 石垣栄太郎展
- 9月 特集展示 没後100年 香山小鳥 ゆめの日のかけ
- 12月 特集展示 人間と宇宙のドラマ：吹田文明・堀井英男・長岡國人
- 12月 物質(モノ)と美術

**2014(平成26)年**

- 2月 版画について考える—101年目の宿題—
- 3月 特集展示 モノクロームの世界
- 4月 美術館の運営状況等を評価することを目的として「和歌山県立近代美術館評価部会」を設置
- 4月 建畠覚造と戦後の彫刻 かたちをさぐる
- 6月 特集展示 生誕120年 大赤観風
- 7月 なつやすみの美術館4 生きている!
- 9月 特集展示 没後50年 野長瀬晩花
- 11月 観光する美術 和歌山から始まる旅
- 12月 特集展示 コレクション/ドネーション

**2015(平成27)年**

- 1月 『月映』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 一木版にいのちを刻んだ青春
- 3月 和歌山と関西の美術家たち リアルのリアルのリアルの
- 3月 特集展示 『版画』の明治—印刷と美術のはざままで
- 3月 「和歌山県立近代美術館の使命」を公開
- 5月 保田龍門・保田春彦展
- 6月 特集展示 くりかえしの美
- 7月 なつやすみの美術館5 つぶやき おはなしものがたり
- 9月 ここだけの日本画
- 9月 特集展示 アメリカ移民の歴史と芸術家たち
- 9月 特集展示 生誕120年 逸見享
- 12月 生誕110年 村井正誠展 ひとの居る場所
- 12月 特集展示 光について

**2016(平成28)年**

- 3月 宇佐美圭司回顧展 絵画のロゴス
- 3月 特集展示 謄写印刷工房から—印刷と美術のはざままで
- 4月 恩地孝四郎展 抒情とモダン 関連企画 本の美術：ルリキュールへの誘い
- 6月 特集展示 ドローイング—水彩・パステル・紙の世界
- 7月 なつやすみの美術館6 きろくときおく
- 9月 特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現
- 10月 和歌山県特別事業 第1回和歌山県ジュニア美術展覧会(以降継続)
- 11月 動き出す!絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち
- 11月 大正の異色画家たち(特別展「動き出す!絵画」第二部)

**2017(平成29)年**

- 1月 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた
- 1月 特集展示 群像—交錯する声
- 4月 現代版画の展開
- 5月 特集 おはなしのなかへ
- 6月 鈴木久雄 彫刻の速度 和歌山展
- 7月 なつやすみの美術館7 すききらい、すき? きらい?
- 9月 特集 NANGA 俗を去り自ら楽しむ
- 10月 アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎

**2018(平成30)年**

- 1月 特集 はじまりの景色
- 1月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち I 古きに学(まね)ぶ 下村観山を中心に
- 2月 明治150年記念 水彩画家・大下藤次郎展
- 4月 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園
- 4月 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画
- 4月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II
- 7月 なつやすみの美術館8 タイムトラベル
- 8月 特集 鈴木昭男 音と場の探究

- 8月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III
- 9月 和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる
- 10月 特集 国展の版画
- 11月 創立100周年記念 国画創作協会の全貌展

**2019(平成31・令和元)年**

- 1月 コレクション名品選
- 1月 空調設備工事のため休館
- 4月 LOVE (your) LIFE! まいにちがアート
- 4月 コレクション展2019—春—新収蔵作品
- 6月 ニューヨーク・アートシーン ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に
- 7月 なつやすみの美術館9 水と美術 feat. 坂井淑恵
- 9月 時代の転換と美術 「大正」とその前後
- 9月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵品より みやこの洗練 明治の京都画壇
- 9月 特集 生誕130年記念 せんぱん—前川千帆の版画—
- 10月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第1回 紀南地方坂井淑恵展「水の中」
- 11月 2020日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク
- 11月 特集 ニホンラシサを探せ
- 11月 外交史料展 外交史料と近代日本のあゆみ

**2020(令和2)年**

- 1月 コレクション名品選
- 1月 2階展示室照明機器改修工事のため休館
- 5月 もようづくし
- 5月 特集 浜地清松
- 6月 特集 浜口陽三
- 7月 なつやすみの美術館10 あまたの先日ひしめいて今日
- 9月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第2回 紀中地方田中秀介展「かなたの先日ふみこんで今日」
- 9月 もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作展2020
- 9月 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年
- 12月 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ

**2021(令和3)年**

- 1月 コレクション名品選
- 1月 1階展示室照明改修工事のため休館
- 4月 疎密考
- 4月 特集 うちのなかから
- 6月 もうひとつの世界
- 7月 なつやすみの美術館11 野田裕示「集まる庭」
- 8月 コミュニケーションの部屋
- 10月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第3回 紀北地方野田裕示展
- 10月 和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで/第2部 島村逢紅と日本の近代写真

**2022(令和4)年**

- 1月 コレクション名品選
- 2月 20世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ
- 2月 特集 若き日の野長瀬晩花

## 2021 (令和 3) 年度展覧会一覧

### 1. 特別展

- 1. 和歌山県誕生 150 年 紀の国わかやま文化祭 2021 特別連携事業 …………… 10  
和歌山の近現代美術の精華  
第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで  
第 2 部 島村逢紅と日本の近代写真  
10月23日(土)～12月19日(日)

### 2. 企画展

- 1. 疎密考 …………… 21  
4月24日(土)～5月30日(日)
- 2. もうひとつの世界 …………… 24  
6月8日(火)～7月18日(日)
- 3. コミュニケーションの部屋 …………… 28  
8月15日(日)～10月10日(日)
- 4. 20世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ …………… 32  
2022年2月5日(土)～3月27日(日)

### 3. 常設展

- 1. コレクション展 2021 ー春 特集 うちのなかから …………… 35  
4月24日(土)～7月4日(日)
- 2. コレクション展 2021 ー夏 なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」 … 37  
7月17日(土)～9月26日(日)
- 3. コレクション名品選 …………… 42  
2022年1月8日(土)～1月23日(日)
- 4. コレクション展 2022 ー冬春 特集 若き日の野長瀬晩花 …………… 44  
2022年2月8日(火)～4月17日(日)

### 4. その他

- 1. 芸術に親しもう！おでかけ美術館 第3回 紀北地方 野田裕示展 …………… 47  
10月1日(金)～10月24日(日)

# 1-1. 和歌山県誕生 150 年 紀の国わかやま文化祭 2021 特別連携事業

## 和歌山の近現代美術の精華

### 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで

### 第 2 部 島村逢紅と日本の近代写真

会期 : 2021 年 10 月 23 日 (土) ~ 12 月 19 日 (日) 50 日間 (休館日を除く)

\*第 1 部のみ展示替えを実施 前期展示: 10 月 23 日 (土) ~ 11 月 23 日 (火)、後期展示: 11 月 25 日 (木) ~ 12 月 19 日 (日)

第 1 部会場: 展示室 A・B (1 階) / 第 2 部会場: 展示室 C (2 階)

主催 : 和歌山県立近代美術館、NHK 和歌山放送局、NHK エンタープライズ近畿

助成 : 芸術文化振興基金

入場者数 : 12,565 人

内容 : 和歌山ゆかりの近代・現代美術の重要作を、日本画、洋画、彫刻、版画、そして写真やデザインといった新しい分野にも注目しながら展示。和歌山で育まれた文化の魅力を紹介した。第 1 部では本県ゆかりの美術家とその支援者たち、そしてそれぞれの仕事を紹介し次世代につなぐ場として、当館の建物を設計した黒川紀章まで、多様な作品や資料を一堂に集めて紹介し、第 2 部では和歌山市出身の写真家・島村逢紅(しまむら ほうこう)を、福原信三など交流のあった同時代を代表する写真家や「木国交友会」のメンバーの作品とともに、初めて本格的に紹介した。

展示点数 : 第 1 部 33 作家 213 点 / 第 2 部 12 作家 247 点

担当学芸員: 山野英嗣(館長)、奥村泰彦、井上芳子、植野比佐見、奥村一郎、宮本久宣、青木加苗、藤本真名美

関連事業 : ・講演会「和歌山の近現代美術の精華」山野英嗣 10 月 24 日 (日) 14:00 ~ 15:30 2 階ホールにて 13 名

・ワークショップ「光とあそぶ」10 月 30 日 (土)、31 日 (日) 10:00 ~ 15:00 当館敷地内および 2 階ホールにて 10 名、15 名

講師: 佐藤時啓(美術家、東京藝術大学教授)

主催: 文化庁、厚生労働省、和歌山県、和歌山県教育委員会、第 36 回国民文化祭、第 21 回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会、和歌山県立近代美術館、NPO 法人和歌山芸術文化支援協会(wacss)

協力: 田並劇場保存会

・紀の国わかやま文化祭 2021 関連イベント 講演会 11 月 3 日 (水・祝) 13:30 ~ 14:40 2 階ホールにて 34 名

「増田八郎の仕事」講師: 藤隆宏(和歌山県立文書館)

「黒川紀章と和歌山県立近代美術館・博物館」講師: 吉田行雄(建築家、元黒川紀章建築都市設計事務所設計部長、国士館大学大学院非常勤講師)

主催: 文化庁、厚生労働省、和歌山県、和歌山県教育委員会、第 36 回国民文化祭、第 21 回全国障害者文化・芸術祭和歌山県実行委員会、「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会

・スライドレクチャー「和歌山の近現代美術」

11 月 6 日 (土) 日本画 藤本真名美 19 名

11 月 20 日 (土) 彫刻 青木加苗 15 名

11 月 21 日 (日) 美術文化 宮本久宣 12 名

11 月 27 日 (土) 写真 奥村一郎 18 名

12 月 4 日 (土) 洋画 植野比佐見 16 名

12 月 11 日 (土) 版画、デザイン 井上芳子 11 名

12 月 18 日 (土) 現代美術 奥村泰彦 12 名

各回 14:00 ~ 15:00 2 階ホールにて

・子ども美術館部「せいかつてすごい」12 月 4 日 (土)、5 日 (日) 11:00 ~ 12:00 1 階展示室にて 青木加苗 各 6 名

・「島村逢紅と日本の近代写真」展示映像(約 10 分) 制作: NHK エンタープライズ近畿総支社 監修: 和歌山県立近代美術館 \*会期中、第 2 部展示室入口にて上映

制作物 : ・第 1 部ポスター (B2 判、オフセット印刷)

・第 2 部ポスター (B2 判、オフセット印刷)

・チラシ (A4 判、オフセット印刷 \*第 1 部、第 2 部共通)

・第 1 部出品目録 (A4 判 8 頁)

・第 2 部出品目録 (A4 判 8 頁)

・プレスリリース (A4 判 6 頁)

・第 1 部図録 (B5 判変形 25.9 × 18.5cm、296 頁、オフセット印刷)

・第 2 部図録 (B5 判変形 25.9 × 18.5cm、216 頁、オフセット印刷)

・360°ウォークスルービュープログラム(当館ウェブサイトにて公開)

第 1 部図録『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』: 和歌山県立近代美術館 2021 年 10 月 23 日発行

・山野英嗣 和歌山の近現代美術の精華

・奥村泰彦、井上芳子、植野比佐見、奥村一郎、宮本久宣、青木加苗、藤本真名美 略歴・解説

(藤本真名美 下村観山—古きに学ぶ/藤本真名美 下村清時—観山を支えた能面保存の功労者/宮本久宣 川端龍子—絵画表現の革新を目指して/青木加苗 建畠大夢—塑った人/井上芳子 保田龍門—普遍性の追求/奥村一郎 南紀美術会—和歌山と東京、郷土ゆかりの美術家たちを結ぶ/植野比佐見 西村伊作とその周辺—与謝野寛・晶子と伊作/宮本久宣 北山清太郎—美術の伝道者から日本アニメーションの創始者へ/井上芳子 田中恭吉—のこころ/井上芳子 恩地孝四郎—抒情と抽象/井上芳子 逸見享—仙人掌のある風

景／藤本真名美 野長瀬晩花—はねかへり者の挑戦／宮本久宣 日高昌克—心の自然を描く／奥村泰彦 川口軌外—日本の洋画の独自性を求めて／青木加苗 原勝四郎—和歌山に愛された男／奥村一郎 石垣栄太郎とメキシコ壁画運動—ホイットニー美術館での展覧会から／植野比佐見 村井正誠—「URBAIN」のなかから／植野比佐見 浜口陽三—光を刻むメゾチント／奥村泰彦 吉田政次—静けさを求めて／井上芳子 山名文夫—ペンとインクと唐草文様／藤本真名美 稗田一穂—戦後を駆け抜けた100年の軌跡／青木加苗 建島覚造—コレクションのあゆみと初期作品における人体モチーフについて／井上芳子 保田春彦—閉ざされた祠、進化の過程／奥村泰彦 松谷武判—禁欲と多義性／奥村泰彦 宇佐美圭司—世界と対峙する4つの人型／奥村泰彦 野田裕一—絵画への問い／奥村一郎 鈴木理策の言葉から—熊野と写真をめぐって／井上芳子 黒川紀章—メタボリズムから共生へ 和歌山県立近代美術館・博物館の事例)

- ・ 山野英嗣 年表—和歌山県に関連した美術動向

第2部図録『和歌山の近現代美術の精華 第2部 島村逢紅と日本の近代写真』：和歌山県立近代美術館 2021年10月23日発行

- ・ 山野英嗣 和歌山のモダニズム—写真家・島村逢紅
- ・ 奥村一郎 島村逢紅と日本の近代写真—展覧会開催にあたって
- ・ 奥村一郎 島村逢紅関連年譜
- ・ 奥村一郎 作家解説
- ・ 〈資料〉島村逢紅自筆文献再録／島村逢紅旧蔵写真雑誌・年鑑／島村逢紅個展資料／木国写友会関連資料
- ・ 主な参考文献

入場料金 : 一般1,000円(800円)、大学生600円(480円) ( )内は20名以上の団体料金 \*第1部第2部共通

自己評価・ : 第1部では、当館がこれまで調査研究をつみ重ねてきた作家について、その成果に基づきつつ、普段紹介することができない重要な作品を、課題・ 東京国立近代美術館や宮内庁三の丸尚蔵館などから借用し、所蔵品とともに紹介することで、各作家の活動を改めて地元印象づける機会とすることができた。またこれまで紹介する機会を設けられずにいたデザイナーの山名文夫や、当館の建築設計を手がけた黒川紀章についても展示に加えることで、和歌山に関わる多様な美術文化を発信することができた。各作家について、改めて展示の機会を設け、さらなる調査研究や新たな作品収集の機会へとつなげていくことが、今後の課題となる。

改善案 : 第2部では、新たに発見された作品や資料を中心に整理を進め、島村逢紅の写真の写真を初めて体系的に紹介し、近代日本の写真史のなかにその仕事を位置付けることができた。「木国写友会」についてはさらなる会員の作品を発掘することで、近代の和歌山における写真文化の状況をあきらかにしていきたい。また残された逢紅作品や資料について調査研究を継続し、次回の展覧会開催につなげたい。展示室空間は3D撮影の上、360°ウォークスルービュープログラムとして当館ウェブサイト上で公開している。

- 関連記事 :
- ・ 「〈大人のたしなみ、美術展便り〉『和歌山の近現代美術の精華』『月刊のむシリカ』Vol.39、2021年10月、14頁
  - ・ 「和歌山県立近代美術館 和歌山の近現代美術の精華」『和歌山特報』2021年10月11日、10面
  - ・ 「和歌山の近現代美術の精華」展 重要作集め魅力再発見」『紀伊民報』第23781号、2021年10月16日、6面(10月15日にウェブ配信)
  - ・ 「島村逢紅、求めた「黒」の表現 23日～近代美術館で写真展」『わかやま新報』2021年10月22日、1面
  - ・ 「日本写真界の大発見 膨大な資料で島村逢紅に脚光」『わかやま新報』2021年10月22日、7面
  - ・ 「〈紀の国わかやま文化祭2021 未来へつなぐ人〉Vol.10 舞台の裏側で支える人 年代関係なく、写真を通じた出会い」『リビング和歌山』2021年11月13日、14面(11月11日にウェブ配信)
  - ・ 平野真由「写真に息づく大正・昭和 和歌山出身・島村逢紅の200点」『読売新聞』(和歌山版)2021年11月19日、29面
  - ・ 正木利和「和歌山の近現代美術の精華」県立近代美術館 野長瀬晩花の先進性伝える」『産経新聞』(夕刊)2021年11月19日、4面
  - ・ 山脇新一郎「黒の写真家 島村逢紅の軌跡 和歌山で展示 大正～昭和 表現の変遷」『毎日新聞』(大阪版・夕)2021年11月20日、2面(同日ウェブ配信)
  - ・ 奥村一郎「和歌山の近現代美術の魅力をつんだんに 初公開の作品も」『新美術新聞』2021年11月21日、2面
  - ・ 峰順一「〈峰順一の全国美術館めぐり〉(141) 和歌山県立近代美術館(上)～和歌山の近現代美術の精華～」『MEDICAL QOL』No.325(2021年12月号)、2021年12月1日、76-77頁
  - ・ 「特別展「和歌山の近現代美術の精華」」『わかやま探検ミュージアム』Vol.68(12・1月号)、2021年12月1日、5頁
  - ・ 「島村逢紅が写した「光と影」 19日まで近代美術館で特別展」『わかやま新報』2021年12月8日、3面(同日ウェブ配信)
  - ・ 峰順一「〈峰順一の全国美術館めぐり〉(142) 和歌山県立近代美術館(下)～萩原朔太郎と田中恭吉～」『MEDICAL QOL』No.326(2022年1月号)、2022年1月1日、76-77頁
- その他の :
- ・ 「和歌山の近現代美術の精華」展について」NHK和歌山放送局「ギョギョッと和歌山」、2021年10月28日、11月4日放送
- メディア報道 :
- ・ 白鳥正夫「〈アートへの招待〉7 和歌山の文化力全国へ発信のテーマ展」太平洋ADCフォルテ株式会社「VOICE」、2021年11月5日公開(ウェブマガジン)
  - ・ 「きのくにの名宝～わかやまの歴史・美術を現代まで知ろう!～」NHK和歌山放送局「はばたく紀の国」、2021年11月7日放送
  - ・ 飯沢耕太郎「artscape レビュー」和歌山の近現代美術の精華 第2部 島村逢紅と日本の近代写真」artscape、2022年2月1日公開(ウェブマガジン)

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日：2023年2月1日

和歌山の近現代美術の精華 第1部 出品目録

前期 10月23日～11月23日／後期 11月25日～12月19日 \*日本画作品のみ材質、技法に加えて、員数も示した。

No.	作者名	作品名	制作年／発行時期	材質、技法(員数)	寸法(cm)	所蔵	前期/後期備考
<b>1. 下村観山 SHIMOMURA Kanzan [1873-1930]</b>							
1-1	下村 観山	熊野御前花見	1894 (明治 27)	絹本彩色、一面	61.3 × 119.7	東京藝術大学	前
1-2	下村 観山	仏誕	1896 (明治 29)	絹本彩色、一幅	202.3 × 143.0	東京藝術大学	前
1-3	下村 観山	魔障図下図	制作年不詳	紙本墨画金彩、一卷	65.0 × 172.0	永青文庫	前
1-4	下村 観山	白描 魔障図	1910 (明治 43) 頃	絹本墨画、一面	67.2 × 164.6	和歌山県立近代美術館	前
1-5	下村 観山	魔障	1910 (明治 43)	紙本墨画金彩、一幅	63.6 × 172.7	東京国立博物館	前
1-6	下村 観山	唐茄子畑	1910 (明治 43) 頃	紙本彩色、六曲一双	各 169.1 × 363.6	東京国立近代美術館	後
1-7	下村 観山	筍図	1930 (昭和 5)	絹本彩色、一幅	52.4 × 81.1	個人蔵	後
<b>2. 下村清時 SHIMOMURA Kiyotoki [1868-1922]</b>							
2-1	下村 清時	鉄拐仙人	1915 (大正 4)	木、彩色	42.5 × 15.0 × 15.0	個人蔵	
2-2	下村 清時	太子像	1921 (大正 10)	木、彩色	101.5 × 59.2	和歌山県立近代美術館	
2-3	下村 清時	亀置物	制作年不詳	木	大: 6.2 × 12.3 × 21.5 / 小: 5.0 × 10.2 × 19.3	和歌山県立近代美術館	
2-4	下村 清時	増髪	制作年不詳	木、彩色	22.0 × 12.7 × 7.0	永青文庫	
2-5	下村 清時	般若	制作年不詳	木、彩色	23.0 × 19.0 × 8.0	永青文庫	
2-6	下村 清時	俊寛	制作年不詳	木、彩色	21.5 × 13.8 × 8.5	永青文庫	
<b>3. 川端龍子 KAWABATA Ryushi [1885-1966]</b>							
3-1	川端 龍子	南山三白	1929 (昭和 4)	絹本彩色、六曲一双	各 200.2 × 431.0	宮内庁三の丸尚蔵館	前
3-2	川端 龍子	草炎	1930 (昭和 5)	絹本彩色、六曲一双	各 176.8 × 369.5	東京国立近代美術館	前
3-3	川端 龍子	南飛図	1931 (昭和 6)	絹本彩色、二曲一双	各 176.0 × 176.0	和歌山市立博物館	
3-4	川端 龍子	新樹の曲	1932 (昭和 7)	絹本彩色、六曲一双	各 181.0 × 399.6	東京国立近代美術館	後
3-5	川端 龍子	雷雨	1936 (昭和 11)	紙本彩色、二曲一双	各 172.5 × 170.2	和歌山県立近代美術館	後
3-6	川端 龍子	狩人の幻想	1948 (昭和 23)	紙本彩色、六枚一面	239.8 × 721.6	和歌山県立近代美術館	後
3-7	川端 龍子	筏流し	1959 (昭和 34)	紙本彩色、六枚一面	245.4 × 727.2	大田区立龍子記念館	
<b>4. 建畠大夢 TATEHATA Taimu [1880-1942]</b>							
4-1	建畠 大夢	ながれ	1911 (明治 44)	ブロンズ	90.0 × 67.0 × 90.0	東京国立近代美術館	
4-2	建畠 大夢	おほのつかれ	1913 (大正 2) / 1970 (昭和 45) 鑄造	ブロンズ	68.0 × 40.0 × 56.0	和歌山県立近代美術館	
4-3	建畠 大夢	魔法使いの女	1923 (大正 12) / 鑄造年不詳	ブロンズ	45.3 × 12.5 × 20.0	和歌山県立近代美術館	
4-4	建畠 大夢	感に打たれた女	1932 (昭和 7) / 鑄造年不詳 (生前鑄造)	ブロンズ	161.0 × 40.0 × 44.0	和歌山県立近代美術館	
<b>5. 保田龍門 YASUDA Ryumon [1891-1965]</b>							
5-1	保田 龍門	母の像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	73.0 × 60.9	和歌山県立近代美術館	
5-2	保田 龍門	アンドレの首	1922 (大正 11)	ブロンズ	20.3 × 20.0 × 20.0	和歌山県立近代美術館	
5-3	保田 龍門	光明皇后賜療	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	181.0 × 547.2	和歌山県立近代美術館	
<b>6. 南紀美術会 Nanki Art Association</b>							
6-1M		南紀美術会集合写真	1919 (大正 8) [推定]	写真	8.6 × 14.2	和歌山県立近代美術館	
6-2M		第一回南紀美術展覧会出品目録	1919 (大正 8)	印刷、紙	21.2 × 36.4	個人蔵	
6-3M		南紀美術会展覧会出品作品絵はがき 建畠大夢《子供》	1920 (大正 9)	印刷、紙	14.2 × 9.0	個人蔵	
6-4M		南紀美術会展覧会出品作品絵はがき 建畠大夢《嶋の娘》	1920 (大正 9)	印刷、紙	14.2 × 9.0	個人蔵	
6-5M		南紀美術会展覧会出品作品絵はがき 保田龍門《熊野の冬》	1920 (大正 9)	印刷、紙	9.0 × 14.2	個人蔵	
<b>7. 西村伊作とその周辺 NISHIMURA Isaku [1884-1963] and His Circle</b>							
7-1	西村 伊作	新宮風景	1913 (大正 2)	油彩、キャンバス	68.0 × 90.0	西村山林株式会社	
7-2	西村 伊作	下北山風景	制作年不詳 (大正初年頃)	油彩、キャンバス	72.8 × 91.0	個人蔵	
7-3	石井 柏亭	滞船	1913 (大正 2)	不透明水彩、紙	52.5 × 73.0	和歌山県立近代美術館	
7-4	保田 龍門	風景	1918 (大正 7)	油彩、キャンバス	46.0 × 60.8	和歌山県立近代美術館	
7-5	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914 (大正 3)	油彩、キャンバス	61.0 × 45.5	個人蔵	
7-6M		伊作像を制作中の保田龍門と龍門像を作る 西村伊作	1918 (大正 7) 冬	写真(複写)	18.6 × 25.5	和歌山県立近代美術館	
7-7M	西村 伊作	『楽しき住家』第4版	1920 (大正 9) 年 5月20日 警視社書店[初版: 1919 (大正 8) 年 9月10日]	書籍	19.0 × 13.0	個人蔵	
7-8M	西村 伊作	『『楽しき住家』続篇 田園小住家 設計図とその説明』	1921 (大正 10) 年 9月20日 警視社書店	書籍	19.7 × 13.4	個人蔵	
7-9M	西村 伊作	『現代人の新住家『楽しき住家』の改版増補』	1924 (大正 13) 年 5月25日改版 文化生活研究会	書籍	19.2 × 13.2	個人蔵	
7-10M	西村 伊作	『生活を藝術として』第5版	1922 (大正 11) 年 5月20日 文化生活研究会 [初版: 1922 (大 正 11) 年1月6日]	書籍	19.5 × 13.2	個人蔵	
7-11M		『明星』創刊号	1921 (大正 10) 年 11月1日 『明星』発行所	冊子	23.6 × 18.9	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作年/発行時期	材質、技法(員数)	寸法(cm)	所蔵	前期/後期備考
7-12M	西村 伊作	「明星の家(第三)」『明星』第5号	1921(大正10)年 3月1日 「明星」発行所	冊子	23.6×18.9	個人蔵	
7-13M	西村 伊作	「明星の家(第四)」『明星』第6号	1921(大正10)年 4月1日 「明星」発行所	冊子	23.6×18.9	個人蔵	
参考 図版1		《N氏と其の一家》を描く石井柏亭	1913(大正2)年 夏	写真(複写)	19.5×27.5	画像提供:公益財団法人 軽井沢 美術文化学院	
参考 図版2		創立当時の文化学院	1921(大正10)年 7月	写真(複写)	19.5×27.5	画像提供:公益財団法人 軽井沢 美術文化学院	
<b>8. 北山清太郎とその周辺 KITAYAMA Seitaro [1888-1945] and His Circle</b>							
8-1	大下 藤次郎	一本杉	1909(明治42)	水彩、紙	35.4×24.3	和歌山県立近代美術館	
8-2	川上 涼花	風景	1909(明治42)	水彩、紙	17.7×28.1	和歌山県立近代美術館	
8-3	川上 涼花	夕日を受けたる丘	1912(明治45/ 大正元)	水彩、紙	17.2×25.5	個人蔵	
8-4	岸田 劉生	男性肖像	1912(明治45)	油彩、キャンバスボード	32.9×23.6	和歌山県立近代美術館	
8-5	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵	
8-6	木村 荘八	水道橋	1918(大正7)	油彩、キャンバス	45.5×38.4	和歌山県立近代美術館	
8-7	北山 清太郎	花壇	1938(昭和13)	水彩、紙	22.6×30.5	個人蔵	
8-8M	北山 清太郎(編)	『現代の洋画』第2号	1912(明治45)年 5月10日 日本洋画協会	冊子	20.0×16.5	和歌山県立近代美術館	
8-9M	北山 清太郎(編)	『現代の洋画』第17号「後期印象派」	1913(大正2)年 8月1日 日本洋画協会	冊子	25.8×18.5	和歌山県立近代美術館	
8-10M	北山 清太郎(編)	『現代の洋画』第26号	1914(大正3)年 5月3日 日本洋画協会	冊子	26.5×19.2	個人蔵	
8-11M	北山 清太郎(編)	『第一回ヒコウザン会覧会目録』	1912(大正元)年 10月20日 ヒューザン会	冊子	19.1×13.1	和歌山県立近代美術館	
8-12M	北山 清太郎(編)	『ヒコウザン』第1号	1912(大正元)年 11月6日 日本洋画協会	冊子	26.1×18.6	和歌山県立近代美術館	
8-13M	北山 清太郎[編・ 推定]	『生活社主催第一回油絵展覧会出品目録』	1913(大正2)年 10月16日 日本洋画協会	冊子	14.9×10.5	和歌山県立近代美術館	
参考 図版3	北山 清太郎	「浦島太郎」『幼年世界』第8巻第3号	1918(大正7)年 3月1日 博文館		22.1×15.5	画像提供:大阪府立中央図書館 国際児童文学館	
参考 図版4	北山 清太郎	「太郎の兵隊 潜航艇の巻」『幼年世界』 第8巻第10号	1918(大正7)年 10月1日 博文館		22.0×15.0	画像提供:大阪府立中央図書館 国際児童文学館	
<b>9. 田中恭吉 TANAKA Kyokichi [1892-1915]</b>							
9-1	田中 恭吉	曇り日の負傷(『密室』I所収)	1913(大正2)	インク・彩色、紙	17.0×16.2	和歌山県立近代美術館	前
9-2	田中 恭吉	病める夕べ(『密室』8所収)	1913(大正2)	木版、紙	15.7×10.3	和歌山県立近代美術館	前
9-3	田中 恭吉	白昼のなまけもの(『密室』8所収)	1914(大正3)	インク・彩色、紙	11.6×10.5	和歌山県立近代美術館	後
9-4	田中 恭吉	失題	1914(大正3)	木版、紙	18.8×9.9	和歌山県立近代美術館	後
9-5	田中 恭吉	焦心(私輯『月映』II所収)	1914(大正3)	木版、紙	20.9×10.0	和歌山県立近代美術館	前
9-6	田中 恭吉	病児(私輯『月映』IV所収)	1914(大正3)	木版、紙	11.7×15.7	和歌山県立近代美術館	後
9-7	田中 恭吉	胸はれゆく歓喜と悲哀	1915(大正4)	インク、紙	14.0×8.8	和歌山県立近代美術館	前
9-8	田中 恭吉	胸はれゆく歓喜と悲愁	1915(大正4)	木版、紙	12.0×17.9	和歌山県立近代美術館	後
9-9	田中 恭吉	悔恨 第一(『心原幽趣』I所収)	1915(大正4)	インク・金彩、紙	15.2×10.7	和歌山県立近代美術館	前
9-10	田中 恭吉	懈怠(『心原幽趣』I所収)	1915(大正4)	インク・金彩、紙	15.2×11.0	和歌山県立近代美術館	後
<b>10. 恩地孝四郎 ONCHI Koshiro [1891-1955]</b>							
10-1	恩地 孝四郎	めぐみのつゆ(私輯『月映』II所収)	1914(大正3)	木版、紙	25.0×11.2	和歌山県立近代美術館	前
10-2	恩地 孝四郎	キリストとマリア(私輯『月映』III所収)	1914(大正3)	木版、紙	23.2×17.5	和歌山県立近代美術館	後
10-3	恩地 孝四郎	望と怖	1914(大正3)頃	木版、紙	15.1×11.0	和歌山県立近代美術館	後
10-4	恩地 孝四郎	失題	1914(大正3)頃	木版、紙	22.9×16.6	和歌山県立近代美術館	前
10-5	恩地 孝四郎	抒情 いとなみ祝福せらる	1915(大正4)	木版、紙	13.6×9.7	和歌山県立近代美術館	前
10-6	恩地 孝四郎	抒情 躍る	1915(大正4)	木版、紙	13.3×9.7	和歌山県立近代美術館	後
10-7	恩地 孝四郎	上臈	1915(大正4)	インク・金彩、紙	16.2×12.3	個人蔵	前
10-8	恩地 孝四郎	失題	1915(大正4)	インク、紙	11.7×9.8	和歌山県立近代美術館	後
10-9	恩地 孝四郎	フォルム No.14 グロテスク(II)	1951(昭和26)	マルチブロック、紙	45.8×35.2	和歌山県立近代美術館	前
10-10	恩地 孝四郎	ポエム No.22 葉っぱと雲	1953(昭和28)	マルチブロック、紙	43.5×34.0	和歌山県立近代美術館	後
<b>11. 逸見享 HENMI Takashi [1895-1944]</b>							
11-1	逸見 享	幸福な海女の群	1919(大正8)	木版、紙	22.9×18.5	和歌山県立近代美術館	
11-2	逸見 享	二月	1922(大正11)	木版、紙	13.5×18.3	和歌山県立近代美術館	
11-3	逸見 享	上海風景	1928(昭和3)	木版、紙	24.0×30.8	和歌山県立近代美術館	
11-4	逸見 享	海辺の朝	1929(昭和4)	木版、紙	17.6×27.4	和歌山県立近代美術館	
11-5	逸見 享	サボテンのある風景	1932(昭和7)	木版、紙	44.0×33.5	和歌山県立近代美術館	
<b>12. 野長瀬晩花 NONAGASE Banka [1889-1964]</b>							
12-1	野長瀬 晩花	被布着たる少女	1911(明治44)	絹本彩色、一面	114.1×134.8	和歌山県立近代美術館	後
12-2	野長瀬 晩花	南国女	1916(大正5)	紙本彩色、一幅	136.0×30.5	田辺市立美術館	後
12-3	野長瀬 晩花	戦へる人	1916(大正5)	紙本彩色、四曲一隻	133.3×269.0	株式会社 星野画廊	前
12-4	野長瀬 晩花	島の女	1916(大正5)頃	絹本彩色、一幅	145.1×51.7	和歌山県立近代美術館	後
12-5	野長瀬 晩花	女人図屏風	1916(大正5)頃	紙本彩色、二曲一隻	166.3×184.0	田辺市立美術館	前
12-6	野長瀬 晩花	初夏の流	1918(大正7)	画布彩色、六曲一隻	176.5×555.0	京都市美術館	後
12-7	野長瀬 晩花	夕陽に帰る漁夫	1920(大正9)	紙本彩色、四曲一隻	187.0×382.0	京都国立近代美術館	前

No.	作者名	作品名	制作年／発行時期	材質、技法 (員数)	寸法 (cm)	所蔵	前期/後期備考
<b>13. 日高昌克 HIDAKA Shokoku [1881-1961]</b>							
13-1	日高昌克	草	1923 (大正 12)	絹本彩色、一幅	39.4 × 44.8	和歌山県立近代美術館	
13-2	日高昌克	澤邊の朝	1936 (昭和 11)	絹本彩色、一幅	68.2 × 86.8	個人蔵	
13-3	日高昌克	高原錦織図	1952 (昭和 27)	紙本墨画彩色、一幅	28.5 × 62.5	個人蔵	
13-4	日高昌克	春霞遙曳図	1953 (昭和 28)	紙本墨画彩色、一幅	29.2 × 63.0	和歌山県立近代美術館	前
13-5	日高昌克	叭々鳥図	1959 (昭和 34)	紙本墨画彩色、一幅	28.1 × 39.0	和歌山県立近代美術館	後
<b>14. 川口軌外 KAWAGUCHI Kigai [1892-1966]</b>							
14-1	川口軌外	キャプエにて	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	79.0 × 64.0	個人蔵	
14-2	川口軌外	静物 (マンドリン)	1927-31 (昭和 2-6)	油彩、キャンバス	116.6 × 81.5	東京国立近代美術館	
14-3	川口軌外	月夜の雪景	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	92.3 × 65.8	和歌山県立近代美術館	
14-4	川口軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	和歌山県立近代美術館	
14-5	川口軌外	海峡	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	94.6 × 243.3	個人蔵	
<b>15. 原勝四郎 HARA Katsushiro [1886-1964]</b>							
15-1	原勝四郎	風景	1931 (昭和 6)	油彩、厚紙	53.0 × 65.5	公益財団法人 脇村奨学会	
15-2	原勝四郎	画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0 × 52.6	和歌山県立近代美術館	
15-3	原勝四郎	瀬戸風景	1935 (昭和 10)	油彩、厚紙	65.3 × 52.7	田辺市立美術館	
15-4	原勝四郎	小湾	1940 (昭和 15)	油彩、厚紙	59.9 × 71.7	和歌山県立近代美術館	
15-5	原勝四郎	道化	1941 (昭和 16)	油彩、厚紙	90.3 × 73.2	和歌山県立近代美術館	
<b>16. 石垣栄太郎 ISHIGAKI Eitaro [1893-1958]</b>							
16-1	石垣栄太郎	鞭うつ	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	145.5 × 106.5	京都国立近代美術館	
16-2	石垣栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	和歌山県立近代美術館	
16-3	石垣栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	113.5 × 86.5	神奈川県立近代美術館	
16-4	石垣栄太郎	腕	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	89.7 × 104.7	東京国立近代美術館	
16-5	石垣栄太郎	ボーナス・マーチ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	145.4 × 107.0	和歌山県立近代美術館	
<b>17. 村井正誠 MURAI Masanari [1905-1999]</b>							
17-1	村井正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2 × 194.2	和歌山県立近代美術館	
17-2	村井正誠	URBAIN	1937 (昭和 12)	油彩、キャンバス	72.5 × 233.5	東京国立近代美術館	
17-3	村井正誠	黒い線	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	193.8 × 259.3	和歌山県立近代美術館	
17-4	村井正誠	風の中の除幕式	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	194.5 × 259.8	和歌山県立近代美術館	
<b>18. 浜口陽三 HAMAGUCHI Yozo [1909-2000]</b>							
18-1	浜口陽三	掘削	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	8.8 × 10.8	和歌山県立近代美術館	
18-2	浜口陽三	永代橋	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	8.7 × 10.7	和歌山県立近代美術館	
18-3	浜口陽三	スペイン風油入れ	1954 (昭和 29)	メゾチント、紙	28.8 × 28.6	和歌山県立近代美術館	
18-4	浜口陽三	ジプシー	1954 (昭和 29)	メゾチント、紙	29.2 × 28.6	和歌山県立近代美術館	
18-5	浜口陽三	パリの屋根	1956 (昭和 31)	カラーメゾチント、紙	18.3 × 18.5	和歌山県立近代美術館	
18-6	浜口陽三	暗い背景のぶどう	1961 (昭和 36)	カラーメゾチント、紙	34.5 × 29.5	和歌山県立近代美術館	
18-7	浜口陽三	4つのさくらんぼ	1963 (昭和 38)	カラーメゾチント、紙	23.5 × 54.0	和歌山県立近代美術館	
<b>19. 吉田政次 YOSHIDA Masaji [1917-1971]</b>							
19-1	吉田政次	森の精 No.1	1955 (昭和 30)	木版、紙	55.0 × 84.5	和歌山県立近代美術館	
19-2	吉田政次	哀愁の日	1957 (昭和 32)	木版、紙	59.0 × 43.7	和歌山県立近代美術館	
19-3	吉田政次	空間 No.15	1962 (昭和 37)	木版、紙	61.0 × 60.6	和歌山県立近代美術館	
19-4	吉田政次	躍動する心 No.1	1968 (昭和 43)	木版、紙	86.7 × 72.2	和歌山県立近代美術館	
<b>20. 山名文夫 YAMANA Ayao [1897-1980]</b>							
20-1	山名文夫	資生堂モダンカラー粉白粉	1933 (昭和 8)	缶	直径 5.6 × 2.2	資生堂企業資料館	
20-2	山名文夫	新聞広告「資生堂石鹸」原画	1937 (昭和 12)	水彩・墨、紙	34.9 × 18.2	資生堂企業資料館	
20-3	山名文夫	新聞広告「資生堂の香水」[清刷]	1937 (昭和 12)	印刷、紙	18.2 × 18.6	資生堂企業資料館	
20-4	山名文夫	新聞広告「資生堂の香水」[清刷]	1938 (昭和 13)	印刷、紙	20.2 × 21.7	資生堂企業資料館	
20-5	山名文夫	『花椿』第2巻第10号表紙	1938 (昭和 13)年 10月1日 花椿社	冊子	26.3 × 19.1	資生堂企業資料館	
20-6	山名文夫	『花椿』第3巻第3号表紙《春愁夢》	1939 (昭和 14)年 3月1日 花椿社	冊子	26.3 × 19.1	資生堂企業資料館	
20-7	山名文夫	『花椿』第3巻第10号表紙《秋風》	1939 (昭和 14)年 10月1日 花椿社	冊子	26.3 × 19.1	資生堂企業資料館	
20-8	山名文夫	酒と酒場 (ナイトクラブ ルル)	1951 (昭和 26)	水彩、紙	144.0 × 103.0	資生堂企業資料館	
20-9	山名文夫	「資生堂ドルックス クリーム (コールド)」 パッケージ	1951 (昭和 26)	瓶	直径 7.0 × 4.5	資生堂企業資料館	
20-10	山名文夫	「資生堂ドルックス 粉白粉」パッケージ	1951 (昭和 26)	缶	直径 6.5 × 3.0	資生堂企業資料館	
20-11	山名文夫	「資生堂ドルックス レーデボーテ (ドライ スキン用)」パッケージ	1951 (昭和 26)	瓶	14.0 × 6.5 × 3.2	資生堂企業資料館	
20-12	山名文夫	「資生堂ドルックス粉白粉」キャップ意匠 [習作原画]	制作年不詳	鉛筆・墨、紙	19.0 × 16.5	資生堂企業資料館	
20-13	山名文夫	寄席 (ミス・マリコマリコ レインコートの踊り)	1952 (昭和 27)	水彩、紙	144.0 × 103.0	資生堂企業資料館	
20-14	山名文夫	新聞広告「資生堂の香水」[清刷]	1952 (昭和 26)	印刷、紙	23.4 × 24.7	資生堂企業資料館	
20-15	山名文夫	「資生堂化粧品」ポスター	1955 (昭和 30)	印刷、紙	102.0 × 73.9	資生堂企業資料館	
20-16	山名文夫	新聞広告「資生堂オールドドルックス」[清刷]	1960 (昭和 35)	印刷、紙	30.2 × 25.1	資生堂企業資料館	
20-17	山名文夫	資生堂創業 100 年記念新聞広告 イラスト レーション原画	1972 (昭和 47)	墨、紙	53.5 × 26.0	資生堂企業資料館	
20-18	山名文夫	資生堂創業 100 年記念新聞広告 [清刷]	1972 (昭和 47)	印刷、紙	56.4 × 43.5	資生堂企業資料館	
<b>21. 稗田一穂 HIEDA Kazuho [1920-2021]</b>							
21-1	稗田一穂	幻想那智	1979 (昭和 54)	紙本彩色、一面	212.4 × 169.7	和歌山県立近代美術館	

No.	作者名	作品名	制作年/発行時期	材質、技法(員数)	寸法 (cm)	所蔵	前期/後期備考
21-2	稗田一穂	帰り路	1981 (昭和 56)	紙本彩色、一面	193.8 × 166.5	和歌山県立近代美術館	
21-3	稗田一穂	春巡る熊野	1995 (平成 7)	紙本彩色、三曲一隻	146.5 × 207.0	田辺市立美術館	後
21-4	稗田一穂	顕現Ⅲ (鳳凰と麒麟)	2012 (平成 24)	絹本彩色、六曲一隻	172.5 × 364.5	和歌山県立近代美術館	前
<b>22. 建島覚造 TATEHATA Kakuzo [1919-2006]</b>							
22-1	建島 覚造	核	1956 (昭和 31)	セメント、鉄	63.0 × 53.0 × 43.0	和歌山県立近代美術館	
22-2	建島 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0 / 台座: 15.0 × 180.0 × 120.0	和歌山県立近代美術館	*展示室外
22-3	建島 覚造	対話 (DIALOGUE)	2001 (平成 13)	木、化学粘土、ウレタン塗料	233.5 × 162.0 × 60.0	和歌山県立近代美術館	*展示室外
<b>23. 保田春彦 YASUDA Haruhiko [1930-2018]</b>							
23-1	保田 春彦	閉ざされた祠	1974 (昭和 49)	ステンレススチール	48.5 × 14.7 × 20.5 / 47.5 × 14.6 × 20.5	和歌山県立近代美術館	
23-2	保田 春彦	進化の過程	2010 (平成 22)	木	55.0 × 180.0 × 45.0	個人蔵	
<b>24. 松谷武判 MATSUTANI Takesada [1937- ]</b>							
24-1	松谷 武判	WORK-63-9	1963 (昭和 38)	ビニール接着剤・油彩・水彩、キャンバス	187.0 × 192.0	和歌山県立近代美術館	
24-2	松谷 武判	繁殖 63	1963 (昭和 38)	油彩・ビニール接着剤、キャンバス	145.3 × 110.4	京都国立近代美術館	
24-3	松谷 武判	波動 91-1-8	1991 (平成 3)	ビニール接着剤・鉛筆・和紙、キャンバス	162.0 × 129.7	公益財団法人 西宮市大谷記念美術館	
24-4	松谷 武判	円 98-3	1998 (平成 10)	ビニール接着剤・鉛筆・和紙、キャンバス	162.0 × 130.0	公益財団法人 西宮市大谷記念美術館	
<b>25. 宇佐美圭司 USAMI Keiji [1940-2012]</b>							
25-1	宇佐美 圭司	還元 No.6	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	135.0 × 184.8	和歌山県立近代美術館	
25-2	宇佐美 圭司	水族館の中の水族館 No.2	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	185.2 × 276.0	和歌山県立近代美術館	
25-3	宇佐美 圭司	遺作・制動 (ブレーキ)・大洪水	2012 (平成 24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0	個人蔵	*展示室外
<b>26. 野田裕示 NODA Hiroji [1952- ]</b>							
26-1	野田 裕示	WORK 299	1987 (昭和 62)	アクリル絵具・木、キャンバス	229.5 × 187.0	和歌山県立近代美術館	
26-2	野田 裕示	WORK 505	1988 (昭和 63)	アクリル絵具・木、キャンバス	262.3 × 183.2	和歌山県立近代美術館	
<b>27. 鈴木理策 SUZUKI Risaku [1963- ]</b>							
27-1	鈴木 理策	海と山のあいだ (08, DK-3)	2008 (平成 20)	発色現像方式印画	95.2 × 119.0	和歌山県立近代美術館	
27-2	鈴木 理策	海と山のあいだ (14, DK-410)	2014 (平成 26)	発色現像方式印画	95.2 × 119.0	和歌山県立近代美術館	
27-3	鈴木 理策	海と山のあいだ (14, DK-450)	2014 (平成 26)	発色現像方式印画	95.2 × 119.0	和歌山県立近代美術館	
27-4	鈴木 理策	海と山のあいだ (14, DK-507)	2014 (平成 26)	発色現像方式印画	95.2 × 119.0	和歌山県立近代美術館	
<b>28. 黒川紀章と和歌山県立近代美術館・博物館 KUROKAWA Kisho [1934-2007] and the Two Museums in Wakayama</b>							
28-1		メタモルフォーゼ計画	1965 (昭和 40)	インク、紙	30.2 × 20.2	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-2		メタモルフォーゼ計画	1965 (昭和 40)	鉛筆、紙	22.0 × 32.5	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-3		都市の再生 (リニアシティ計画 1965)	1981 (昭和 56)	木版、紙	53.5 × 39.0	和歌山県立近代美術館	
28-4		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	インク、紙	21.1 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-5		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	インク・色鉛筆、紙	21.1 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-6		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	インク・色鉛筆、紙	21.1 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-7		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	インク、紙	21.1 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-8		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	インク、紙	21.1 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-9		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	サインペン、紙	14.9 × 21.1	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-10		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	サインペン・色鉛筆、紙	21.0 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-11		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	サインペン、紙	21.0 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-12		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	サインペン、紙	21.0 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-13		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	サインペン、紙	21.0 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-14		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	サインペン、紙	21.0 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-15		和歌山県立近代美術館のスケッチ	1990 (平成 2) 年 6月3日	サインペン・色鉛筆、紙	21.0 × 14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-16		和歌山県立近代美術館 鹿のスケッチ	1990 (平成 2) 年 7月16日	サインペン、紙	42.0 × 59.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-17		足柄サービスエリア・和歌山県立近代美術館・九州ゴルフ倶楽部八幡コースのスケッチ	1990 (平成 2) 年 10月23日	サインペン、紙	42.0 × 59.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-18		和歌山県立近代美術館 エントランス天井のスケッチ	1990 (平成 2) 年 11月30日	サインペン、紙	42.0 × 59.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-19		和歌山県立博物館 ミュージアムショップのスケッチ	1991 (平成 3) 年 5月23日	サインペン、紙	29.8 × 21.0	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-20		和歌山県立近代美術館 打ち合わせ図 和歌山城大天守 36R	1990-91 (平成 2-3) 頃	コピー・鉛筆、紙	59.8 × 84.3	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-21		和歌山県立近代美術館 打ち合わせ図 和歌山城小天守 15R、乾櫓 11R	1990-91 (平成 2-3) 頃	コピー・鉛筆、紙	59.8 × 84.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-22		和歌山県立近代美術館 打ち合わせ図 鹿 A-C、F-H、J	1990-91 (平成 2-3) 頃	コピー、紙	58.8 × 84.6	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-23		和歌山県立近代美術館 鹿先端部のスケッチ	1992 (平成 4) 年 7月21日	サインペン、紙	42.0 × 59.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-24		和歌山県立近代美術館・博物館 周辺の平面図	1992 (平成 4) 頃	コピー、紙	65.2 × 542.8	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-25		和歌山県立近代美術館・博物館 周辺の立面図	1992 (平成 4) 頃	コピー、紙	65.0 × 550.1	黒川紀章建築都市設計事務所	

No.	作者名	作品名	制作年/発行時期	材質、技法(員数)	寸法(cm)	所蔵	前期/後期備考
28-26		和歌山県立近代美術館 庇が建物に入っているスケッチ	1993(平成5)年 1月19日	サインペン、紙	42.0×59.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-27		和歌山県立近代美術館・博物館 打ち合わせ図 北側ライトアップ	1993(平成5)年 2月10日	コピー・色鉛筆、紙	109.4×39.3	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-28		和歌山県立近代美術館 庇についてのスケッチ	1993(平成5)年 4月8日	サインペン、紙	21.0×14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-29		和歌山県立近代美術館 打ち合わせ図 B 庇下アクソノメトリック図	1993(平成5)年 4月23日	コピー、紙	128.0×84.3	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-30		和歌山県立近代美術館のスケッチ ドアハンドル、ドアノブ	1993(平成5)年 8月30日	サインペン、紙	42.0×59.6	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-31		フラクタル家具のスケッチ「FRACTAL FURNITURE」	1993(平成5)年 9月8日	サインペン、紙	21.0×14.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-32		和歌山県立近代美術館 打ち合わせ図 エントランス	1993(平成5)頃	コピー・鉛筆、紙	59.6×84.0	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-33		和歌山県立近代美術館・博物館 打ち合わせ図 建物角の行灯	1993(平成5)頃	コピー・鉛筆・ペン、紙	68.5×83.9	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-34		和歌山県立近代美術館 打ち合わせ図 ミュージアムショップ	1993(平成5)頃	コピー、紙	60.2×84.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-35		和歌山県立近代美術館・博物館 打ち合わせ図 換気窓	1993(平成5)頃	コピー、紙	59.4×84.0	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-36		第二国土軸のスケッチ	1994(平成6)年 2月	コピー・サインペン、紙	28.8×21.1	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-37		フラクタル家具シリーズ ハイバックチェアの姿図 SERIES FRACTAL C-1	1994(平成6)年 4月5日	コピー・色鉛筆・サインペン、紙	29.8×42.0	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-38		フラクタルシリーズ ドアノブの姿図 SERIES FRACTAL A-9	1994(平成6)年 4月5日	コピー・鉛筆・サインペン、紙	29.8×42.0	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-39		フラクタル家具シリーズ ハイバックチェアの図面 SERIES FRACTAL A-1	1994(平成6)年 4月	コピー・サインペン、紙	42.0×59.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-40		フラクタルシリーズ ドアノブの図面 SERIES FRACTAL A-9	1994(平成6)年 4月	コピー・サインペン、紙	42.0×59.4	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-41		第二国土軸のスケッチ	1994(平成6)年 5月18日	コピー・サインペン・ボールペン、紙	29.7×21.1	黒川紀章建築都市設計事務所	
28-42		和歌山県立近代美術館・博物館 模型	1994(平成6)	石膏ほか	25.0×132.2×106.2	和歌山県立近代美術館	*展示室外
28-43		フラクタル家具シリーズ ハイバックチェアの原寸ディテール	1997(平成9)	木	152.0×45.0×22.0	和歌山県立近代美術館	
28-44		フラクタルシリーズ ドアハンドル	1997(平成9)	キャスト	62.0×15.3	和歌山県立近代美術館	
28-45		フラクタルシリーズ ドアノブ	1997(平成9)	アルミキャスト	5.8×15.5	和歌山県立近代美術館	
28-46		和歌山県立近代美術館・博物館 カウンターの庇の原寸ディテール	1997(平成9)	アルミ板、木、アクリル板	27.1×126.0×45.0	和歌山県立近代美術館	
28-47		和歌山県立近代美術館 庇先端部の原寸ディテール	1997(平成9)	アルミ板	73.5×30.0×34.0	和歌山県立近代美術館	
28-48		和歌山県立近代美術館・博物館 換気窓の原寸ディテール	1997(平成9)	アルミ板、ガラス	90.0×90.0×40.0	和歌山県立近代美術館	



ポスター



チラシ表/裏 \*第1部、第2部共通



図録

会場風景



## 和歌山の近現代美術の精華 第2部 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵
<b>第1章 島村逢紅 [1890-1944]</b>						
<b>プロローグ：美術をめぐる交友</b>						
1-1	島村 逢紅	[女性像]	1911 (明治 44)	油彩、板	25.9 × 17.9	個人蔵
1-2	島村 逢紅	[読書する女性]	1911 (明治 44) 頃	油彩、板	33.1 × 23.6	個人蔵
1-3	寺中 美一	自画像	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	45.7 × 17.9	和歌山県立近代美術館
1-4	萩原 守衛	女の胴	1907 (明治 40) / 1993 (平成 5) 鑄造	ブロンズ	44.5 × 18.0 × 28.0	礫山美術館
1-5	萩原 守衛	女	1910 (明治 43) / 2013 (平成 25) 鑄造	ブロンズ	98.0 × 70.0 × 80.0	礫山美術館
1-6	萩原 守衛	《女の胴》(新宿・礫山館にて)	1913 (大正 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	15.0 × 11.5	和歌山県立近代美術館 (保田龍門旧蔵)
1-7	萩原 守衛	《女》(新宿・礫山館にて)	1913 (大正 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	15.6 × 11.4	和歌山県立近代美術館 (保田龍門旧蔵)
1-8	島村 逢紅	初代島村安次郎	1918 (大正 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	23.8 × 26.9	個人蔵
1-9	保田 龍門	島村翁像	1920 (大正 9)	ブロンズ	56.0 × 38.0 × 26.0	個人蔵
1-10	保田 龍門	島村氏像	1920 (大正 9)	ブロンズ	43.0 × 19.5 × 19.8	個人蔵
1-11	島村 逢紅	島村氏像 (石膏)	1919 (大正 8) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	14.1 × 10.2	個人蔵
1-12	島村 逢紅	保田龍門ポートレート	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 21.5	和歌山県立近代美術館 (保田龍門旧蔵)
1-13	島村 逢紅	[保田龍門とモデル]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	15.5 × 11.0	個人蔵
<b>1910年代を中心に</b>						
<b>〈風景〉</b>						
1-14	島村 逢紅	轍の跡	1913 (大正 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	15.2 × 11.1	個人蔵
1-15	島村 逢紅	芥焚く煙	1913-14 (大正 2-3)	ゼラチン・シルバー・プリント	11.2 × 15.6	個人蔵
1-16	島村 逢紅	木國の冬	1914 (大正 3)	ゼラチン・シルバー・プリント	10.1 × 13.0	個人蔵
1-17	島村 逢紅	暮近き頃	1914 (大正 3)	ゼラチン・シルバー・プリント	11.3 × 15.3	個人蔵
1-18	島村 逢紅	河邊の路	1914 (大正 3)	ゼラチン・シルバー・プリント	9.5 × 15.2	個人蔵
1-19	島村 逢紅	快晴の夕	1914 (大正 3)	ゼラチン・シルバー・プリント	15.0 × 10.4	個人蔵
1-20	島村 逢紅	風寒き日	1914 (大正 3)	ゼラチン・シルバー・プリント	15.0 × 11.0	個人蔵
1-21	島村 逢紅	煙る雨	1910 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	15.5 × 10.7	個人蔵
1-22	島村 逢紅	滅び行く老樹	1910 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	15.4 × 9.0	個人蔵
1-23	島村 逢紅	たそがれ時	1910 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	11.0 × 15.0	個人蔵
1-24	島村 逢紅	無題	1910 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	15.6 × 6.8	個人蔵
1-25	島村 逢紅	白き家	1910 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	13.1 × 22.4	個人蔵
1-26	島村 逢紅	筏	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	16.2 × 11.7	個人蔵
<b>〈人物〉</b>						
1-27	島村 逢紅	塵たく煙	1913-14 (大正 2-3)	ゼラチン・シルバー・プリント	10.9 × 14.5	個人蔵
1-28	島村 逢紅	姉と妹	1914 (大正 3) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	15.3 × 11.4	個人蔵
1-29	島村 逢紅	樹に倚る友	1910 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	15.8 × 11.4	個人蔵
1-30	島村 逢紅	[妻・きみ]	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	14.0 × 11.2	個人蔵
1-31	島村 逢紅	老人	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	14.8 × 11.0	個人蔵
<b>〈静物〉</b>						
1-32	島村 逢紅	静物	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	10.7 × 13.3	個人蔵
1-33	島村 逢紅	静物	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	14.3 × 10.6	個人蔵
1-34	島村 逢紅	バラ	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	15.3 × 11.2	個人蔵
1-35	島村 逢紅	静物 其一	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0 × 28.9	個人蔵
1-36	島村 逢紅	[水仙]	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	14.3 × 11.2	個人蔵
<b>1920年代を中心に</b>						
<b>〈風景〉</b>						
1-37	島村 逢紅	真晝	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.4 × 21.8	個人蔵
1-38	島村 逢紅	無題	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	20.0 × 26.6	個人蔵
1-39	島村 逢紅	淡き光	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	11.1 × 15.6	個人蔵
1-40	島村 逢紅	日曜日	1922 (大正 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	15.4 × 11.0	個人蔵
1-41	島村 逢紅	影	1922 (大正 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	11.2 × 15.7	個人蔵
1-42	島村 逢紅	[探掘]	1922 (大正 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	20.5 × 28.3	個人蔵
1-43	島村 逢紅	光と蔭	1924 (大正 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	10.8 × 15.5	個人蔵
1-44	島村 逢紅	瓦焼く家	1924 (大正 13) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	15.6 × 10.6	個人蔵
1-45	島村 逢紅	[楽しい日 (砂丘)]	1924 (大正 13) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 21.0	個人蔵
1-46	島村 逢紅	春光	1924 (大正 13) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	10.0 × 15.0	個人蔵
1-47	島村 逢紅	[階段のある風景]	1924 (大正 13) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	15.5 × 10.5	個人蔵
1-48	島村 逢紅	[階段と子供]	1925 (大正 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.3 × 28.5	個人蔵
1-49	島村 逢紅	朝の和歌山城	1925 (大正 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	28.0 × 20.7	個人蔵
1-50	島村 逢紅	トンネル	1926 (大正 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 24.2	個人蔵
1-51	島村 逢紅	消え残る雪	1929 (昭和 4) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	23.6 × 29.5	個人蔵
1-52	島村 逢紅	湖畔の雪	1929 (昭和 4) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	21.9 × 29.2	東京都写真美術館
1-53	島村 逢紅	南天	1929 (昭和 4) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	23.4 × 26.2	個人蔵
1-54	島村 逢紅	公園の朝	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	11.2 × 15.3	個人蔵
1-55	島村 逢紅	[ベンチのある風景]	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	11.4 × 15.3	個人蔵
1-56	島村 逢紅	屋根と樹	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	10.9 × 15.1	個人蔵
1-57	島村 逢紅	[石垣のある風景]	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	13.1 × 11.1	個人蔵
1-58	島村 逢紅	暮れ近き頃	1921 (大正 10) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	11.1 × 14.9	個人蔵
1-59	島村 逢紅	薄れ日	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	22.7 × 25.2	個人蔵
1-60	島村 逢紅	[山村]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 27.8	個人蔵
1-61	島村 逢紅	[風景]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	27.7 × 19.1	個人蔵
1-62	島村 逢紅	[船]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	19.3 × 27.1	個人蔵
1-63	島村 逢紅	[木のある風景]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	21.2 × 25.4	個人蔵
1-64	島村 逢紅	[橋の上の荷車]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	21.0 × 29.3	個人蔵
1-65	島村 逢紅	[洋館のエントランス]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5 × 28.0	個人蔵
1-66	島村 逢紅	朝	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.2 × 18.0	個人蔵
1-67	島村 逢紅	[酒瓶]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	19.4 × 28.7	個人蔵
1-68	島村 逢紅	[遊歩道]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	28.5 × 20.3	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)	所蔵
1-69	島村 逢紅	倉	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 28.0	個人蔵
1-70	島村 逢紅	大阪城	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	22.7 × 29.7	個人蔵
1-71	島村 逢紅	耕作	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.6	個人蔵
1-72	島村 逢紅	桜	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0 × 19.2	東京都写真美術館
1-73	島村 逢紅	山村	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	18.1 × 26.4	東京都写真美術館
1-74	島村 逢紅	街景	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	20.3 × 23.4	東京都写真美術館
1-75	島村 逢紅	船	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	20.6 × 23.9	東京都写真美術館
1-76	島村 逢紅	タンク	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	22.4 × 29.2	東京都写真美術館
<b>■アメリカ</b>						
1-77	島村 逢紅	広告板	1927 (昭和 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.7 × 28.3	個人蔵
1-78	島村 逢紅	[後ろ姿]	1927 (昭和 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.3 × 29.8	個人蔵
1-79	島村 逢紅	電柱	1927 (昭和 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.2 × 28.8	個人蔵
<b>〈人物〉</b>						
1-80	島村 逢紅	幼き日	1921 (大正 10) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	11.3 × 15.8	個人蔵
1-81	島村 逢紅	冬の午后	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	11.3 × 15.3	個人蔵
1-82	島村 逢紅	倉男	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	10.6 × 12.4	個人蔵
1-83	島村 逢紅	酒倉スケッチ	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	11.3 × 15.3	個人蔵
1-84	島村 逢紅	お乳	1922 (大正 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	12.3 × 11.1	個人蔵
1-85	島村 逢紅	[草むらの子ども]	1922 (大正 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	20.2 × 28.1	個人蔵
1-86	島村 逢紅	[男性とカメラ]	1926 (大正 15) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	15.5 × 28.2	個人蔵
1-87	島村 逢紅	椿と少女	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	10.2 × 12.7	個人蔵
1-88	島村 逢紅	夏草の中を	1910-20 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	15.6 × 11.1	個人蔵
1-89	島村 逢紅	海女	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1 × 29.5	個人蔵
1-90	島村 逢紅	肖像	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.5	個人蔵
1-91	島村 逢紅	女の顔	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	28.1 × 19.6	個人蔵
<b>■ヌード</b>						
1-92	島村 逢紅	[ヌード (座る)]	1924 (大正 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7 × 24.1	個人蔵
1-93	島村 逢紅	[額縁とヌード (屈む)]	1924 (大正 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 24.3	個人蔵
1-94	島村 逢紅	[ヌード (腰掛ける)]	1924 (大正 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 24.0	個人蔵
<b>■家族</b>						
1-95	島村 逢紅	悦 [アサヒグラフを読む子ども]	1924 (大正 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 21.8	個人蔵
1-96	島村 逢紅	[アサヒグラフを読む子どもたち]	1924 (大正 13) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 23.2	個人蔵
1-97	島村 逢紅	[きみと赤ワイン]	1925 (大正 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.2 × 20.7	個人蔵
1-98	島村 逢紅	[火鉢にあたるきみ]	1926 (大正 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.8 × 25.1	個人蔵
1-99	島村 逢紅	[子どもの食事]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	21.4 × 28.9	個人蔵
1-100	島村 逢紅	[子どもと影]	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	26.5 × 19.6	個人蔵
1-101	島村 逢紅	[座るきみ]	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	28.3 × 19.8	個人蔵
1-102	島村 逢紅	[きみの肖像]	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	26.7 × 14.8	個人蔵
1-103	島村 逢紅	[きみの肖像]	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 16.4	個人蔵
<b>〈広告〉</b>						
1-104	島村 逢紅	[ワインと額縁]	1926 (大正 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2 × 27.9	個人蔵
1-105	島村 逢紅	スマイル目薬	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.8 × 24.3	個人蔵
<b>〈静物〉</b>						
1-106	島村 逢紅	椅子	1926 (大正 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	28.2 × 20.3	東京都写真美術館
1-107	島村 逢紅	仏手柑	1929 (昭和 4)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.9 × 28.6	東京都写真美術館
1-108	島村 逢紅	仏手柑	1929 (昭和 4)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.1 × 28.7	個人蔵
1-109	島村 逢紅	鮎	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.5	個人蔵
1-110	島村 逢紅	静物	1920 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 23.9	個人蔵
1-111	島村 逢紅	静物	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 22.8	個人蔵
1-112	島村 逢紅	静物 其二	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.5	個人蔵
1-113	島村 逢紅	[保田龍門の絵画と花]	1920-30 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	23.9 × 29.0	個人蔵
<b>1930-40 年代</b>						
<b>〈風景〉</b>						
1-114	島村 逢紅	霧に暮れ行く	1935 (昭和 10)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0 × 29.5	個人蔵
1-115	島村 逢紅	初秋	1936 (昭和 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	39.0 × 26.8	個人蔵
1-116	島村 逢紅	雪 其壱	1936 (昭和 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.1 × 22.7	個人蔵
1-117	島村 逢紅	麦秋	1938 (昭和 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2 × 29.5	個人蔵
1-118	島村 逢紅	[嵐の日]	1939 (昭和 14) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 22.0	個人蔵
1-119	島村 逢紅	[網]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	26.6 × 38.0	個人蔵
1-120	島村 逢紅	庭の一隅	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 23.8	個人蔵
1-121	島村 逢紅	新芽	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7 × 23.9	個人蔵
1-122	島村 逢紅	雨後	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0 × 23.8	個人蔵
1-123	島村 逢紅	[雪]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 19.4	個人蔵
1-124	島村 逢紅	[早春]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 21.0	個人蔵
1-125	島村 逢紅	[真夏]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 24.1	個人蔵
1-126	島村 逢紅	雪	1940 (昭和 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7 × 24.5	個人蔵
1-127	島村 逢紅	吹雪	1940 (昭和 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2 × 29.2	個人蔵
1-128	島村 逢紅	麦 一	1940 (昭和 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 36.6	個人蔵
1-129	島村 逢紅	麦 二	1940 (昭和 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.8 × 37.0	個人蔵
1-130	島村 逢紅	野いばら	1940 (昭和 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2 × 29.3	個人蔵
1-131	島村 逢紅	朝の湖畔	1940 (昭和 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9 × 36.7	個人蔵
<b>■満州・朝鮮</b>						
1-132	島村 逢紅	満州	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7 × 24.3	個人蔵
1-133	島村 逢紅	満州 其二	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	28.3 × 23.5	個人蔵
1-134	島村 逢紅	[満州 (母と子)]	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4 × 22.3	個人蔵
1-135	島村 逢紅	[満洲 (やかんと煙)]	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 28.0	個人蔵
1-136	島村 逢紅	[満洲 (工場)]	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	23.1 × 29.5	個人蔵
1-137	島村 逢紅	[満州 (階段)]	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 24.2	個人蔵
<b>■和歌山の風景</b>						
1-138	島村 逢紅	京城にて	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	9.4 × 11.6	個人蔵
1-139	島村 逢紅	初夏の雑賀崎	1936 (昭和 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	26.6 × 38.6	個人蔵
1-140	島村 逢紅	和歌山新八景 (六) 蓬萊岩	1939 (昭和 14) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2 × 26.4	個人蔵
1-141	島村 逢紅	城趾の春 (一)	1939 (昭和 14) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	28.7 × 24.3	個人蔵
1-142	島村 逢紅	城趾の春 (二)	1939 (昭和 14) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2 × 29.2	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵
1-143	島村 逢紅	濱木繡	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 28.9	個人蔵
1-144	島村 逢紅	串本海岸または熊野風景	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	21.5 × 29.0	個人蔵
1-145	島村 逢紅	波濤	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	20.7 × 29.6	個人蔵
1-146	島村 逢紅	南紀の初夏	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1 × 29.4	個人蔵
<b>&lt;人物&gt;</b>						
1-147	島村 逢紅	[吸煙と人影]	1931 (昭和 6)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 20.4	個人蔵
1-148	島村 逢紅	母と子 其一	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7 × 29.8	個人蔵
1-149	島村 逢紅	母と子 其二	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 24.0	個人蔵
1-150	島村 逢紅	村の子	1936 (昭和 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	36.7 × 28.9	個人蔵
1-151	島村 逢紅	[人影]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 23.8	個人蔵
1-152	島村 逢紅	[少女とカッパ]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	28.2 × 24.1	個人蔵
1-153	島村 逢紅	[子どもと影]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	37.1 × 29.4	個人蔵
1-154	島村 逢紅	[駅夫の老人]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.1 × 24.2	個人蔵
<b>■家族</b>						
1-155	島村 逢紅	少年の像	1932 (昭和 7) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	28.6 × 22.4	個人蔵
1-156	島村 逢紅	落椿	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 24.1	個人蔵
1-157	島村 逢紅	[蓄音器と子どもたち]	1935 (昭和 10)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.6	個人蔵
1-158	島村 逢紅	[蓄音器と踊る子どもたち]	1935 (昭和 10)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 20.8	個人蔵
1-159	島村 逢紅	[少女とカッパ]	1935 (昭和 10) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	26.5 × 24.0	個人蔵
1-160	島村 逢紅	子供と犬	1936 (昭和 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.2 × 34.4	個人蔵
1-161	島村 逢紅	陽子の像	1939 (昭和 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 23.8	個人蔵
1-162	島村 逢紅	[少女]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1 × 21.0	個人蔵
1-163	島村 逢紅	兄妹 其一	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	22.9 × 29.2	個人蔵
<b>&lt;広告&gt;</b>						
1-164	島村 逢紅	[森永ミルクチョコレートと子どもたちの足]	1931 (昭和 6)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.0 × 29.1	個人蔵
1-165	島村 逢紅	[ベッドサイドのマットダランブ]	1931 (昭和 6)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 22.5	個人蔵
1-166	島村 逢紅	[マットダランブ]	1932 (昭和 7)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.0 × 29.2	個人蔵
1-167	島村 逢紅	[コンビーフとキャベツ]	1932 (昭和 7)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7 × 29.6	個人蔵
1-168	島村 逢紅	[森永ミルクチョコレートとテニスラケット、セーター]	1933 (昭和 8)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.5	個人蔵
1-169	島村 逢紅	[アサヒビール]	1936 (昭和 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	37.3 × 28.5	個人蔵
1-170	島村 逢紅	[キリンビールのある風景]	1939 (昭和 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 36.7	個人蔵
1-171	島村 逢紅	[蚊取り線香]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 18.0	個人蔵
1-172	島村 逢紅	[コーヒー]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 23.9	個人蔵
1-173	島村 逢紅	[真珠のネックレスと少女]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	23.8 × 29.6	個人蔵
<b>&lt;静物&gt;</b>						
1-174	島村 逢紅	柿とナイフ	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2 × 29.6	個人蔵
1-175	島村 逢紅	鱈	1939 (昭和 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 28.5	個人蔵
1-176	島村 逢紅	柘榴	1939 (昭和 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	36.5 × 28.8	個人蔵
1-177	島村 逢紅	[パイナップル]	1941 (昭和 16)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5 × 37.0	個人蔵
1-178	島村 逢紅	筍 其一	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	23.8 × 29.5	東京都写真美術館
1-179	島村 逢紅	[茄子]	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.8 × 36.8	個人蔵
1-180	島村 逢紅	[柿]	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	28.6 × 35.7	個人蔵
1-181	島村 逢紅	林檎	1938 (昭和 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.6 × 24.0	個人蔵
1-182	島村 逢紅	静物 (壺とリンゴ)	1942 (昭和 17)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 36.6	東京都写真美術館
1-183	島村 逢紅	静物 2	1943 (昭和 18)	ゼラチン・シルバー・プリント	26.4 × 36.7	東京都写真美術館
1-184	島村 逢紅	[新聞と新聞入れ]	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 28.2	個人蔵
1-185	島村 逢紅	[眼鏡と洋書]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	36.9 × 27.3	個人蔵
1-186	島村 逢紅	[眼鏡と洋書]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	37.0 × 29.4	個人蔵
1-187	島村 逢紅	[グラスと風景 1]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 18.4	個人蔵
1-188	島村 逢紅	[グラスと風景 2]	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	33.9 × 20.5	個人蔵
<b>■椿</b>						
1-189	島村 逢紅	椿	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3 × 23.4	個人蔵
1-190	島村 逢紅	[台の上の椿]	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 23.2	東京都写真美術館
1-191	島村 逢紅	椿	1934 (昭和 9) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	26.6 × 20.2	個人蔵
1-192	島村 逢紅	椿	1940 (昭和 15)	ゼラチン・シルバー・プリント	36.7 × 25.5	個人蔵
1-193	島村 逢紅	椿	1941 (昭和 16)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7 × 36.9	個人蔵
1-194	島村 逢紅	椿	1943 (昭和 18)	ゼラチン・シルバー・プリント	28.0 × 37.2	個人蔵
1-195	島村 逢紅	椿	1930 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.4 × 21.2	東京都写真美術館
1-196	島村 逢紅	[椿]	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	36.8 × 28.9	個人蔵
1-197	島村 逢紅	[椿]	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	36.5 × 29.1	個人蔵
1-198	島村 逢紅	静物 二	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	33.2 × 28.6	個人蔵
1-199	島村 逢紅	椿 (三)	1930-40 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7 × 36.4	東京都写真美術館
1-200	島村 逢紅	椿 (八)	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0 × 36.5	東京都写真美術館
<b>■鮎・干鰯</b>						
1-201	島村 逢紅	鮎	1936 (昭和 11) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.5	個人蔵
1-202	島村 逢紅	[鮎]	1941 (昭和 16) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	29.2 × 36.8	個人蔵
1-203	島村 逢紅	鮎	1943 (昭和 18)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.3 × 29.7	個人蔵
1-204	島村 逢紅	若鮎	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	22.9 × 28.8	東京都写真美術館
1-205	島村 逢紅	[黒板の上の干鰯と林檎]	1944 (昭和 19)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.3 × 29.5	個人蔵
1-206	島村 逢紅	[新聞紙の上の干鰯]	1944 (昭和 19)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.3 × 29.4	個人蔵
1-207	島村 逢紅	[皿の上の干鰯]	1944 (昭和 19)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2 × 29.7	個人蔵
<b>第 2 章 同時代の写真家たち</b>						
<b>交流のあった写真家たち</b>						
<b>&lt;福原信三 [1883-1948]&gt;</b>						
2-1	福原 信三	釣り 作品集『巴里とセーヌ』の 4	1913-21 (大正 2-10) *没後のプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	33.6 × 24.8	資生堂企業資料館
2-2	福原 信三	広告板 作品集『巴里とセーヌ』の 10	1913-21 (大正 2-10)	ゼラチン・シルバー・プリント	17.5 × 23.0	資生堂企業資料館
2-3	福原 信三	塔影	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	26.5 × 34.0	資生堂企業資料館
2-4	福原 信三	三千院	1924 (大正 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7 × 23.0	資生堂企業資料館
2-5	福原 信三	麦	1927 (昭和 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 29.2	資生堂企業資料館
2-6	福原 信三	ヘルン旧居 (『松江風景』より)	1935 (昭和 10)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.0 × 26.5	資生堂企業資料館
<b>&lt;福原路草 [1892-1946]&gt;</b>						
2-7	福原 路草	トタンの扉 麻布笄町自邸付近	1935 (昭和 10)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5 × 26.0	資生堂企業資料館

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)	所蔵
2-8	福原 路草	トタンの塀 麻布笄町自邸付近	1935 (昭和 10)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5 × 26.0	資生堂企業資料館
2-9	福原 路草	権現堤	1936 (昭和 11) *没後のプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	41.3 × 31.1	資生堂企業資料館
2-10	福原 路草	渚	1936 (昭和 11) *没後のプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	41.0 × 33.0	資生堂企業資料館
2-11	福原 路草	橋名湖	1939 (昭和 14)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5 × 26.0	資生堂企業資料館
<b>〔野島康三〔1889-1964〕〕</b>						
2-12	野島 康三	樹による女	1915 (大正 4)	ゴム印画	28.9 × 21.7	京都国立近代美術館
2-13	野島 康三	S 氏肖像	1921 (大正 10)	ゴム印画	26.9 × 18.4	京都国立近代美術館
2-14	野島 康三	仏手柑	1930 (昭和 5)	プロムオイル印画	17.2 × 27.5	京都国立近代美術館
2-15	野島 康三	枇杷	1930 (昭和 5)	プロムオイル印画	23.3 × 39.8	京都国立近代美術館
2-16	野島 康三	女 (モデル F.)	1931 (昭和 6)	プロムオイル印画	40.9 × 32.0	京都国立近代美術館
2-17	野島 康三	題名不詳	1931 (昭和 6)	プロムオイル印画	29.3 × 32.2	京都国立近代美術館
2-18	野島 康三	細川ちか子氏	1932 (昭和 7)	プロムオイル印画	40.7 × 30.7	京都国立近代美術館
<b>〔安井仲治〔1903-1942〕〕</b>						
2-19	安井 仲治	分離派の建築と其周囲	1922 (大正 11)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5 × 20.5	兵庫県立美術館寄託
2-20	安井 仲治	クレインノヒビキ	1923 (大正 12)	プロムオイル印画	26.3 × 38.1	兵庫県立美術館寄託
2-21	安井 仲治	工場ニテ	1931 (昭和 6)	ゼラチン・シルバー・プリント	84.4 × 59.8	兵庫県立美術館寄託
2-22	安井 仲治	斧と鎌	1931 (昭和 6)	ゼラチン・シルバー・プリント	32.5 × 24.1	兵庫県立美術館寄託
2-23	安井 仲治	水	1931-32 (昭和 6-7)	ゼラチン・シルバー・プリント	41.6 × 54.6	兵庫県立美術館寄託
2-24	安井 仲治	蛾 (二)	1934 (昭和 9)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.9 × 32.8	兵庫県立美術館寄託
<b>〔淵上白陽〔1889-1960〕〕</b>						
2-25	淵上 白陽	静物	1924 (大正 13)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0 × 27.1	東京都写真美術館
2-26	淵上 白陽	収穫	1927 (昭和 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0 × 24.3	東京都写真美術館
2-27	淵上 白陽	五月の郊外	1920-25 (大正 9-14)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.2 × 29.9	東京都写真美術館
<b>木国写友会の写真家たち</b>						
<b>〔島村嫩葉〔1885-1959〕〕</b>						
2-28	島村 嫩葉	煙	1910 年代	ゼラチン・シルバー・プリント	10.2 × 14.8	個人蔵
<b>〔島村紫陽〔1903-1974〕〕</b>						
2-29	島村 紫陽	瞑想	1927 (昭和 2)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.7 × 21.3	東京都写真美術館
2-30	島村 紫陽	丘	1928 (昭和 3)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7 × 40.1	東京都写真美術館
2-31	島村 紫陽	電柱のある風景	1929 (昭和 4) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	21.0 × 21.6	個人蔵
2-32	島村 紫陽	田園に於ける童女像	1930 (昭和 5) 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	25.7 × 22.0	個人蔵
2-33	島村 紫陽	砂川所見	1933 (昭和 8)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.0 × 23.4	個人蔵
2-34	島村 紫陽	秋風	1933 (昭和 8)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.1 × 22.1	個人蔵
2-35	島村 紫陽	雨具	1937 (昭和 12)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.7 × 23.6	東京都写真美術館
2-36	島村 紫陽	蛙	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	23.5 × 23.7	個人蔵
2-37	島村 紫陽	魚	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	20.3 × 22.8	東京都写真美術館
2-38	島村 紫陽	グラス	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	30.8 × 22.2	東京都写真美術館
<b>〔江本綾生〔1895-1978〕〕</b>						
2-39	江本 綾生	紅蓮	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	27.2 × 21.8	東京都写真美術館
2-40	江本 綾生	題不詳	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	28.8 × 23.6	東京都写真美術館



ポスター



図録



会場風景



## 2-1. 疎密考

会期 : 2021年4月24日(土)～5月30日(日) 27日間(休館日を除く)

会場 : 展示室C(2階)

主催 : 和歌山県立近代美術館

助成 : 文化庁[Arts for the Future! (コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)]

入場者数 : 2,983人

内容 : 1.「ひととの距離にみる疎密」、2.「美術表現にみる疎密」、3.「疎密を通じ間合いについて考える」の3部で構成。第1章では、人のいる風景やだれもない風景に表れた疎密から、人やものとの距離感や関係性が見て取れる作品を並べ、第2章では、余白あるいは集積といった形で表現された疎密を別々の部屋で対比的に紹介。最後の第3章では、時間的あるいは心理的な「間合い」について一考を促す空間とした。

展示点数 : 65作家84点

担当学芸員 : 藤本真名美

関連事業 : ・フロアレクチャー 4月29日(木・祝)、5月29日(土) 14:00～15:00 2階展示室にて 藤本真名美 23名、30名  
・こども美術館部「そとみつでかんがえる」 5月1日(土)、5月2日(日) 11:00～12:00 2階展示室にて 青木加苗 5名、6名  
・解説付きコンサート「クラシック音楽と疎密」5月30日(日) 14:00～14:45 和歌山県立近代美術館 屋外アプローチプラザ(正面入口前)にて 160名

＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定の5月5日(水・祝)から延期して実施

出演 : 西尾恵子氏(神戸市内管弦楽団首席ヴァイオリン奏者) 解説 : 岩野裕一氏(音楽ジャーナリスト/実業之日本社 代表取締役社長)

協力 : 和歌山県立近代美術館友の会

〈プログラム〉

イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ第5番より 第1楽章

バルトーク 無伴奏ヴァイオリンソナタより 第4楽章

ケージ 「4分33秒」より 第1楽章

バッハ 無伴奏パルティータ第2番

ドビュッシー 「子供の領分」より第5曲「小さな羊飼ひ」(アンコール)

制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)

・チラシ(A4判、オフセット印刷)

・出品目録(A4判6頁)

・プレスリリース(A4判3頁)

・360°ウォークスルービュープログラム(当館ウェブサイトにて公開)

入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)( )内は20名以上の団体料金

自己評価・課題・改善案 : コロナ禍によって、来館者の中で作品の見え方が以前とは変化している可能性を考慮しながら構成した。また、第1章の人や風景を描いた具象的な作品から第2・3章の抽象的な作品へと展開することで、抽象作品になじみのない人にも空間における疎密という切り口で視点を提示

できるよう工夫した。会期が新型コロナウイルス感染拡大の第4波と重なり、来館しにくい状況が続いていたが、時宜にかなった企画ということで比較的取材依頼も多く美術館活動に注目してもらえる機会になった。この時期に「疎密」をテーマに掲げることはやや不安もあったが、タイトルも含め良い反響をいただけた。延期して開催したヴァイオリンのコンサートも、コロナ禍に鑑みて屋外で実施し、ゲストの展示内容に合わせた選曲のおかげで、多くの参加者から好評を得た。展示室空間は「文化庁ARTS for the future! 事業」により、3D撮影の上、360°ウォークスルービュープログラムを当館ウェブサイト上で公開することができた。

関連記事 : ・「企画展「疎密考」『わかやま探検ミュージアム』Vol.64(4・5月号)、2021年4月1日、4頁

・「県立近代美術館 疎密考」『和歌山特報』第1686号、2021年4月11日、4面

・「コロナ禍の今「空間」見つめ直す 企画展「疎密考」24日から県立近代美術館」『紀伊民報』第23624号、2021年4月10日、6面

・「距離感見つめ直す芸術 近代美術館「疎密考」近現代の84点」『読売新聞』(地方版)2021年4月27日、21面

・西岡矩毅「疎と密 空間テーマに84点」『朝日新聞』(和歌山版)2021年4月29日、21面(同日ウェブでも配信)

・松本博子「県立近代美術館で「疎密考」 空間と距離見つめ直す 65作家の84点展示」『毎日新聞』(和歌山版)2021年4月29日、21面(同日ウェブでも配信)

・「距離や関係見つめ直す 近代美術館で企画展「疎密考」」『わかやま新報』2021年5月14日、7面(同日ウェブでも配信)

・正木利和「〈美と遊ぶ〉コロナ禍に思う距離感 「疎密考」和歌山県立近代美術館」『産経新聞』(夕)2021年5月14日、3面

その他の : ・小吹隆文「和歌山県立近代美術館「疎密考」 Youtube「アートのこぶみ」、2021年4月29日公開(ウェブでの動画配信)

メディア報道 : ・「企画展「疎密考」について」eo光チャンネル「情報スパイス」、2021年4月26日放送

・「「疎密」を考える企画展、和歌山県立近代美術館で」和歌山放送「WTVニュース」、2021年4月27日放送

・「企画展「疎密考」について」NHK和歌山放送局「ギョギョっと和歌山」、2021年4月30日、5月6日放送

＊以上ウェブ上の情報への最終アクセス日：2023年2月1日

疎密考 出品目録

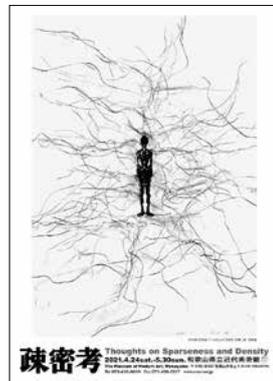
\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
<b>第1章 ひととの距離にみる疎密</b>						
1	木村 太陽	+- people	1997 (平成 9)	磁石、紙粘土	各 6.0 × 2.0 × 2.0 (13 体)	田中恒子氏寄贈
2	川西 英	『神戸十二月風景』 「十二月 元町歳暮」	1931 (昭和 6)	木版、紙	16.0 × 27.3	
3	逸見 享	『新東京百景』 第1輯第22号「神楽坂」	1929 (昭和 4)	木版、紙	24.2 × 18.4	
4	宮尾 しげを	夜汽車	1929 (昭和 4)	木版、紙	23.2 × 32.5	
5	逸見 享	砂丘	1933 (昭和 8)	木版、紙	36.3 × 48.3	逸見渚氏・逸見京子氏寄贈
6	稲垣 知雄	麦秋	1931 (昭和 6)	木版、紙	23.0 × 31.8	
7	前川 千帆	雪の駒ヶ岳遠望	制作年不詳	木版、紙	29.9 × 39.0	
8	宮田 彩加	MASK - 招き猫 -	2020 (令和 2)	ミシン糸・平ゴム	15.5 × 12.5 × 9.0	田中恒子氏寄贈
9	宮田 彩加	MASK - 鮭 -	2020 (令和 2)	ミシン糸・平ゴム	17.5 × 12.5 × 9.0	田中恒子氏寄贈
10	清水 登之	ヨコハマ・ナイト	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	76.2 × 96.5	
11	石垣 栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	
12	村井 正誠	パンチュール No. 3	1929-33 (昭和 4-8)	油彩、キャンバス	113.5 × 194.5	作者寄贈
13	宮崎 豊治	眼下の庭 2001-5	2001 (平成 13)	鉄、漆	12.5 × 20.5 × 8.3	田中恒子氏寄贈
14	吉田 克朗	No.11	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	70.2 × 89.5	
15	清塚 紀子	退屈な会話	1975 (昭和 50)	銅版、紙	55.7 × 45.3	作者寄贈
16	吉原 英雄	二つの地平B	1988 (昭和 63)	石版、紙	219.5 × 123.5	
17	野田 哲也	日記 1980年7月11日、成田へ	1980 (昭和 55)	木版・スクリーンプリント、紙	43.6 × 65.1	ブリッジ寄贈
18	田中 恭吉	初夏	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.8 × 33.6	恩地邦郎氏寄贈
19	クロード・ワイスバッシュ	二重奏 I	制作年不詳	油彩、キャンバス	104.0 × 140.0	森林平氏寄贈
20	鴨居 玲	LOVE	1980 (昭和 55) 頃	油彩、キャンバス	61.0 × 41.2	篠田博之氏・ 篠田めぐみ氏寄贈
21	オーギュスト・ロダン	永遠の偶像	1889 (明治 22)	ブロンズ	高さ 75.0	個人蔵
22	森村 泰昌	人と人形	1994 (平成 6)	写真	21.0 × 26.0	田中恒子氏寄贈
23	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 02	2004 (平成 16)	写真	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト 日本委員会寄贈
24	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 13	2004 (平成 16)	写真	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト 日本委員会寄贈
25	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 19	2004 (平成 16)	写真	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト 日本委員会寄贈
26	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 21	2004 (平成 16)	写真	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト 日本委員会寄贈
27	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 22	2004 (平成 16)	写真	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト 日本委員会寄贈
28	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 24	2004 (平成 16)	写真	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト 日本委員会寄贈
29	北川 健次	肖像	1981 (昭和 56)	銅版、紙	34.3 × 24.0	
30	池田 良二	Exit	1984 (昭和 59)	銅版、紙	49.8 × 49.7	作者寄贈
31	田中 孝	Mr.K	1982 (昭和 57)	銅版、紙	35.8 × 49.4	作者寄贈
32	今村 源	2008-11 わたし I	2008 (平成 20)	鉛筆、	90.5 × 63.0	田中恒子氏寄贈
33	今村 源	2008-11 わたし II	2008 (平成 20)	木炭、紙	84.1 × 59.3	田中恒子氏寄贈
34	今村 源	2008-11 わたし III	2008 (平成 20)	鉛筆、紙	90.0 × 63.0	田中恒子氏寄贈
35	今村 源	2008-11 わたし IV	2008 (平成 20)	パステル、紙	90.0 × 63.0	田中恒子氏寄贈
36	今村 源	2008-11 わたし V	2008 (平成 20)	木炭、紙	90.0 × 63.0	田中恒子氏寄贈
37	福岡道雄	身をかくす	1987 (昭和 62)	F.R.P.	16.0 × 13.0 × 11.0	田中恒子氏寄贈
38	姜 丞熹	5 時 30 分の夜明け— 1990 年夏	1990 (平成 2)	銅版、紙	58.8 × 115.3	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈
39	ダイアナ・ビルケンハイアー	MANHATTAN WALLS #7 "STILL LIFE WITH HYDRANT"	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、紙	50.8 × 73.7	作者寄贈
40	杉本 博司	カボット・ストリート・ シネマ、マサチューセッツ	1978 (昭和 53)	写真	42.3 × 54.5	
41	池田 良二	Space of foggy ocean (海霧の空間)	1990 (平成 2)	銅版、紙	114.6 × 179.7	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈
42	山本 桂右	光・時間・静寂 No.7	1995 (平成 7)	石版、紙	59.8 × 85.0	作者寄贈
43	高原 洋一	GEOMETRIC NARCISSUS AX	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、紙	95.0 × 141.8	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈
44	嶋 剛	無題F	1982 (昭和 57)	アクリル絵具、キャンバス	168.5 × 214.5	
45	妻木 良三	Untitled	2002 (平成 14)	鉛筆・黒鉛・水彩、ケント紙	160.0 × 110.0	
<b>第2章 美術表現にみる疎密</b>						
46	津高 和一	キム キム	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	91.3 × 117.0	
47	関根 勢之助	落下する赤	1964 (昭和 39)	油彩、キャンバス	162.1 × 130.3	土橋晃氏寄贈
48	館 勝生	September. 1. 2008	2008 (平成 20)	油彩、キャンバス	130.3 × 194.0	
49	堀内 正和	四つの立方体 (線)	1979 (昭和 54)	鉄	85.0 × 208.0 × 98.0	
50	下村 良之介	闘鶏屏風 (度)	1978 (昭和 53)	顔料、紙	167.5 × 184.3	
51	井上 永悠	竹石	1935-45 (昭和 10-20)	墨、紙	48.0 × 58.8	篠田博之氏寄贈
52	井上 永悠	鶉	1955 (昭和 30) 頃	墨、紙	41.4 × 58.0	篠田博之氏寄贈
53	速水 御舟	竹生図	1928 (昭和 3)	顔料、絹	124.8 × 41.2	個人蔵
54	岸田 劉生	瓜之絵	1925 (大正 14)	顔料、絹	26.3 × 28.0	個人蔵
55	近藤 竜男	67-24	1967 (昭和 42)	アクリル絵具・ナイロン紐・木・ブラ スチック、キャンバス	194.0 × 130.0 × 9.5	
56	木下 佳通代	77-27	1977 (昭和 52)	カラーフェルトペン、写真	59.1 × 83.6	玉田美智子氏寄贈
57	李 禹煥	East Winds	1985 (昭和 60)	水彩、紙	76.8 × 57.2	田中恒子氏寄贈
58	サム・フランシス	足跡	1960 (昭和 35)	リトグラフ、紙	63.5 × 90.5	
59	殿敷 侃	日本地図	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、印刷物	102.0 × 72.7	天野紋子氏寄贈
60	殿敷 侃	不明	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、新聞紙	182.2 × 81.1 × 3.3	天野紋子氏寄贈
61	建島 覚造	ORGAN	1962 (昭和 37)	セメント	95.0 × 123.0 × 23.8	
62	関根 美夫	作品 # 395-396	1975 (昭和 50)	油彩、キャンバス	162.5 × 261.2	
63	田中 敦子	'61 赤と黒	1961 (昭和 36)	ビニール絵具、キャンバス	175.0 × 129.5	
64	申 璋湜	アリラン— 祈り I	1990 (平成 2)	木版、紙	181.2 × 360.0	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈
65	中村 康平	Resurrection	1991 (平成 3)	陶	55.0 × 52.5 × 40.0	
66	三上 誠	荒地	1960 (昭和 35)	インク・蠟・顔料、紙	151.3 × 121.3	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
67	野村 耕	律	1964 (昭和 39)	紙型・カシュー・油彩、板	151.5 × 90.7	
68	向井 修二	作品	1965 (昭和 40)	油彩、キャンバス	182.8 × 136.8 × 8.0	
<b>第3章 疎密を通じ間合いについて考える</b>						
69	山田 正亮	Work E-265	1986-87 (昭和 61-62)	油彩、キャンバス	194.0 × 194.2 × 3.3	
70	堀 浩哉	ジャングル - 3	1986 (昭和 61) / 1987 (昭和 62) 加筆	アクリル絵具・岩彩・オイルスティック・墨、キャンバス	259.4 × 182.5 × 7.0	
71	李 禹煥	点より	1980 (昭和 55)	岩彩、キャンバス	193.9 × 258.8	
72	孫 雅由	空間の間合い AC95-15	1995 (平成 7)	木炭・アクリル絵具、綿布	259.0 × 776.0	櫻井和子氏寄贈
73	宇佐美 圭司	水族館の中の水族館 No.2	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	185.2 × 276.0	
74	森口 宏一	白土三平・カムイ伝・より	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、アクリル板、ステンレススチールほか	97.0 × 65.0 × 9.5	作者寄贈
75	豊福 知徳	円柱 I	1965 (昭和 40)	木	296.0 × 49.0 × 49.0	
76	高橋 力雄	Music (Noh Play A) (音楽 能 A)	1960 (昭和 35)	木版、紙	56.2 × 37.8	奥田西杜子氏寄贈
77	高橋 力雄	Music (Noh Play B) (音楽 能 B)	1960 (昭和 35)	木版、紙	57.8 × 42.0	奥田西杜子氏寄贈
78	ジョン・ケージ	Déreau #9	1982 (昭和 57)	銅版、紙	46.0 × 63.2	
79	ジョン・ケージ	Déreau #13	1982 (昭和 57)	銅版、紙	46.6 × 63.1	
80	ジョン・ケージ	Déreau #16	1982 (昭和 57)	銅版、紙	46.2 × 63.1	
81	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 ドビュッシー「小さい羊飼」	1950 (昭和 25)	紙版・木版、紙	24.2 × 17.1	
82	藤本 由紀夫	Book	1994 (平成 6)	オルゴール、アルミニウム	19.5 × 14.5 × 8.0	田中恒子氏寄贈
83	藤本 由紀夫	Book	1994 (平成 6)	オルゴール、アルミニウム	19.5 × 14.5 × 8.0	田中恒子氏寄贈
84	武田 (鈴木) 健夫	横断歩道	2003 (平成 15)	木版、紙	21.1 × 29.7	作者寄贈



ポスター



チラシ表／裏



会場風景

## 2-2. もうひとつの世界

会期 : 2021年6月8日(土)～7月18日(日) 36日間(休館日を除く)

会場 : 展示室C(2階)

主催 : 和歌山県立近代美術館

入場者数 : 2,616人

内容 : 美術作品は、ここではないもうひとつの世界とわたしたちを繋げる鍵となる。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、それ以前とは大きく異なる世界を生きていることを強く実感するなかにあつて、美術表現を通して改めていまこの世界を見つめ直す機会を設けた。1.「世界のみかた わたしたちはいまだどこにいる?」、2.「あちらとこちらをつなぐもの これはなんでしょう?」、3.「わたしがいる世界 わたしはどうしてここにいる?」の3部で構成。

展示点数 : 51作家 144点

担当学芸員 : 宮本久宣

関連事業 : ・フロアレクチャー 6月13日(日)、7月11日(日) 14:00～15:00 2階展示室にて 宮本久宣 15名、21名  
・子ども美術館部「ここはいつ?いまはどこ?」 7月3日(土)、4日(日) 11:00～12:00 2階展示室にて 青木加苗 各6名

制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)  
・チラシ(A4判、オフセット印刷)  
・出品目録(A4判6頁)  
・プレスリリース(A4判3頁)

入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)( )内は20名以上の団体料金

自己評価・課題・改善案 : 多くの人々が世界のあり方についてさまざまに考えを巡らせるなか、改めていまいる世界や自分自身について美術表現を通して問いかけることで、その価値や意味を考える機会とできるよう展示構成を考えた。基本的に全ての出品作品に解説文をつけ、解釈の手がかりを設けることで、一見分かりにくいと考えられることも多い作品に対しても、その理解を深め、それが展覧会全体の鑑賞の質を向上させることにもつながったと考えられる。パネルや作品解説などは、ウェブ上に残していくことを考えたい。

関連記事 : ・「県立近代美術館 もうひとつの世界」『和歌山特報』第1691号、2021年6月1日、9面  
・「"ここ"とは違う場所へ 企画展「もうひとつの世界」7月18日まで 県立近代美術館」『紀伊民報』第23675号、2021年6月12日、6面(6月11日にウェブでも配信)  
・「今は違う場所感じて 近代美術館 絵画や写真、144件展示」『毎日新聞』(和歌山版)2021年6月15日、25面(同日ウェブでも配信)  
・「〈新報女子部調査隊〉Mission488 問い掛ける美術の魅力とは?」『わかやま新報』2021年7月4日、3面

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日: 2023年2月1日

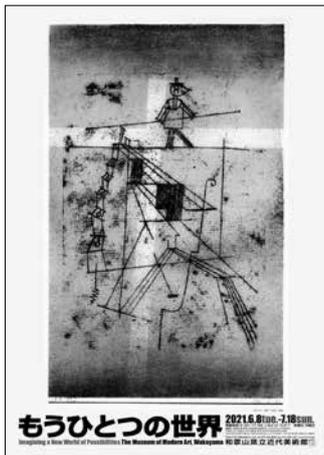
### もうひとつの世界 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
<b>世界の見かた わたしたちはいまだどこにいる?</b>						
1	トーマス・ルフ	星座<インドミタブル・スピリット・ポートフォリオ> II より	1990(平成2)	Cプリント	58.8×61.0	
2	野村 仁	落下の瞬間に	1996(平成8)	隕石	サイズ可変	田中恒子氏寄贈
3	野村 仁	ようこそ地球へ、では2379年後に再会しましょう	1997(平成9)	Cプリント	各41.0×60.0(8点組)	個人蔵
4	河口 龍夫	地下時間	2005(平成17)	鉛筆・水彩・スタンプ、紙	38.0×27.0	田中恒子氏寄贈
5	河口 龍夫	地下時間(動物-I)	2005(平成17)	鉛筆・水彩・スタンプ、紙	38.0×28.0	田中恒子氏寄贈
6	河口 龍夫	地下時間(植物-I)	2005(平成17)	鉛筆・水彩・スタンプ、紙	38.0×26.5	田中恒子氏寄贈
7	妻木 良三	境界 II	2009-11 (平成21-23)	鉛筆・アクリル絵具・ジェッソ、板	90.0×90.0	
8	嶋 剛	無題F	1982(昭和57)	アクリル絵具、キャンバス	168.5×214.5	
9	杉本 博司	オイスター・ベイ	1980(昭和55)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.1×58.6	
10	杉本 博司	カリブ海 ジャマイカ	1980(昭和55)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.1×54.6	
11	鈴木 理策	海と山のあいだ(14, DK-294)	2014(平成26)	発色現像方式印画	95.2×119.0	作者寄贈
12	鈴木 理策	海と山のあいだ(14, DK-504)	2014(平成26)	発色現像方式印画	95.2×119.0	作者寄贈
13	鈴木 理策	海と山のあいだ(14, DK-507)	2014(平成26)	発色現像方式印画	95.2×119.0	作者寄贈
14	鈴木 理策	海と山のあいだ(14, DK-410)	2014(平成26)	発色現像方式印画	95.2×119.0	作者寄贈
15	福岡 道雄	流れ木	1992(平成4)	黒色強化ポリエステル	102.0×135.0×60.0	個人蔵
16	小林 敬生	蘇生の刻—群舞—	1992(平成4)	木口木版・コラージュ、紙	167.3×260.2	和歌山版画ビエンナーレ実行委員会寄贈
17	宇佐美 圭司	遺作・制動(ブレーキ)・大洪水	2012(平成24)	油彩、キャンバス	291.0×291.0	個人蔵
18	エステバン・チャヴェス	エイズを知るための習作としてのキルト	1992(平成4)	フォトエッチング・エンブレイヴィング、紙	134.9×271.5	和歌山版画ビエンナーレ実行委員会寄贈
19	田中 秀介	古今頭頂摩擦	2019(令和元)	油彩、キャンバス	259.0×194.0	
20	工藤 哲巳	未来と過去の間での遺伝染色体による綾取り	1979(昭和54)	ミクストメディア	26.6×32.0×17.0	
21	サイモン・バターソン	大熊座	1992(平成4)	リトグラフ、紙	99.0×124.5	
22	村井 正誠	聚落	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	80.5×233.0	作者寄贈
23	マーク・ボイル	黒いふち石の研究	1980-81 (昭和55-56)	彩色、ファイバーグラス	182.4×183.2	
24	建畠 覚造	ORGAN	1962(昭和37)	セメント	95.0×123.0×23.8	
<b>あちらとこちらをつなぐもの これはなんでしょう?</b>						
25	小柳 裕	A View with the Steelworks	2014(平成26)	油彩・アクリル絵具、キャンバス、パネル	153.0×202.2	作者寄贈
26	クリスト	梱包されたライヒスターク/ベルリンのプロジェクト	1986(昭和61)	鉛筆・木炭ほか、紙	144.7×165.4	
27	木下 佳通代	UNTITLED	1975(昭和50)	シルクスクリーン・フェルトペン、紙	96.5×59.0	玉田美智子氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
28	木下佳通代	UNTITLED	1975 (昭和 50)	シルクスクリーン・フェルトペン、紙	96.5 × 59.0	玉田美智子氏寄贈
29	稗田一穂	帰り路	1981 (昭和 56)	顔料、紙	193.8 × 166.5	
30	田中恭吉	初夏	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.8 × 33.6	恩地邦郎氏寄贈
31	渡部満	五月の由希子	1995 (平成 7)	油彩・金泥、テンペラ地、板	46.3 × 46.3	個人蔵
32	清原啓子	魔都	1987 (昭和 62) / 1988 (昭和 63) 没後刷	エッチング、紙	45.0 × 55.2	
33	駒井哲郎	束の間の幻影	1951 (昭和 26)	アクリル・エッチング・ドライポイント、紙	17.4 × 29.4	個人蔵
34	難波田史男	スモッグの彼方の蟹気楼	1966 (昭和 41)	水彩・インク、紙	76.9 × 109.4	
35	北山善夫	ドローイング 死者へ生者へ	1999-2002 (平成 11-14)	ペン・竹、紙、パネル	45.5 × 37.0 × 20.0	田中恒子氏寄贈
36	殿敷 侃	日本地図	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、印刷物	102.0 × 72.7	天野紋子氏寄贈
37	星野 眞吾	喪中の作品 A	1965 (昭和 40)	顔料、紙	180.6 × 89.5	
38	ハミッシュ・フルトン	ヒープスタウン・ケルン	1986 (昭和 61)	写真、テキスト	119.5 × 137.3	
39	ハミッシュ・フルトン	ブレコン・ビーコンズ	1987 (昭和 62)	写真、テキスト	119.6 × 137.6	
40	豊福知徳	円柱 I	1965 (昭和 40)	木	296.0 × 49.0 × 49.0	
41	鈴木久雄	風化儀式 - IV	1983 (昭和 58)	鉄、白御影石	57.0 × 60.0 × 60.0	作者寄贈
42	建島 覚造	祖	1958 (昭和 33)	木、セメント	124.0 × 37.5 × 37.5	作者寄贈
43	向井修二	作品	1965 (昭和 40)	油彩、キャンバス	182.8 × 136.8	
44	磯辺行久	モニュメント 0	1961 (昭和 36)	ミクストメディア、キャンバス	182.0 × 139.4	
45	松谷武判	作品 - C	1961 (昭和 36)	油彩・カスガイ・セメント、合板	182.5 × 91.5	
46	ロジャー・アックリング	ノーフォーク	1988 (昭和 63)	木、太陽光線	69.2 × 5.0 × 3.9	
47	エドワード・アーリントン	あなたに名前がなかったら	1991 (平成 3)	ブロンズ、写真	ブロンズ: 35.3 × 61.7 × 48.6 / 写真: 81.1 × 65.6	
48	ルイーズ・ニーヴェルソン	北の星	1977-82 (昭和 52-57)	黒彩色、木	278.0 × 213.3 × 48.2	
<b>わたしがいる世界 わたしはどうしてここにいる？</b>						
49	長谷川 潔	ヴェズヴェルの丘上の古い農家	1942 (昭和 17)	ドライポイント、紙	22.2 × 31.3	
50	長谷川 潔	古代羅馬の燈台 (フレジュス村、アウグストゥスの角燈)	1952 (昭和 27)	メゾチント、紙	20.4 × 30.3	
51	織田一磨	大根河岸〈東京風景〉より	1916 (大正 5)	リトグラフ、紙	39.5 × 28.5	
52	石井 柏亭	よし町〈東京十二景〉より	1910 (明治 43)	木版、紙	33.7 × 20.6	
53	大亦 新治郎	扇之芝	1911 (明治 44) 頃	水彩、紙	23.7 × 31.9	
54	大亦 新治郎	陳列所内ニテ	1913 (大正 2)	鉛筆、紙	36.1 × 25.4	
55	田中恭吉	死に面接する心く密室) Vより	1913 (大正 2)	インク、紙	11.2 × 6.1	恩地邦郎氏寄贈
56	田中恭吉	薬包紙デッサン [すずかざぐさ]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.3 × 11.8	恩地邦郎氏寄贈
57	田中恭吉	薬包紙デッサン [葉]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.3 × 11.8	恩地邦郎氏寄贈
58	田中恭吉	薬包紙デッサン [青梅]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.4 × 11.9	恩地邦郎氏寄贈
59	田中恭吉	薬包紙デッサン [もちつつじ]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.3 × 11.9	恩地邦郎氏寄贈
60	田中恭吉	薬包紙デッサン [實のおかしさ]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.3 × 11.9	恩地邦郎氏寄贈
61	田中恭吉	薬包紙デッサン [花]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.3 × 11.8	恩地邦郎氏寄贈
62	田中恭吉	薬包紙デッサン [蛾]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.3 × 11.8	恩地邦郎氏寄贈
63	田中恭吉	薬包紙デッサン [すみれ]	1915 (大正 4) 頃	インク、紙	11.3 × 11.9	恩地邦郎氏寄贈
64	田中恭吉	劫初の一入	1915 (大正 4) 頃	木版、紙	20.0 × 13.1	恩地邦郎氏寄贈
65	山本正道	遺跡の見える風景	1976 (昭和 51)	ブロンズ	22.5 × 96.5 × 40.5	
66	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.6 × 31.3	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12686]
67	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	32.1 × 47.8	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12743]
68	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.8 × 31.5	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12688]
69	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.6 × 34.1	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12691]
70	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	31.9 × 47.8	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12693]
71	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.6 × 31.8	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12713]
72	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	31.8 × 48.0	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12739]
73	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.7 × 37.8	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12697]
74	奈良原 一高	沈黙の園〈王国〉より	1958 (昭和 33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.6 × 31.8	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12686]
75	奈良原 一高	壁の中〈王国〉より	1956-58 (昭和 31-33)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.2 × 47.6	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12759]
76	奈良原 一高	壁の中〈王国〉より	1956-58 (昭和 31-33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.5 × 31.9	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12761]
77	奈良原 一高	壁の中〈王国〉より	1956-58 (昭和 31-33)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.7 × 47.8	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12768]
78	奈良原 一高	壁の中〈王国〉より	1956-58 (昭和 31-33)	ゼラチン・シルバー・プリント	31.7 × 47.5	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12783]
79	奈良原 一高	壁の中〈王国〉より	1956-58 (昭和 31-33)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.6 × 32.0	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12798]
80	奈良原 一高	壁の中〈王国〉より	1956-58 (昭和 31-33)	ゼラチン・シルバー・プリント	31.4 × 47.8	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12776]
81	奈良原 一高	壁の中〈王国〉より	1956-58 (昭和 31-33)	ゼラチン・シルバー・プリント	31.7 × 47.7	橋原恵子氏寄贈 [台帳番号: 12807]
82-121	太田 三郎	POST WAR 50 私には誰ですか	1995 (平成 7)	レーザープリント、紙	各 29.1 × 15.7	田中恒子氏寄贈
82		1 閻喜風 女性 安東省 第1次 (昭和 56 年 3 月訪日)				
83		2 田富 男性 三江省 第1次 (昭和 56 年 3 月訪日)				
84		3 張秀英 女性 奉天省 第2次 (昭和 57 年 2-3 月訪日)				
85		4 高世復 男性 奉天省 第2次 (昭和 57 年 2-3 月訪日)				
86		5 呂済玲 女性 東安省 第3次 (昭和 58 年 2-3 月訪日)				
87		6 馬文林 男性 濱江省 第3次 (昭和 58 年 2-3 月訪日)				
88		7 呉桂蘭 女性 奉天省 第4次 (昭和 58 年 12 月訪日)				
89		8 張学彦 男性 吉林省 第4次 (昭和 58 年 12 月訪日)				
90		9 張桂雲 女性 牡丹江省 第5次 (昭和 59 年 2-3 月訪日)				

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
91		10 王占山 男性 三江省 第5次(昭和59年2-3月訪日)				
92		11 鄒麗栄 女性 東安省 第6次(昭和59年11-12月訪日)				
93		12 張世良 男性 奉天省 第6次(昭和59年11-12月訪日)				
94		13 張喜玲 女性 吉林省 第7次(昭和60年2-3月訪日)				
95		14 王克印 男性 濱江省 第7次(昭和60年2-3月訪日)				
96		15 王秀蓮 女性 東安省 第8次(昭和60年9月訪日)				
97		16 莊立発 男性 奉天省 第8次(昭和60年9月訪日)				
98		17 蘭艶霞 女性 竜江省 第9次(昭和60年11-12月訪日)				
99		18 張長端 男性 竜江省 第9次(昭和60年11-12月訪日)				
100		19 韓来英 女性 竜江省 第10次(昭和61年2-3月訪日)				
101		20 楊金有 男性 牡丹江省 第10次(昭和61年2-3月訪日)				
102		21 樊淑珍 女性 竜江省 第11次(昭和61年6月訪日)				
103		22 王家林 男性 閩東省 第11次(昭和61年6月訪日)				
104		23 周玉坤 女性 竜江省 第12次(昭和61年9月訪日)				
105		24 馬長太 男性 濱江省 第12次(昭和61年9月訪日)				
106		25 張淑雲 女性 東安省 第13次(昭和61年10-11月訪日)				
107		26 李喜春 男性 牡丹江省 第13次(昭和61年10-11月訪日)				
108		27 紀淑賢 女性 東安省 第14次(昭和61年12月訪日)				
109		28 賀吉春 男性 三江省 第14次(昭和61年12月訪日)				
110		29 李桂琴 女性 興安南省 第15次(昭和62年2-3月訪日)				
111		30 王明遠 男性 吉林省 第15次(昭和62年2-3月訪日)				
112		31 陳秀華 女性 東安省 第16次(昭和62年11月訪日)				
113		32 楊立成 男性 竜江省 第16次(昭和62年11月訪日)				
114		33 鄒春栄 女性 奉天省 第17次(昭和63年2-3月訪日)				
115		34 趙立業 男性 奉天省 第17次(昭和63年2-3月訪日)				
116		35 麻玉蘭 女性 興安北省 第18次(昭和63年6-7月訪日)				
117		36 王祖君 男性 牡丹江省 第18次(昭和63年6-7月訪日)				
118		37 徐立君 女性 吉林省 第19次(平成元年2-3月訪日)				
119		38 成玉 男性 三江省 第19次(平成元年2-3月訪日)				
120		39 高玉蘭 女性 吉林省 第20次(平成2年2-3月訪日)				
121		40 張禄海 男性 興安北省 第20次(平成2年2-3月訪日)				
122	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 22	2004 (平成16)	C プリント	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト日本委員会寄贈
123	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 13	2004 (平成16)	C プリント	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト日本委員会寄贈
124	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 21	2004 (平成16)	C プリント	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト日本委員会寄贈
125	ベルト・テウニッセン	Domestic Landscapes wakayama 02	2004 (平成16)	C プリント	50.0 × 64.0	EU・ジャパンフェスト日本委員会寄贈
126	松本 竣介	三人	1943 (昭和18)	油彩、キャンパス	162.2 × 112.5	個人蔵
127	三栖敏雄	父の像	1920 (大正9) 頃	油彩、板	33.2 × 24.2	三栖敏彦氏寄贈
128	三栖敏雄	母の像	1920 (大正9) 頃	油彩、板	33.2 × 23.9	三栖敏彦氏寄贈
129	野田 哲也	日記 1977年8月10日	1977 (昭和52)	木版・シルクスクリーン、紙	79.0 × 42.8	
130	野田 哲也	日記 1980年6月25日	1980 (昭和55)	木版・シルクスクリーン、紙	84.8 × 44.0	ブリッジ寄贈
131	森村 泰昌	肖像(娘 II)	1988 (昭和63)	写真	127.9 × 90.3	
132	呉 採鉉	家系図 9625	1996 (平成8)	石、電球	85.0 × 24.0 × 13.5	田中恒子氏寄贈
133	折元 立身	Kitchen of Japanese Noodle Restaurant: Heavy Newspapers on My Mother's Head	1998 (平成10)	写真	各 37.0 × 55.5 (6点組)	田中恒子氏寄贈
134	パラモデル	パラモデリック・グラフィティ (沢田マンションの屋上庭園)	2007 (平成19)	ラムダプリント	120.0 × 100.0	田中恒子氏寄贈
135	パラモデル	極楽百景 第八景 一新世界 八重勝 ニュー配達一	2007 (平成19)	ラムダプリント	100.0 × 120.0	田中恒子氏寄贈
136	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 19.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈
137	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 19.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈
138	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 19.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈
139	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 19.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈
140	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 25.0 × 30.0	田中恒子氏寄贈
141	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 25.0 × 30.0	田中恒子氏寄贈
142	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 25.0 × 30.0	田中恒子氏寄贈
143	パラモデル	トミ串	2007 (平成19)	ミニカー、食品サンプル、アルミ製 トレイほか	5.0 × 25.0 × 30.0	田中恒子氏寄贈
144	パウル・クレー	網渡り	1923 (大正12)	リトグラフ、紙	43.8 × 26.9	



ポスター



チラシ表／裏



会場風景

## 2-3. コミュニケーションの部屋

- 会期 : 2021年8月15日(日)～10月10日(日) 49日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 助成 : 文化庁[Arts for the Future! (コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)]
- 入場者数 : 4,125人
- 内容 : 展覧会や展示室は、美術作品や自分自身との、また見る者同士のコミュニケーションも生み出す場所である。社会における情報伝達や共同作業などの観点を、多様なジャンルの作品を手がかりに探った。1.「伝えること(ば)／伝わらないこと(ば)」、2.「見る／見られる」、3.「ともに見ること:あなた/だれか」、4.「ディス/コミュニケーションの部屋」、5.「協働の向こうがわ」の5部で構成。
- 展示点数 : 62作家121点、資料4点
- 担当学芸員 : 青木加苗
- 関連事業 : ・だれでも美術館部 9月26日(日)、10月2日(土) 14:00～15:00 2階展示室にて 青木加苗 各7名 \*10月の回は手話通訳付き  
・こども美術館部「こみにゆこみゆにけーしょん」 10月2日(土)、3日(日) 11:00～12:00 2階展示室にて 青木加苗 各6名  
・WAKAYAMA COFFEE MARKET Communication over Coffee! (コーヒーイベント) 10月2日(土)、3日(日) 和歌山県立近代美術館前広場にて 11:00～20:00 主催: market Wakayama  
・アーティスト・トーク&ワークショップ  
アーティスト・トーク 10月9日(土) 14:00～16:00 2階ホールにて 講師:前川紘士(美術家) 18名  
ワークショップ「ものまね関係」 10月10日(日) 13:00～15:30 2階ホールにて 講師:前川紘士(美術家) 14名  
主催:NPO法人和歌山芸術文化支援協会(wacss)  
協力:和歌山県立近代美術館  
助成:令和3年度和歌山県文化振興事業補助事業「コミュニケーションからアートを考える」体験アート・ワークショップと成果展示  
\*アーティスト・トークは和歌山県立近代美術館公式 Youtube チャンネルにてウェブ配信(12月28日公開)  
\*ワークショップの活動概要と参加者が作った作品は和歌山県立近代美術館公式ウェブサイトで紹介
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)  
・チラシ(A4判、オフセット印刷)  
・出品目録(A4判8頁)  
・プレスリリース(A4判3頁)  
・体験アート・ワークショップと成果展示 活動報告書(A2判四つ折、オフセット印刷)  
・360°ウォークスルービュープログラム(当館ウェブサイトにて公開)
- 『体験アート・ワークショップと成果展示 活動報告書』:特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会(wacss)2021年11月30日発行
- ・青木加苗 [まえがき]
  - ・前川紘士 アーティスト・トーク
  - ・井上節子 [ワークショップをふりかえって]
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 新型コロナウイルス感染拡大により多くの美術館は臨時休館を経験し、あらためて展覧会や展示の意味を考えることとなった。その視点を共有する機会として、本企画では企画者である「わたし」から鑑賞者としての「あなた」への、また作品や他者とのコミュニケーションのかたちを、5つの観点から提示した。なかでもアーティストと障害のある人がペアになって創作活動を行う「アートリンク・プロジェクト」の例から前川紘士氏と那須大輔氏の活動を紹介し、アーティスト・トークとワークショップの講師として前川氏を招聘することにより、美術における多様なコミュニケーションの可能性を広く知ってもらう機会を設けられた。その成果は、YouTubeや報告書で公開している。また来館者とお話ししながら展示を楽しむ「だれでも美術館部」の1回に手話通訳をつけ、普段情報にアクセスしにくい人たちへの参加機会を準備することができた。こうした多様なアクセシビリティを特別な機会とするのではなく、継続的に確保することが今後の課題である。他の企画展と同様、図録の制作は叶わなかったが、展示室空間は「文化庁 ARTS for the future! 事業」により、3D撮影の上、360°ウォークスルービュープログラムを当館ホームページ上で公開している。
- 関連記事 : ・「コミュニケーションの部屋 15日から県立近代美術館企画展」『日高新報』2021年8月4日、3面  
・「県立近代美術館 15日から 企画展「コミュニケーションの部屋」「いま・ここ」を共有」『紀伊民報』第23722号、2021年8月7日、6面  
・「県立美術館 コミュニケーションの部屋 8月15日～」『和歌山特報』第1698号、2021年8月11日、11面  
・後藤千晴「多様な「伝達」表現 県立近代美術館 10月10日まで」『和歌山経済新聞(『毎日新聞』内に掲載)』(和歌山版)2021年8月22日、23面(8月17日にウェブでも配信)  
・小林公「「コミュニケーションの部屋」展 「わからない」の先にあるもの」『毎日新聞』(夕)2021年9月1日、7面(同日ウェブでも配信)  
・「展覧会で生まれる交流 10日まで県立近代美術館で企画展」『わかやま新報』2021年9月15日、3面

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年2月1日

コミュニケーションの部屋 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
<b>Room 1 伝えること(ば) / 伝わらないこと(ば)</b>						
1		「コミュニケーションの部屋」展ポスター	2021 (令和 3)	オフセット印刷、紙	72.8 × 51.5	
2	野田 哲也	日記 1971 年 5 月 15 日	1971 (昭和 46)	木版・スクリーンプリント、紙	43.6 × 44.9	近代美術館友の会寄贈
3	ロイ・リキテンシュタイン	クラック!(ズドン!)	1964 (昭和 39)	オフセットリトグラフ、紙	47.5 × 68.0	
4	ロイ・リキテンシュタイン	・・・えっ?	1976 (昭和 51)	シルクスクリーン、紙	100.5 × 71.0	
5	ロイ・リキテンシュタイン	スイート・ドリームス、ベイビー!	1965 (昭和 40)	シルクスクリーン、紙	90.4 × 64.5	
6	山本 容子	The Museum	1978 (昭和 53)	エッチング・アクアチント、紙	45.4 × 59.8	ブリッジ寄贈
7	山本 容子	Jokey, Juice, Journey	1977 (昭和 52)	エッチング・アクアチント、紙	45.2 × 59.7	ブリッジ寄贈
8	荒川 修作	意味のメカニズムから (A + B = C)	1972 (昭和 47)	シルクスクリーン、紙	83.6 × 60.0	
9	三島 喜美代	Copy 77-C	1977 (昭和 52)	陶	29.7 × 13.6 × 0.3	作者寄贈
10	三島 喜美代	Copy 78-A	1978 (昭和 53)	陶	17.7 × 24.0 × 0.3 / 30.0 × 21.7 × 0.3	作者寄贈
11	山田 光	数字のある窓	1983 (昭和 58)	陶	上部: 49.7 × 9.6 × 1.8 / 下部: 36.0 × 24.0 × 14.8	
12	ナウイン・ラワンチャイクン	Another Day in Sidney	2000 (平成 12)	ミクストメディア	48.0 × 91.0 × 40.0	田中恒子氏寄贈
13	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 1	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.0 × 89.0	
14	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 2	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.0 × 89.0	
15	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 3	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.0 × 89.0	
16	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 4	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.0 × 89.0	
17	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 5	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.1 × 89.1	
18	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 6	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.0 × 89.0	
19	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 7	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.0 × 89.0	
20	ロバート・ラウシェンバーク	Features from Currents 8	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.0 × 89.0	
21	サイモン・リンク	アート・コロニー 1986 年 10 月	1987 (昭和 62)	油彩、キャンバス	182.8 × 182.8 × 3.2	
22	野村 耕	コレクション B	1986 (昭和 61)	顔料・紙型、板	162.0 × 129.8	野村小雪氏寄贈
23	佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9 × 73.2	玉井一郎氏寄贈
24	浅野 弥衛	無題	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	72.5 × 90.8	
25	浅野 弥衛	無題	1981 (昭和 56)	油彩、キャンバス	72.8 × 91.0	
26	菊池 脩司	Writing-Lecture	1968 (昭和 43)	エッチング・アクアチント、紙	41.2 × 42.8	金子光晴氏寄贈
27	福岡 道雄	反という字	1990 (平成 2)	ブロンズ	13.0 × 49.2 × 64.5	
28	荒木 高子	顔麿の聖書	1983 (昭和 58)	シルクスクリーン、磁土	14.5 × 22.3 × 20.3	
29	北川 健次	Diary II	1973 (昭和 48)	銅版、紙	41.4 × 29.1	ブリッジ寄贈
30	清塚 紀子	私の記憶	1976 (昭和 51)	エッチング・アクアチント、鉛、紙	41.2 × 42.3	作者寄贈
31	大西 伸明	enpitu	2004 (平成 16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	0.8 × 16.5 × 0.8	田中恒子氏寄贈
32	山野 千里	ひそひそ話	2008 (平成 20)	陶	虎上老人: 3.0 × 3.0 × 1.5 / 若者: 3.5 × 4.0 × 3.0	田中恒子氏寄贈
33	安田 辰雄	絵日記 365 日	2009 (平成 21)	クレヨン・鉛筆、紙	各 25.6 × 18.2 (365 点組)	田中恒子氏寄贈
34	森口 宏一	動詞の習作・持つ	1975 (昭和 50)	ステンレススチール、アルミニウム	22.0 × 22.0 × 22.0	森口まどか氏寄贈
35	森口 宏一	動詞の習作・開く	1975 (昭和 50)	ステンレススチール、アルミニウム	2.0 × 30.0 × 42.0	森口まどか氏寄贈
36	森口 宏一	動詞の習作・差し出す	1975 (昭和 50)	ステンレススチール、アルミニウム	3.8 × 30.0 × 21.0	森口まどか氏寄贈
<b>Room 2 見る/見られる</b>						
37	バーバラ・クルーガー	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7 × 268.1 × 5.0	
38	泉 茂	目	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	60.5 × 72.5	
39	トーマス・ルフ	肖像 (P. フリース)	1987 (昭和 62)	写真	202.3 × 156.5	
40	トーマス・ルフ	肖像 (G. ベルツ)	1988 (昭和 63)	写真	201.2 × 156.0	
41	トーマス・ルフ	肖像 (J. ハウムガルトナー)	1989 (平成元)	写真	200.6 × 156.2	
42	高須 光治	自画像	1915 (大正 4)	油彩、板	45.4 × 37.3	
43	石垣 栄太郎	自画像	1917 (大正 6)	油彩、キャンバス	46.0 × 37.3	
44	寺中 美一	自画像	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	45.7 × 33.6	立石靖子氏寄贈
45	原 勝四郎	自画像	1950 (昭和 25) 以後	油彩、厚紙	27.5 × 21.4	玉井一郎氏寄贈
46	三栖 敏雄	自画像	1950 年代後半	油彩、キャンバス	41.3 × 32.2	三栖敏彦氏寄贈
47	保田 龍門	トルコ帽の自画像	1913-14 (大正 2-3)	油彩、キャンバス	45.6 × 38.6	
48	保田 龍門	父の像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	73.0 × 60.8	保田春彦氏寄贈
49	保田 春彦	父の像	1951 (昭和 26) / 2013 (平成 25) 铸造	ブロンズ	65.0 × 53.0 × 28.0	
50	保田 春彦	デッサン 5	1950 年代	コンテ、紙	35.3 × 24.9	青木治男氏寄贈
51	保田 春彦	デッサン 10	1950 年代	コンテ、紙	35.8 × 25.0	青木治男氏寄贈
52	保田 春彦	デッサン 17	制作年不詳	コンテ、紙	35.7 × 25.2	作者寄贈
53	保田 春彦	デッサン 18	1950 年代	コンテ、紙	35.4 × 25.8	作者寄贈
54	保田 春彦	デッサン 19	1950 年代	コンテ、紙	35.7 × 25.2	作者寄贈
55	保田 春彦	デッサン 20	制作年不詳	コンテ、紙	35.3 × 24.8	作者寄贈
56	保田 春彦	デッサン 21	制作年不詳	コンテ、紙	35.6 × 25.1	作者寄贈
57	保田 春彦	デッサン 27	制作年不詳	コンテ、紙	35.8 × 25.2	作者寄贈
58	保田 春彦	デッサン 33	1950 年代	コンテ、紙	35.7 × 25.2	青木治男氏寄贈
59	保田 春彦	デッサン 34	1950 年代	コンテ、紙	35.2 × 24.9	青木治男氏寄贈
60	保田 春彦	デッサン 38	1950 年代	コンテ、紙	35.3 × 24.8	作者寄贈
61	保田 春彦	デッサン 39	制作年不詳	コンテ、紙	35.4 × 24.9	作者寄贈
62	アルベルト・ジャコメッティ	三つの小立像	1959 (昭和 34)	エッチング、紙	15.9 × 11.0	個人蔵
63	アルベルト・ジャコメッティ	アトリエの中	1965 (昭和 40)	エッチング、紙	25.6 × 19.4	個人蔵
64	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳 (1910 年代)	油彩、キャンバス	79.5 × 140.7	個人蔵
65	中川 蘆月	美人	明治時代	顔料、紙	109.5 × 36.3	
66	粥川 伸二	樹下微酔図	大正時代	顔料、絹	127.5 × 40.9	
<b>Room 3 ともに見ること: あなた/だれか</b>						
67	君平	7.62MM 7 色入	2007 (平成 19)	葉菜、オイルパステル	7.5 × 21.0 × 21.0	田中恒子氏寄贈
68	原田 要	楯門の絵	2020 (令和 2)	顔料・アクリル絵具、パネル	145.0 × 142.0	田中恒子氏寄贈
69	下村 観山	三保虹	1923 (大正 12) 頃	顔料、絹	128.0 × 50.0	個人蔵
70	ピエール・アレシンスキー	プリズム	1988 (昭和 63)	エッチング・アクアチント、紙	179.8 × 89.2	
71	吹田 文明	虹は花の色を盗んで咲く	1968 (昭和 43)	木版、紙	60.2 × 73.0	作者寄贈
72	アンディ・ゴールズワージー	色にしたがって一列に並べたかえでの葉 / 大内山村 / 1987 年 11 月 14 日	1987 (昭和 62)	写真、テキスト	91.6 × 34.0 / 25.3 × 25.1	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
73	浜田 知明	初年兵哀歌 ぐにやぐにやとした太陽 がのぼる	1952 (昭和 27)	エッチング、紙	9.0 × 17.8	
74	浜田 知明	初年兵哀歌 銃架のかけ	1951 (昭和 26)	エッチング・アクアチント、紙	19.7 × 17.5	
75	浜田 知明	初年兵哀歌 歩哨	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	23.9 × 16.2	
76	浜田 知明	初年兵哀歌 風景一隅	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	18.6 × 24.1	
77	高井 貞二	北の兵士	1943 (昭和 18)	油彩、キャンバス	97.0 × 144.5	作者寄贈
78-84	太田 三郎	POST WAR 46-47 兵士の肖像	1994 (平成 6)	コピー、紙	28.5 × 15.2	田中恒子氏寄贈
78		1 堀山信太郎 (1921-1944) 1992 年 7 月 2 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
79		2 中山成雄 (1913-1940) 1992 年 9 月 3 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
80		3 兵藤春次郎 (1922-1946) 1992 年 9 月 10 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
81		4 村田弘道 (1918-1944) 1992 年 10 月 1 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
82		5 松山孝次 (1926-1945) 1993 年 4 月 1 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
83		6 片田彰吾 (1915-1944) 1993 年 4 月 8 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
84		7 片田四郎 (1917-1945) 1993 年 4 月 8 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
85	ホセイン・ヴァラマネシュ	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	白樺皮	51.0 × 40.5 × 9.5	田中恒子氏寄贈
86	ホセイン・ヴァラマネシュ	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	蓮の葉	51.0 × 40.5 × 9.5	田中恒子氏寄贈
87	ホセイン・ヴァラマネシュ	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	樺の皮	51.0 × 40.5 × 9.5	田中恒子氏寄贈
88	ホセイン・ヴァラマネシュ	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	百日紅の葉	51.0 × 40.5 × 9.5	田中恒子氏寄贈
89	ホセイン・ヴァラマネシュ	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	鉛	51.0 × 40.5 × 9.5	田中恒子氏寄贈
<b>Room 4 ディス／コミュニケーションの部屋</b>						
90	太郎 千恵蔵	Sleeping Alien I	2001 (平成 13)	ワックス、CD-R	11.0 × 12.0 × 12.0	田中恒子氏寄贈
91	太郎 千恵蔵	Sleeping Alien II	2001 (平成 13)	ワックス、CD-R	12.0 × 12.0 × 12.0	田中恒子氏寄贈
92	ピーター・フォーゲル	ピチカートとレガート	1994 (平成 6)	スピーカー、フォトセルほか	94.6 × 19.2 × 13.3	
93	村井 正誠	姉妹	1930 (昭和 5)	油彩、キャンバス	100.1 × 81.1	作者寄贈
94	ジム・ダイン	14 色の木版によるバスローブ	1982 (昭和 57)	木版、紙	166.7 × 90.3	
95	八木 一夫	奇偶	1973 (昭和 48)	黒陶	34.4 × 28.0 × 21.2	
96	林 秀行	あいさつ	1976 (昭和 51)	磁	41.0 × 11.5 × 19.0	
97-108	坂上 チユキ	セロクエル男爵とリボトリール夫人		鉛筆、紙		田中恒子氏寄贈
97		1 セロクエル男爵のポートレイト			16.5 × 11.0	
98		2 リボトリール夫人のポートレイト			12.3 × 16.4	
99		3 出合い			13.3 × 13.1	
100		4 出合い			16.0 × 11.0	
101		5 リボトリールの内緒話			9.5 × 14.8	
102		6 セロクエル男爵の内緒話			9.5 × 14.8	
103		7 つの男爵の想い			16.7 × 11.3	
104		8 ルピアール城でのパーティー			15.5 × 12.4	
105		9 ダンス			14.0 × 13.0	
106		10 リボトリール夫人の吉報 セロクエル男爵の悲しみ			11.0 × 17.6	
107		11 別れ			12.0 × 15.0	
108		12 追・セロクエル男爵のポートレイト			14.2 × 10.7	
109	黒木 重雄	PRESENTATION 5-2	1986 (昭和 61)	シルクスクリーン、紙	50.7 × 84.1	和歌山版画ビエン ナーレ実行委員会 寄贈
110	折元 立身	BREAD-MAN (TWO PERSON)	1992 (平成 4)	写真	63.0 × 44.5	田中恒子氏寄贈
111	折元 立身	OUR DINNER — SHOES	1997 (平成 9)	写真	46.5 × 56.5	田中恒子氏寄贈
112	ジェフ・ウォール	The Outburst エイズに対抗する写真 家と友人たちのポートフォリオ II から	1989 (平成元)	写真	45.9 × 61.5	
113	堀尾 貞治	あたりまえのこと	2014-17 (平成 26-29)	アクリル絵具、木	77.0 × 54.0 × 10.5	田中恒子氏寄贈
114	泉 茂	割れた円	1984 (昭和 59)	アクリル絵具、キャンバス	194.7 × 162.0	泉照子氏寄贈
115	船井 裕	TRAP	1968 (昭和 43)	リトグラフ、紙	59.8 × 48.1	
116	船井 裕	GINGER ALE 2	1968 (昭和 43)	リトグラフ、紙	47.9 × 59.9	
117	船井 裕	NEGATIVE BLANK I	1971 (昭和 46)	リトグラフ、紙	39.9 × 39.9	
118	船井 裕	ANALOGY	1971 (昭和 46)	リトグラフ、紙	45.8 × 45.9	
119	ジョセフ・アルバース	Formulation: Articulation PORTFOLIO II, FOLDER 1	1972 (昭和 47)	シルクスクリーン、紙	25.4 × 31.8 / 25.4 × 31.8	
120	ジョセフ・アルバース	Formulation: Articulation PORTFOLIO II, FOLDER 2	1972 (昭和 47)	シルクスクリーン、紙	15.7 × 22.1 / 22.2 × 15.7 / 15.5 × 22.1 / 22.1 × 15.1	
121	岡田 一郎	exchanged landscape #2 (fujitodai)	2015 (平成 27)	ラムダプリント、ガラス	57.3 × 75.6	個人蔵
122	岡田 一郎	exchanged landscape #2 (katsurazaka)	2013 (平成 25)	ラムダプリント、ガラス	57.3 × 75.6	個人蔵
123	森村 泰昌	だぶらかし 肖像 A	1988 (昭和 63)	写真	120.0 × 120.0	
124	森村 泰昌	だぶらかし 肖像 B	1988 (昭和 63)	写真	120.1 × 120.1	
125	森村 泰昌	だぶらかし 肖像 C	1988 (昭和 63)	写真	120.0 × 120.1	
126	森村 泰昌	だぶらかし 肖像 D	1988 (昭和 63)	写真	120.1 × 120.0	
<b>Room 5 協働の向こうがわ</b>						
127-140	前川 紘士、那須 大輔	D50 の時間	2011-21 (平成 23-令和 3)			個人蔵
127	前川 紘士	風景に同期する	2011 (平成 23)	映像 (5 分 16 秒)	サイズ可変	
128	前川 紘士	風景に同期する_台北	2012 (平成 24)	映像 2 チャンネル (6 分 53 秒 / 9 分 43 秒)	サイズ可変	
129	前川 紘士、那須 大輔	カラフルフォトフレーム	2011 (平成 23)	パステル・フェルトペン、紙	76.5 × 108.5	
130	前川 紘士、那須 大輔	カラフルフォトフレーム	2011 (平成 23)	パステル・フェルトペン、紙	76.5 × 108.5	
131	那須 大輔	ペンギン (父)	2011 (平成 23)	パステル・フェルトペン、紙	26.0 × 35.0	
132	前川 紘士、那須 大輔	ペンギン (父)	2011-17 (平成 23-29)	陶	24.0 × 21.5 × 21.5	
133	前川 紘士、那須 大輔	ペンギン (父)	2011-17 (平成 23-29)	陶	21.0 × 22.5 × 20.0	
134	前川 紘士、那須 大輔	カラフルフォトフレーム	2011-17 (平成 23-29)	陶	18.5 × 20.0 × 15.5	
135	前川 紘士、那須 大輔	カラフルフォトフレーム	2011-12 (平成 23-24)	ヒノキ棒、グルー	16.0 × 24.0 × 13.0	
136	那須 大輔	ぶどう	2011 (平成 23)	色画用紙、木工用接着材、マジック	37.0 × 40.0 × 5.5	
137	前川 紘士	ぶどうの思い出	2021 (令和 3)	色画用紙、木工用接着材、マジック	37.0 × 40.5 × 7.0	
138	前川 紘士	記録ファイル 2011-2012				
139	前川 紘士	記録ファイル 2011-2012 + α				
140	前川 紘士	記録ファイル 2017				



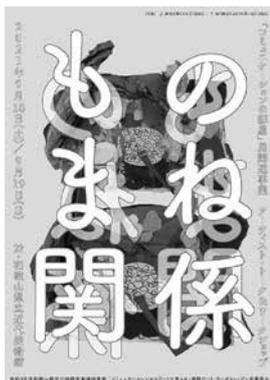
ポスター



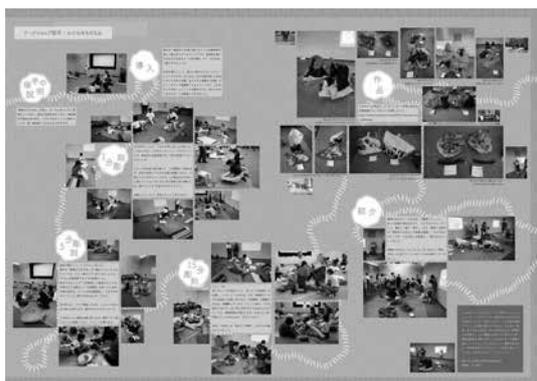
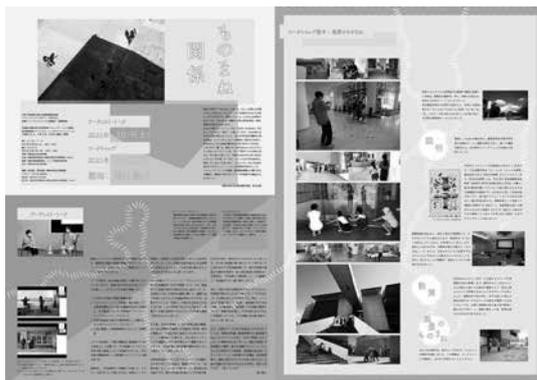
チラシ表/裏



会場風景



ワークショップチラシ



ワークショップ報告書 表/裏

## 2-4. 20世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ

- 会期 : 2022年2月5日(土)～3月27日(日) 44日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 3,559人
- 内容 : 美術作品は、同時代への提案であり、未来への「おみやげ」でもある。20世紀の美術を通して、私たちのいまを考えた。「おみやげ。①—変わる風景と暮らし」、「おみやげ。②—美術を学ぶしくみ。」、「おみやげ。③—海だって、越えられる。」、「おみやげ。④—日本らしさを発見。」、「おみやげ。⑤—空の上からの、眺め。」、「おみやげ。⑥—教養としての群像表現」、「おみやげ。⑦—多くのひとに、届け。」、「おみやげ。⑧—古い技法も、再発見。」、「おみやげ。⑨—多くの情報に対して。」、「おみやげ⑩—新しい材料と技法と。」、「おみやげ。⑪—たとえば、写真術と。」の11部で構成。
- 展示点数 : 42作家120点
- 担当学芸員 : 植野比佐見
- 関連事業 : ・スライドレクチャー 3月26日(土) 14:00～15:00 2階ホールにて 植野比佐見 32名  
\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定の2月26日(土)は中止  
・子ども美術館部「おみやげはもったりあげたり」 3月12日(土)、13日(日) 11:00～12:00 2階展示室にて 青木加苗 6名、7名  
\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定の2月12日(土)、13日(日)から延期して実施
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)  
・チラシ(A4判、オフセット印刷)  
・出品目録(A4判4頁)  
・プレスリリース(A4判3頁)
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 作品に反映された100年の歴史、新しい素材や新しい技術が表現にもたらした変化などのなかから、「11のおみやげ」としてコーナーごとに視点を提案した。また多彩な表情を持つようになった近代美術の魅力に来館者自身が鑑賞を通して気づけるよう、作品ごとに小さな解説を付した。新型コロナウイルス感染症の拡大のため、対話型のフロアレクチャーは控える必要があり、来館者と直接に話すことで、来館者自身の発見を喜んでもらえる機会がなかったこと、予定していた解説会などが中止となったことは残念だった。会期中には、予期したより多くの来館者があり、作品そのもののリアルな存在感にふれる場所が求められていることにあらためて気づかされた。ポスターなど印刷物のメインイメージとして取り上げた三島喜美代《パッケージ》に対する反響が大きく、従来からある印刷物の力はいまでも大きいことを知りえたことも収穫であった。
- 関連記事 : ・「美術作品に反映された100年の歴史… 20世紀からおみやげ。3/27まで」『和歌山特報』第1715号、2022年2月11日、12面  
・村越洋平「20世紀画家の「目」感じて 県立近代美術館 時代のうねり描く」『読売新聞』(和歌山版)2022年2月16日、32面  
・滝沢貴大「激動の20世紀 変遷映す120点」『朝日新聞』(和歌山版)2022年2月21日、21面(同日ウェブでも配信)  
・「和歌山県立近代美術館で「20世紀からおみやげ。」展」『和歌山経済新聞』2022年2月22日(ウェブ配信)  
・「20世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ 県立近代美術館 3月27日まで企画展」『紀伊民報』第23889号、2022年2月26日、6面(2月25日にウェブでも配信)  
・「20世紀の“おみやげ。” 27日まで近代美術館で企画展」『わかやま新報』2022年3月2日、3面  
・和歌山経済新聞編集部「くわかまち」20世紀の表現と対話を 県立近代美術館で企画展『和歌山経済新聞』(『毎日新聞』内に掲載)2022年3月6日、21面(2月22日のウェブの記事を再編して再掲)
- その他の : ・企画展「20世紀からの(ママ)おみやげ。」開催中 和歌山放送「サタデーニュース&スポーツ」、2022年2月12日放送  
メディア報道

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年2月1日

### 20世紀からおみやげ。 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年/発行時期	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
おみやげ。①—変わる風景と暮らし						
1	香山小鳥	風景	1911(明治44)	油彩、板	22.7×14.6	恩地邦郎氏寄贈
2	田中恭吉	ニコライ	1912(明治45/大正元)	油彩、板	22.0×15.5	恩地邦郎氏寄贈
3	田中恭吉	工場裏	1912(明治45/大正元)頃	油彩、板	23.5×33.0	恩地邦郎氏寄贈
4	織田一磨	『東京風景』洲崎之景	1916(大正5)	リトグラフ、紙	25.9×43.0	
5	織田一磨	『東京風景』駿河臺	1916(大正5)	リトグラフ、紙	39.4×28.9	
6	織田一磨	『東京風景』上野廣小路	1916(大正5)	リトグラフ、紙	40.3×28.5	
7	織田一磨	『東京風景』十二階	1916(大正5)	リトグラフ、紙	43.1×18.2	
8	織田一磨	『東京風景』本郷龍岡町	1917(大正6)	リトグラフ、紙	28.2×44.3	
9	織田一磨	『東京風景』日本橋	1916(大正5)	リトグラフ、紙	28.7×39.3	
10	谷中安規	花は花	1933(昭和8)	木版、紙	16.1×23.3	
11	谷中安規	うすむらさき	1933(昭和8)	木版、紙	14.6×22.2	
12	谷中安規	眼想氏	1933(昭和8)	木版、紙	17.2×23.4	
13	谷中安規	ロケーション	1933(昭和8)	木版、紙	14.1×19.0	
14	高井貞二	機械	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	52.9×45.5	作者寄贈
15	高井貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	作者寄贈
16	平塚運一	『東京震災跡風景』あさくさ	1925(大正14)	木版、紙	28.3×21.2	
17	平塚運一	『東京震災跡風景』ニコライ会堂	1923(大正12)	木版、紙	28.8×21.2	
18	平塚運一	『東京震災跡風景』州崎遊廓	1925(大正14)	木版、紙	21.0×28.7	
19	平塚運一	『東京震災跡風景』被服廠跡納骨堂	1925(大正14)	木版、紙	20.9×28.7	

No.	作者名	作品名	制作年/発行時期	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
20	平塚 運一	『東京震災跡風景』東橋	1925 (大正 14)	木版、紙	21.0 × 28.7	
21	平塚 運一	『東京震災跡風景』お茶の水	1925 (大正 14)	木版、紙	28.3 × 20.6	
22	平塚 運一	『東京震災跡風景』築地	1923 (大正 12)	木版、紙	21.9 × 30.0	
23	平塚 運一	『東京震災跡風景』国技館	1925 (大正 14)	木版、紙	21.2 × 28.8	
<b>おみやげ。② ー美術を学ぶしくみ。</b>						
24-37	[資料]					
24	浅井 忠	『新案 小学画手本』	1901 (明治 34) 年	冊子	14.0 × 20.2	個人蔵
25	浅井 忠	『中等教育 彩画初歩』	1896 (明治 29) 年	冊子	18.0 × 29.0	個人蔵
26	浅井 忠	『中学画手本』	1895 (明治 28) 年	冊子	18.0 × 26.0	個人蔵
27	白浜 徹	『高等小学 日本臨画帖』	1901 (明治 34) 年	冊子	17.0 × 24.5	個人蔵
28	橋本 雅邦	『小学毛筆画』	1903 (明治 36) 年	冊子	17.2 × 24.5	個人蔵
29	橋本 雅邦	『中学毛筆画帖』	1902 (明治 35) 年	冊子	18.0 × 25.4	個人蔵
30	大下 藤次郎	『水彩画之葉』	1901 (明治 34) 年	冊子	15.5 × 11.0	個人蔵
31	川端 龍子・鶴田 吾郎	『スケッチ速習録』 1-6	1915 (大正 4) 年	冊子	18.0 × 15.2	個人蔵
32	川端 昇太郎 (龍子)	『スケッチ倶楽部』	1915 (大正 4) 年 8 月	冊子	17.1 × 14.2	個人蔵
33	川端 昇太郎 (龍子)	『スケッチ倶楽部』	1915 (大正 4) 年 9 月	冊子	17.2 × 14.0	個人蔵
34	川端 昇太郎 (龍子)	『スケッチ倶楽部』	1915 (大正 4) 年 10 月	冊子	17.2 × 14.1	個人蔵
35	川端 昇太郎 (龍子)	『スケッチ倶楽部』	1915 (大正 4) 年 11 月	冊子	17.4 × 14.2	個人蔵
36	川端 昇太郎 (龍子)	『スケッチ倶楽部』	1915 (大正 4) 年 12 月	冊子	17.5 × 14.3	個人蔵
37	川端 昇太郎 (龍子)	『スケッチ倶楽部』	1916 (大正 5) 年 1 月	冊子	17.5 × 14.1	個人蔵
38	川端 龍子	奈良にて	1915 (大正 4)	木版、紙	29.5 × 20.9	
39	石垣 栄太郎	スケッチクラス	1950 (昭和 25)	油彩、キャンバス	56.4 × 71.8	石垣綾子氏寄贈
40	中村 不折	白頭翁	1907 (明治 40)	油彩、キャンバス	200.2 × 136.6	個人蔵
41	保田 龍門	自画像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	60.9 × 50.2	
42	保田 龍門	母の像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	73.0 × 60.9	保田春彦氏寄贈
<b>おみやげ。③ ー海だって、越えられる。</b>						
43	保田 龍門	アンドレ像	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	54.7 × 45.8	
44	保田 龍門	アンドレの首	1922 (大正 11)	ブロンズ	20.3 × 20.0 × 20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈
45	村井 正誠	アカデミア・ベル・アルチ	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	81.0 × 130.6	作者寄贈
46	木下 義謙	裸体習作 (二人の裸女)	1931 (昭和 6)	油彩、キャンバス	54.8 × 33.7	木下義謙氏寄贈
47	木下 義謙	アカデミー (男)	1930 (昭和 5)	油彩、キャンバス	46.0 × 38.4	作者寄贈
48	木下 義謙	婦人像	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	41.4 × 32.2	作者寄贈
49	木下 雅子	肘つく女	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	72.8 × 61.0	木下義謙氏寄贈
50	川口 軌外	模写 ティツィアーノ作 《キュービッド、犬、ウズラを伴うヴィーナス》	1920-23 (大正 9-12)	油彩、キャンバス	93.5 × 138.4	個人蔵
51	川口 軌外	模写 ティントレット作《スザンナの水浴》	1920-23 (大正 9-12)	油彩、キャンバス	97.0 × 145.9	個人蔵
52	浜地 清松	裸婦	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	144.0 × 110.5	
53	ヘンリー・杉本	カーメルハイランド海辺	1937 (昭和 12)	油彩、キャンバス	80.6 × 106.0	作者寄贈
54	清水 登之	ヨコハマ・ナイト	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	76.2 × 96.5	
55	石垣 栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	
56	石垣 栄太郎	ボーナス・マーチ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	145.4 × 107.0	石垣綾子氏寄贈
57	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画 (「奴隷解放」の部分)	1937-38 (昭和 12-13) 頃	油彩、キャンバス	112.0 × 109.0	
<b>おみやげ。④ ー日本らしさを発見。</b>						
58	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
59	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.3	個人蔵
60	川口 軌外	カフェにて	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	79.0 × 64.0	個人蔵
61	川口 軌外	車のある風景	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	73.5 × 116.7	川口京村氏寄贈
62	川口 軌外	老人	1927-29 (昭和 2-4)	油彩、キャンバス	114.4 × 73.0	川口京村氏寄贈
63	原 勝四郎	裸婦	1930 (昭和 5)	油彩、厚紙	72.0 × 60.5	原厚子氏寄贈
64	原 勝四郎	画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0 × 52.6	
65	村井 正誠	パンチュール No. 2	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	100.2 × 80.0	作者寄贈
66	村井 正誠	パンチュール No. 3	1929-33 (昭和 4-8)	油彩、キャンバス	113.5 × 194.5	作者寄贈
67	建畠 大夢	感に打たれた女	1932 (昭和 7) / 鑄造年不詳 (生前鑄造)	ブロンズ	155.0 × 40.0 × 44.0	
68	狩野 光雅	雨後	1936 (昭和 11)	顔料、絹	175.0 × 229.1	
69	裨田 一穂	昼の波止場	1942 (昭和 17)	顔料、紙	148.7 × 125.2	作者寄贈
<b>おみやげ。⑤ ー空の上からの、眺め。</b>						
70	恩地 孝四郎	詩画集『飛行官能』	1934 (昭和 9)	凸版、紙	26.7 × 19.7	個人蔵
71	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2 × 194.2	
72	村井 正誠	聚落	1941 (昭和 16)	油彩、キャンバス	80.5 × 233.0	作者寄贈
73	村井 正誠	パンチュール	1939 (昭和 14)	油彩、板	81.4 × 99.8	作者寄贈
<b>おみやげ。⑥ ー教養としての群像表現</b>						
74	保田 龍門	裸婦群像 (構図の研究)	1926 (昭和元)	油彩、キャンバス	130.2 × 194.2	保田淳子氏寄贈
75	保田 龍門	ティツィアーノ《キュービッドの教育》部分模写	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	99.3 × 99.3	橋本忠美氏寄贈
76	川口 軌外	裸婦群像	1925 (大正 14) 頃	油彩、キャンバス	88.2 × 94.1	川口京村氏寄贈
<b>おみやげ。⑦ ー多くのひとに、届け。</b>						
77	川口 軌外	夏の家	1940 (昭和 15)	油彩、キャンバス	165.7 × 267.0	川口京村氏寄贈
78	高井 貞二	支那の市場	1939 (昭和 14)	油彩、キャンバス	130.0 × 162.6	作者寄贈
79	高井 貞二	エミグラントの街	1940 (昭和 15)	油彩、キャンバス	129.4 × 158.7	作者寄贈
80	高井 貞二	北の国境	1943 (昭和 18)	油彩、キャンバス	160.2 × 127.4	作者寄贈
81	松本 竣介	三人	1943 (昭和 18)	油彩、キャンバス	162.2 × 112.5	個人蔵
82	ヘンリー・杉本	Longing (切望)	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	162.3 × 130.3	作者寄贈
83	ヘンリー・杉本	Strange Home	1969 (昭和 44)	油彩、キャンバス	162.3 × 130.8	作者寄贈
<b>おみやげ。⑧ ー古い技法も、再発見。</b>						
84	長谷川 潔	静物画、仮装したる狐 (フィンランド童話)	1965 (昭和 40)	メゾチント、紙	36.0 × 26.7	
85	長谷川 潔	飼い馴らされた小鳥 (西洋将棋など)	1962 (昭和 37)	メゾチント、紙	35.7 × 26.6	
86	長谷川 潔	小鳥と胡蝶	1961 (昭和 36)	メゾチント、紙	26.4 × 36.1	
87	長谷川 潔	時・静物画	1969 (昭和 44)	メゾチント、紙	26.5 × 35.8	
<b>おみやげ。⑨ ー多くの情報に対して。</b>						
88	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	14.0 × 35.0 × 27.0	
89	三島 喜美代	パッケージ	1975 (昭和 50)	シルクスクリーン、陶	49.0 × 22.0 × 17.0	作者寄贈
90	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶 ほか	26.0 × 36.5 × 27.0	
91	殿敷 侃	不明	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、 新聞紙	182.2 × 81.1	天野紋子氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年／発行時期	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
92	野村 耕	無題	1961 (昭和 36)	紙型・顔料、板	182.1 × 60.0	野村小雪氏寄贈
93	野村 耕	律	1964 (昭和 39)	紙型・カシュウ・油彩、板	151.5 × 90.7	
<b>おみやげ⑩ ー新しい材料と技術に。</b>						
94	船井 裕	[失題]	1962 (昭和 37)	アクリル板・麻布・コラージュ、キャンバス	94.3 × 76.1	船井淑子氏寄贈
95	松谷 武判	WORK-63-9	1963 (昭和 38)	ビニール接着剤・油彩・水彩、キャンバス	187.0 × 192.0	
96	元永 定正	作品	1964 (昭和 39)	アクリル絵具・小石、キャンバス	281.0 × 181.2	
97	保田 春彦	階段のある広場・TAORMINA	1973 (昭和 48)	ステンレススチール	11.0 × 75.0 × 75.0	
98	保田 春彦	階段のある広場・SIRACUSA	1973 (昭和 48)	ステンレススチール	9.1 × 75.0 × 75.0	
99	横尾 忠則	葬列 I	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、アクリル板	74.8 × 113.6 × 9.5	
100	横尾 忠則	葬列 II	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、アクリル板	74.7 × 114.0 × 9.5	
101	中西 夏之	コンパクト・オブジェ (卵)	1962 (昭和 37)	ポリエステル樹脂ほか	23.5 × 14.5 × 14.5	
102	田中 敦子	WORK '91G	1991 (平成 3)	塗料、キャンバス	200.0 × 200.0	
103	下村 良之介	鳥のほこら	1965 (昭和 40)	紙粘土・顔料、紙	182.5 × 170.0	
104	大野 俊嵩	Two Forms	1959 (昭和 34)	麻布・顔料・木屑、綿布	136.8 × 122.1	
105	名和 晃平	PixCell - Sheep	2002 (平成 14)	ミクストメディア	80.0 × 37.0 × 124.0	田中恒子氏寄贈
106	建島 覚造	星の樹 2	1961 (昭和 36)	ポリエステル、鉄	245.0 × 70.2 × 50.0	
<b>おみやげ⑪ ーたとえば、写真術と。</b>						
107	杉本 博司	カリブ海 ジャマイカ	1980 (昭和 55)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.1 × 54.6	
108	杉本 博司	日本海 北海道	1986 (昭和 61)	ゼラチン・シルバー・プリント	42.2 × 54.4	
109	嶋 剛	無題 F	1982 (昭和 57)	アクリル絵具、キャンバス	168.5 × 214.5	
110	上田 薫	スプーンのジャム B	1975 (昭和 50)	油彩、キャンバス	181.9 × 227.3	
111	森村 泰昌	肖像 (娘 II)	1988 (昭和 63)	写真	127.9 × 90.3	
112-136	太田 三郎	POST WAR 55 被爆樹	2000 (平成 12)	レーザープリント、紙	各 28.5 × 15.9	田中恒子氏寄贈
112	1	シダレヤナギ 広島市中区基町 5 (こども文化科学館東)	爆心地からの距離 0.45Km			
113	2	ユーカリノキ 広島市中区基町 21 (広島城内二の丸)	爆心地からの距離 0.74Km			
114	3	クスノキ 広島市中区基町 15 (中央公園自由広場)	爆心地からの距離 0.76Km			
115	4	クロガネモチ 広島市中区基町 21 (広島城内)	爆心地からの距離 0.91Km			
116	5	クスノキ 広島市中区基町 16 (市営基町第 1 アパート西)	爆心地からの距離 1.01Km			
117	6	ソメイヨシノ 広島市中区国泰寺町 1-6-34 (広島市役所)	爆心地からの距離 1.05Km			
118	7	クスノキ 広島市中区基町 20 (基町高層アパート)	爆心地からの距離 1.11Km			
119	8	エノキ 広島市中区基町 17 (広島第二陸軍病院跡)	爆心地からの距離 1.11Km			
120	9	イチヨウ 広島市中区寺町 3-3 (報専坊)	爆心地からの距離 1.13Km			
121	10	ソテツ 広島市中区寺町 1-19 (広島別院)	爆心地からの距離 1.15Km			
122	11	クスノキ 広島市西区天満町 (天満小学校東)	爆心地からの距離 1.16Km			
123	12	スズカケノキ 広島市西区天満町 1-27 (天満小学校)	爆心地からの距離 1.27Km			
124	13	アオギリ 広島市中区中島町 1 (平和記念公園)	爆心地からの距離 1.30Km			
125	14	エノキ 広島市中区上幟町 6-29 (幟町中学校)	爆心地からの距離 1.44Km			
126	15	クスノキ 広島市中区羽衣町 1-30 (万象園)	爆心地からの距離 1.55Km			
127	16	クスノキ 広島市中区東白鳥町 8-8 (禿翁寺)	爆心地からの距離 1.58Km			
128	17	イチヨウ 広島市中区東千田町 2-1-34 (千田小学校)	爆心地からの距離 1.64Km			
129	18	シダレヤナギ 広島市南区比治山本町 20 (鶴見橋東詰)	爆心地からの距離 1.70Km			
130	19	ナツミカン 広島市中区白鳥九軒町 23-2 (光明院)	爆心地からの距離 1.70Km			
131	20	イチヨウ 広島市東区二葉の里 2-6-25 (明星院)	爆心地からの距離 1.78Km			
132	21	クロガネモチ 広島市西区観音本町 2-1-26 (観音小学校)	爆心地からの距離 1.80Km			
133	22	クスノキ 広島市中区白鳥九軒町 12-20 (礎神社)	爆心地からの距離 1.80Km			
134	23	クロマツ 広島市東区二葉の里 2-5-11 (鶴羽根神社)	爆心地からの距離 1.81Km			
135	24	ソメイヨシノ 広島市南区比治山町 7-1 (山陽文徳殿)	爆心地からの距離 1.81Km			
136	25	シダレヤナギ 広島市中区千田町 3-7 (千田公園)	爆心地からの距離 2.03Km			



ポスター



チラシ表／裏



会場風景

### 3-1. コレクション展 2021ー春 特集 うちのなかから

- 会期 : 2021年4月24日(土)～7月4日(日) 62日間(休館日を除く)  
 会場 : 展示室A・B(1階)  
 主催 : 和歌山県立近代美術館  
 入場者数 : 4,528人  
 内容 : 当館の代表的な所蔵品を「日本近現代美術と和歌山」と題して紹介するとともに、2021年3月23日に逝去された日本画家・稗田一穂氏を追悼するコーナーを設けた。特集展示では「ステイホーム」が呼びかけられる中で、作家が日常へのまなざしを作品に反映させた表現を見直した。1.「近現代美術と和歌山」、2.「追悼・稗田一穂」、3.「特集・うちのなかから」の3部で構成。  
 展示点数 : 【コレクション展】48作家70点 \*展示室外を含む【特集 うちのなかから】23作家34点  
 担当学芸員 : 植野比佐見  
 関連事業 : なし  
 制作物 : ・出品目録(A4判8頁)  
 ・プレスリリース(A4判4頁)  
 ・英語版概要(A4判1頁)  
 入場料金 : 一般350(270円)、大学生240(180)円 ( )内は20名以上の団体料金。企画展・特別展観覧者は無料  
 自己評価・課題・改善案 : 特集展示については、意外なほど反響があった。ステイホームが求められるようになって一年が経ち、不自由ななかで、静かにうちにいるということも自分自身の内側、あるいは人間そのものを顧みる機会であり、創造的な行為ができる機会だと知らせてくれる働きもアートにはあることが展示で示されていることに共感する、とししばしば聞いた。静物画や家族の肖像など日常の光景や、屋根や壁、部屋、ドア、階段など、人間を守る「家」を思わせる表現などを集め、どちらかというとなかなか華やかな展示にはしなかったが、それでも「いま」求められることに寄り添った展示を行えば、展示室が美術作品と来館者との対話の場になれると気づく機会となった。  
 関連記事 : ・西岡矩毅「あかりー新 色や質感くつきり」『朝日新聞』(和歌山版)2021年4月27日、23面  
 ・「コレクション展 2021-春 故・稗田一穂氏コーナー 特集「うちのなかから」」『和歌山特報』第1688号、2021年5月1日、11面  
 ・豊嶋茉莉「紀南薫る幻想的日本画 稗田一穂さん追悼展示 県立近代美術館で5点」『読売新聞』(和歌山版)2021年5月30日、21面

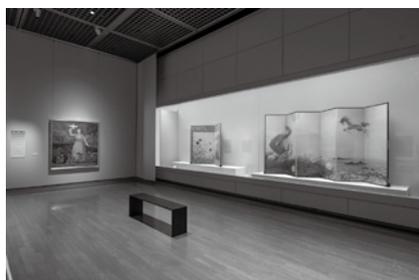
#### コレクション展 2021ー春/特集 うちのなかから 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
<b>近現代美術と和歌山</b>						
1	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
2	神中 糸子	妙義山	1918(大正7)	油彩、キャンバス	60.8×50.0	
3	神中 糸子	牡丹	1915-25(大正4-14)	油彩、キャンバス	50.4×61.0	森上安也氏寄贈
4	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
5	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
6	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵
7	保田 龍門	村の娘	1916(大正5)	油彩、キャンバス	82.4×66.9	保田淳子氏寄贈
8	浜地 清松	裸婦	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	144.0×110.5	
9	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
10	建島 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2) / 1970(昭和45) 鋳造	ブロンズ	68.0×40.0×56.0	
11	建島 大夢	感に打たれた女	1932(昭和7) / 鋳造年不詳(生前鋳造)	ブロンズ	155.0×40.0×44.0	
12	坂井 芳泉	明光浦雑賀祭の図	1929(昭和4)	顔料、紙	107.0×522.0	曾我春代氏、寺田隼人氏寄贈
13	吹田 草牧	紀南夏景	1935(昭和10)	顔料、紙	194.5×200.0	岡本貴子氏寄贈
14	玉置 照信	久地の梅	1930-31(昭和5-6)	顔料、絹	171.5×316.0	個人蔵
15	保田 龍門	四季(春夏秋冬)	制作年不詳(昭和初期頃)	油彩・水彩・色鉛筆、紙	177.5×374.0	木原達夫氏寄贈
16	亀井 玄兵衛	滝壺	1957(昭和32)	顔料、寒冷紗	180.8×105.0	作者寄贈
17	野長瀬 晩花	五月の庭	1956(昭和31)	顔料、紙	103.1×163.2	坂勘三氏寄贈
18	保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	173.5×67.0×43.0	
19	佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈
20	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	玉井一郎氏寄贈
21	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	玉井一郎氏寄贈
22	佐伯 祐三	オペセルヴァトゥール附近	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	玉井一郎氏寄贈
23	須田 国太郎	風景	1950(昭和25)頃	油彩、キャンバス	49.8×60.5	
24	原 勝四郎	画工像	1932(昭和7)	油彩、厚紙	65.0×52.6	
25	原 勝四郎	小湾	1940(昭和15)	油彩、厚紙	59.9×71.7	
26	保田 春彦	伝説	1957(昭和32)	木	99.5×36.5×39.2	
<b>&lt;追悼・稗田一穂&gt;</b>						
27	稗田 一穂	初夏の庭	1936(昭和11)	顔料、絹	103.2×168.0	作者寄贈
28	稗田 一穂	鳥	1949(昭和24)	顔料、紙	112.1×161.4	作者寄贈
29	稗田 一穂	そよ風	1951(昭和26)	顔料、紙	156.5×141.3	作者寄贈
30	稗田 一穂	月下	1974(昭和49)	顔料、紙	229.5×178.5	
31	稗田 一穂	顕現<III>(鳳凰と麒麟)	2012(平成24)	顔料、絹	172.5×364.5	作者寄贈
32	国吉 康雄	乳しぼり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	
33	石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
34	石垣 栄太郎	ボーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107.0	石垣綾子氏寄贈
35	石垣 栄太郎	キューバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5×139.0	石垣綾子氏寄贈
36	ヘンリー・杉本	寺院のみえるビーエー村	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	80.4×100.6	
37	イサム・ノグチ	考える議長	1978(昭和53)	御影石、木	131.8×46.8×26.4	
38	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
39	土谷 武	向かい風 IV	1981(昭和56)	鉄、木	156.5×106.5×83.0	
40	野田 裕示	WORK 877	1994(平成6)	アクリル絵具、キャンバス	184.1×234.6	
41	湯川 雅紀	福耳	2011(平成23)	油彩、キャンバス	182.0×259.0	
42	宇佐美 圭司	還元 No.6	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	135.0×184.8	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
43	泉 茂	FS2008	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	154.0 × 249.5	泉照子氏寄贈
44	泉 茂	DF1005	1965 (昭和 40)	油彩、キャンバス	161.5 × 130.5	
45	津高 和一	爆発	1954 (昭和 29)	油彩、キャンバス	131.0 × 163.0	
46	杉全 直	✓と題して	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	162.3 × 193.7	
47	菅井 汲	雷神	1958 (昭和 33)	油彩、キャンバス	162.6 × 130.7	
48	元永定正	作品	1964 (昭和 39)	アクリル絵具・小石、キャンバス	281.0 × 181.2	
49	白髪 一雄	平治元年十二月二十六日	1966 (昭和 41)	油彩、キャンバス	273.0 × 365.6	
50	榎倉 康二	FIGURE B-No.3	1983 (昭和 58)	アクリル塗料、綿布	172.0 × 353.3	
51	佐藤 時啓	光一呼吸シリーズより #330 Taiji	1998 (平成 10) / 2014 (平成 26) プリント	写真	130.0 × 163.0	
<b>特集 うちのなかから</b>						
52	山口 長男	連	1965 (昭和 40)	油彩、板	182.0 × 364.1	
53	建畠 覚造	ALARM	1972 (昭和 47)	ポリエステル、アクリル絵具 ほか	211.5 × 81.0 × 148.4	
54	建畠 覚造	PILED CUP 2 (大)	1996 (平成 8)	木、FRP、鉛	140.7 × 41.1 × 41.1	作者寄贈
55	アルマンド	Kopf 18-7-90	1990 (平成 2)	油彩、キャンバス	250.7 × 198.5	
56	ピーター・ヴォーコス	セラミック・スタック	1982 (昭和 57)	陶	109.4 × 55.2 × 54.3	
57	山田 光	塔	1964 (昭和 39)	陶	60.4 × 36.8 × 27.4	
58	山田 光	館	1964 (昭和 39)	陶	32.8 × 28.0 × 26.0	
59	浜地 清松	暖炉	1911 (明治 44)	油彩、キャンバス	102.2 × 82.1	古座町立津荷小学校寄贈
60	木下 孝則	猫	1926 (大正 15 / 昭和元)	油彩、キャンバス	50.2 × 59.0	
61	高井 貞二	想ひを	1935 (昭和 10)	油彩、キャンバス	112.5 × 145.8	作者寄贈
62	村井 正誠	母子像	1951 (昭和 26)	油彩、キャンバス	146.0 × 113.0	作者寄贈
63	麻生 三郎	生きている気配 2	1978 (昭和 53)	油彩、キャンバス	162.0 × 227.3	個人蔵
64	川口 軌外	水差しのある静物	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	80.0 × 65.7	川口京村氏寄贈
65	川口 軌外	窓辺の静物	1924-26 (大正 13- 昭和元)	油彩、キャンバス	80.4 × 65.4	川口京村氏寄贈
66	川口 軌外	静物	1927-29 (昭和 2-4)	油彩、キャンバス	73.4 × 60.4	川口京村氏寄贈
67	川口 軌外	花	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	116.8 × 90.8	川口京村氏寄贈
68	川口 軌外	貝殻	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	80.4 × 115.2	川口京村氏寄贈
69	浜地 清松	静物	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	64.1 × 73.1	浜地洋二郎氏寄贈
70	木下 義謙	静物	1931 (昭和 6)	油彩、キャンバス	73.0 × 91.6	作者寄贈
71	東郷 青児	静物	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	46.0 × 38.0	
72	佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	45.5 × 53.6	玉井一郎氏寄贈
73	鈴木 信太郎	静物	制作年不詳	油彩、キャンバス	39.8 × 54.4	篠田博之氏・篠田めぐみ氏寄贈
74	村井 正誠	ゴルフジュアンの朝	1924 (昭和 9)	油彩、キャンバス	145.3 × 112.1	作者寄贈
75	村井 正誠	アラブの窓	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	80.1 × 196.5	作者寄贈
76	ラウル・デュフィ	コンポティエのある静物	1940 (昭和 15) 頃	油彩、キャンバス	65.2 × 81.2	森林平氏寄贈
77	碓 伊之助	朝顔	1935 (昭和 10)	リトグラフ、紙	74.5 × 54.0	中畑紳人氏寄贈
78	碓 伊之助	台所	1935 (昭和 10)	リトグラフ、紙	73.8 × 53.7	中畑紳人氏寄贈
79	黒崎 彰	闇のコンポジション	1970 (昭和 45)	木版、紙	各 83.0 × 57.0 (6点組)	
80	藤田 修	Wednesday	1991 (平成 3)	フォトエッチング・エッチング・ アクアチント、紙	108.6 × 79.6	作者寄贈
81	藤田 修	Meeting	1991 (平成 3)	フォトエッチング・エッチング・ アクアチント、紙	79.6 × 108.4	作者寄贈
82	吉原 英里	秋のノート・収穫の記録	2004 (平成 16)	油彩・エッチング、紙、寒冷 紗、綿布	162.1 × 260.6	作者寄贈
83	川上 力三	遍路者	1988 (昭和 63)	陶	52.0 × 38.0 × 39.5	
84	大淵 純	G-110	1995 (平成 7)	ミクストメディア	220.0 × 386.0	中村昌弘氏寄贈
85	保田 春彦	屋根 二景	1980 (昭和 55)	鉄	24.5 × 55.3 × 54.8	
86	保田 春彦	屋根 二景	1980 (昭和 55)	鉄	13.0 × 58.0 × 55.0	
<b>展示室外の作品</b>						
87	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	匿名寄贈
88	井上 雅之	T-9216	1992 (平成 4)	陶	216.0 × 246.0 × 179.0	
89	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0	
90	バーバラ・クルーガー	無題(私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シルクスクリン、ビニール	378.7 × 268.1	
91	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
92	鈴木 久雄	塔体 I	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 52.0 × 54.0	作者寄贈
93	鈴木 久雄	塔体 III	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 54.0 × 54.0	作者寄贈
94	北堅 吉彦	山並 -senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	作者の厚意により保存
95	バリー・フアナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
96	鈴木 久雄	木の現象〈喬木 1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
97	鈴木 久雄	木の現象〈喬木 2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
98	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
99	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈
100	建畠 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
101	ケネス・スネルソン	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
102	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
103	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
104	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
105	イサム・ノグチ	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	

会場風景



## 3-2. コレクション展 2021ー夏 なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」

- 会期 : 2021年7月17日(土)～9月26日(日) 64日間(休館日を除く)
- 会場 : 【コレクション展 2021-夏】展示室B(1階)【なつやすみの美術館】展示室A・B(1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 助成 : 文化庁[Arts for the Future! (コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)]
- 入場者数 : 8,450人
- 内容 : だれもが気軽に美術館を訪れ、美術の楽しみ方を体験できる展覧会を目標に、コレクション展に併設する形で「なつやすみの美術館」展を開催した。今回は御坊市出身の画家、野田裕示氏の作品を、野田氏が直接出会った作家の作品と並べて展示し、作品の見方を提案した。またコレクション展では、和歌山ゆかりの作家たちの作品にマーク・ロスから現代の美術を交えて近代以降の美術の流れを紹介した。さらに、県の新政策「おでかけ美術館」へと展開させた(詳細は47頁)。
- 展示点数 : 【コレクション展】40作家42点 \*展示室外を含む / 【なつやすみの美術館】46作家215点
- 担当学芸員 : 奥村泰彦
- 関連事業 : ・フロアレクチャー 7月17日(土)、8月2日(月)、8月21日(土) 14:00～15:00 1階展示室にて 奥村泰彦 23名、16名、25名  
\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定の9月4日(土)、9月5日(日)は中止  
・こども美術館部「あれこれどれぞれ」9月4日(土)、9月5日(日) 11:00～12:00 1階展示室にて 青木加苗 各6名  
・コレクション展鑑賞映像(約12分) 制作:和歌山県立和歌山ろう学校 協力:和歌山県立近代美術館 \*会期中、リーディングコーナーにて上映  
・コレクション展作家解説パネル展示 制作:和歌山県立粉河学校 協力:和歌山県立近代美術館 \*会期中、リーディングコーナーにて展示
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)  
・チラシ(A4判、オフセット印刷)  
・コレクション展出品目録(A4判4頁)  
・なつやすみの美術館出品目録(A4判12頁)  
・プレスリリース(A4判4頁)  
・ワークシート(A4判4頁) \*制作:和歌山美術館教育研究会  
・展示記録集(A4判20.9×29.7cm、48頁)  
・360°ウォークスルービュープログラム(当館ウェブサイトにて公開)
- 『なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」展示記録集』:和歌山県立近代美術館 2021年12月31日発行
- ・山野英嗣 野田裕示「集まる庭」
  - ・奥村泰彦 painting work—野田裕示の作品について
  - ・野田裕示略歴
- 入場料金 : 一般350円(270円)、大学生240円(180円)( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 【コレクション展】近現代の作品を凝縮して展示するとともに、和歌山県立和歌山ろう学校と和歌山県立粉河高校の生徒による鑑賞の取り組みを紹介した。【なつやすみの美術館】南画廊での初個展から30年以上にわたって作家として活躍してきた野田裕示の歩みを収蔵作品と併置し、回顧展としての性格を持ちながら時系列に作品を辿らない配置を行い、作家の一貫した問題意識が異なる様相で現れる様を提示した。「紀の国わかやま総文 2021」において野田氏が講評を行ったことで、来場した高校生に作品によっても強い印象を残せたものと思われる。展示室空間は「文化庁ARTS for the future! 事業」により、3D撮影の上、360°ウォークスルービュープログラムを当館ホームページ上で公開することができた。
- 関連記事 : ・黒田真紀子「〈スクールアート風土記〉美術館との協働による新たな鑑賞教育のかたち」『教育美術』No.947、2021年5月1日、8頁  
・「なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」17日から県立近代美術館」『紀伊民報』第23699号、2021年7月10日、6面  
・「野田裕示「集まる庭」7月16日～」『和歌山特報』第1695号、2021年7月11日、3面  
・「絵画の在り方を追求 近代美術館 野田裕示さん(御坊出身)作品展」『わかやま新報』2021年8月4日、3面  
・「近代美術館野田さん作品展開催中」『日高新報』2021年8月6日、1面(8月5日にウェブでも配信)  
・加藤敦久「現代美術の本質に触れて 県立近代美術館「集まる庭」展 御坊出身野田さん 横尾忠則氏らと作品コラボ」『毎日新聞』(和歌山版)2021年8月9日、23面  
・「野田裕示さんの画業を振り返る 表面凹凸 作風楽し」『読売新聞』(和歌山版)2021年8月22日、28面  
・「手話で伝える絵画の世界 ろう学校生の動画 美術館で」『ニュース和歌山』2021年9月11日、4面

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年2月1日

コレクション展 2021-夏 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
1	神中 糸子	海岸風景	1888-92 (明治 21-25)	油彩、キャンバス	38.0 × 80.4	神中茂次氏寄贈
2	中村 不折	白頭翁	1907 (明治 40)	油彩、キャンバス	200.2 × 136.6	個人蔵
3	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	
4	建畠 大夢	おゆのつかれ	1913 (大正 2) / 1970 (昭和 45) 鑄造	ブロンズ	68.0 × 40.0 × 56.0	
5	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.0 × 33.3	恩地邦郎氏寄贈
6	田中 恭吉	ダリヤ	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、板	33.0 × 23.4	恩地邦郎氏寄贈
7	藤森 静雄	花	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	33.0 × 24.0	恩地邦郎氏寄贈
8	石垣 栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	
9	石垣 栄太郎	ボナス・マーチ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	145.4 × 107.0	石垣綾子氏寄贈
10	ヘンリー・杉本	カーメルハイランド海辺	1937 (昭和 12)	油彩、キャンバス	80.6 × 106.0	作者寄贈
11	浜地 清松	裸婦	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	144.0 × 110.5	
12	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正 3)	油彩、板	51.3 × 39.2	個人蔵
13	保田 龍門	自画像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	60.9 × 50.2	
14	原 勝四郎	画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0 × 52.6	
15	保田 龍門	[ヴィーナスのトルソ]	1930 (昭和 5) 頃	ブロンズ	40.4 × 16.3 × 11.5	
16	日高 昌克	遠山不盡	制作年不詳	墨・顔料、紙	33.2 × 40.8	池田壽一氏寄贈
17	川端 龍子	白浜・円月島	1958 (昭和 33)	墨・顔料、紙	48.5 × 72.0	川端紀美子氏寄贈
18	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
19	高井 貞二	煙	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	91.1 × 117.0	高井志づ氏寄贈
20	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2 × 194.2	
21	フィンセント・ファン・ゴッホ	馬鈴薯を食べる人々	1885 (明治 18)	石版、紙	26.5 × 31.9	個人蔵
22	モーリス・ユトリロ	ムーラン・ド・サノワのバル・レストラン	1912-13 (明治 45-大正 2)	油彩、ボード	37.5 × 54.8	個人蔵
23	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	38.0 × 45.5	個人蔵
24	アンドレ・ロート	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33.0 × 24.0	
25	フェルナン・レジェ	軽業師マリ	1948 (昭和 23)	石版、紙	55.2 × 42.9	
26	パブロ・ピカソ	泣く女	1937 (昭和 12)	銅版、紙	72.3 × 49.3	
27	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
28	ジョアン・ミロ	岩壁の軌跡 III	1967 (昭和 42)	銅版、紙	58.4 × 92.5	
29	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6 × 359.9 × 270.4	
30	稗田 一穂	夏去る	1980 (昭和 55)	顔料、紙	194.1 × 172.3	
31	吉田 政次	空間 No.13	1962 (昭和 37)	木版、紙	45.2 × 44.8	
32	浜口 陽三	西瓜	1981 (昭和 56)	銅版、紙	23.0 × 54.0	
33	湯川 雅紀	Untitled (Tears)	2002 (平成 14)	油彩、キャンバス	230.0 × 190.0	作者寄贈
34	坂井 淑恵	漏れた人	1997 (平成 9)	油彩、キャンバス	130.7 × 161.7	
35	小柳 裕	The Light with the Palm Leaves (Source of Light 14-3)	2014 (平成 26)	油彩・アクリル絵具、キャンバス、 パネル	162.4 × 132.2	
36	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996 (平成 8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	240.0 × 24.0 × 20.0	作者寄贈

なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」 出品目録

前期 7月11日～8月22日 / 後期 8月24日～9月26日 \*資料は寸法の代わりに点数を示した。 \*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考	前期/後期
1	奈良 美智	どんまいQちゃん	1993 (平成 5)	木、彩色	123.0 × 37.5 × 43.5	田中恒子氏寄贈	
2	野田 裕示	WORK 1679	2007 (平成 19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 97.0	個人蔵	
3	野田 裕示	WORK 1680	2007 (平成 19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 97.0	個人蔵	
4	野田 裕示	WORK 1678	2007 (平成 19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 97.0	個人蔵	
5	野田 裕示	WORK 1677	2007 (平成 19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 97.0	個人蔵	
6	ロジャー・アックリング	ウェイボーン	1993 (平成 5)	木、太陽光線	59.8 × 40.2 × 3.9		
7	ロジャー・アックリング	潮岬	1996 (平成 8)	木、太陽光線	12.0 × 7.8 × 4.0	作者寄贈	
8	ロジャー・アックリング	潮岬	1996 (平成 8)	木、太陽光線	34.2 × 3.6 × 1.1	作者寄贈	
9	ロジャー・アックリング	潮岬	1996 (平成 8)	木、太陽光線	29.2 × 17.6 × 1.0	作者寄贈	
10	野田 裕示	WORK 315	1987 (昭和 62)	アクリル絵具・木、キャンバス	72.7 × 60.6	個人蔵	
11	野田 裕示	WORK 314	1987 (昭和 62)	アクリル絵具・木、キャンバス	72.7 × 60.6	個人蔵	
12	ジャスパール・ジョーンズ	Jasper Johns Drawings 1970-80 ポスター	1981 (昭和 56)	インク、紙	77.0 × 57.0	個人蔵	
13	ジャスパール・ジョーンズ	旗	1960-69 (昭和 35-44)	鉛	48.2 × 53.4		
14-19	ジャスパール・ジョーンズ	第1のエッチング集	1967-68 (昭和 42-43)	エッチング・写真製版、紙			
14		1 懐中電灯			64.8 × 50.8		
15		2 電球			66.1 × 50.5		
16		3 ビール罐			65.0 × 50.3		
17		4 絵筆			64.5 × 50.5		
18		5 旗			65.8 × 50.5		
19		6 数字			66.2 × 51.0		
20	野田 裕示	WORK 186	1984 (昭和 59)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	121.0 × 285.0 × 10.0	個人蔵	
21	宮崎 豊治	身辺モデル—類似化—	1985 (昭和 60)	鉄、漆	120.0 × 225.0 × 103.0		
22	宮崎 豊治	身辺モデル—類似化—	1984 (昭和 59)	鉄、漆	84.0 × 60.0 × 46.5		
23	野田 裕示	WORK 639	1991 (平成 3)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	130.3 × 193.9	個人蔵	
24	榎倉 康二	FIGURE B-No.3	1983 (昭和 58)	アクリル絵具・綿布	172.0 × 353.3		
25	野田 裕示	WORK 291	1987 (昭和 62)	アクリル絵具・木、キャンバス	259.1 × 181.8	個人蔵	
26-31	李 禹煥	石版画集『点より・線より』	1977 (昭和 52)	リトグラフ、紙			
26		点より 1			40.2 × 54.2		
27		点より 2			40.4 × 54.1		
28		線より 3			40.1 × 54.0		
29		点より 3			40.0 × 53.8		
30		点より 4			39.8 × 53.9		
31		線より 2			40.4 × 53.8		
32	堀 浩哉	波光-4	1994 (平成 6)	アクリル絵具・墨・和紙、 キャンバス	91.0 × 65.2	田中恒子氏寄贈	
33	野田 裕示	WORK 561	1989 (平成元)	アクリル絵具、キャンバス	90.9 × 72.7	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考	前期/後期
34	河内 成幸	亀裂 (XII)	1986 (昭和 61)	木版、紙	91.3 × 162.5	和歌山版画ビエンナーレ実行委員会寄贈	
35	野田 裕示	WORK 472	1988 (昭和 63)	アクリル絵具・木、キャンバス	116.7 × 90.9	個人蔵	
36	横尾 忠則	TADANORI YOKOO	1965 (昭和 40)	シルクスクリーン、紙	100.4 × 71.5		
37	横尾 忠則	腰巻お仙	1966 (昭和 41)	シルクスクリーン、紙	102.7 × 72.0		
38	横尾 忠則	責場 (Torture)	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	90.9 × 67.7		
39	横尾 忠則	終りの美学	1966 (昭和 41)	シルクスクリーン、紙	100.4 × 72.1		
40	野田 裕示	WORK 2087	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	75.1 × 55.4	個人蔵	
41	野田 裕示	WORK 2080	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	75.1 × 55.4	個人蔵	
42	野田 裕示	WORK 2079	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	75.1 × 55.4	個人蔵	
43	野田 裕示	WORK 2095	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	75.1 × 55.4	個人蔵	
44	野田 裕示	WORK 2089	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	75.1 × 55.4	個人蔵	
45	野田 裕示	WORK 2103	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	75.1 × 55.4	個人蔵	
46	菅井 波	Soleil Vert [緑の太陽]	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	244.8 × 330.0		
47	野田 裕示	WORK 792	1993 (平成 5)	アクリル絵具・麻布、キャンバス	181.8 × 259.1	個人蔵	
48	野田 裕示	D-96-19	1996 (平成 8)	アクリル絵具、紙	76.5 × 56.0	個人蔵	
49	野田 裕示	D-96-32	1996 (平成 8)	アクリル絵具、紙	76.5 × 56.0	個人蔵	
50	野田 裕示	D-96-23	1996 (平成 8)	アクリル絵具、紙	76.5 × 56.0	個人蔵	
51	野田 裕示	D-96-41	1996 (平成 8)	アクリル絵具、紙	76.5 × 56.0	個人蔵	
52	サム・フランシス	白い線	1960 (昭和 35)	石版、紙	84.7 × 63.3		
53	サム・フランシス	ブルー	1960-61 (昭和 35-36)	不透明水彩、紙	41.2 × 30.6	個人蔵	
54	サム・フランシス	WARK	1964 (昭和 39)	不透明水彩、紙	33.5 × 24.4	個人蔵	
55	サム・フランシス	無題	1970 (昭和 45)	アクリル絵具、紙	110.0 × 79.6	個人蔵	
56	野田 裕示	WORK 1666	2006 (平成 18)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	227.3 × 162.1	個人蔵	
57	宇佐美 圭司	内側からそして外側から	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	116.5 × 80.6	個人蔵	
58	宇佐美 圭司	夜明けの3時に	1964 (昭和 39)	油彩、キャンバス	185.0 × 135.0	個人蔵	
59	イサム・ノグチ	考える議長	1978 (昭和 53)	御影石、木	132.0 × 46.8 × 30.0		
60-68	安齋 重男	Homage to ISAMU NOGUCHI	1992 (平成 4)	写真		笠原隆之助氏寄贈	
60		Small Torso, Core Piece, #1, #2, New York	May 1985		35.4 × 27.9		
61		Isamu's Hand, Venice Biennale	June 1986		27.8 × 35.5		
62		Isamu Noguchi, Last Portrait at his 84th Birthday Party, Mure	Nov. 17. 1988		35.5 × 27.8		
63		Isamu and Slide Mantra, Venice Biennale	June 1986		35.6 × 27.8		
64		Isamu's Grave, Mure	November 1991		35.6 × 25.9		
65		Isamu Noguchi, Venice Biennale	June 1986		27.8 × 35.5		
66		Isamu Noguchi at Venice	June 1986		35.5 × 27.8		
67		Isamu Noguchi, Yurakucho Art Forum, Tokyo	February 1985		27.8 × 35.5		
68		Slide Mantra and Henry Geldzahler, Venice Biennale	June 1986		35.4 × 27.8		
69	野田 裕示	WORK 640	1991 (平成 3)	アクリル絵具・麻布、キャンバス	227.3 × 145.4	個人蔵	
70	野田 裕示	WORK 1587	2004 (平成 16)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	181.8 × 259.1	個人蔵	
71-80	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙			
71		丸バスタ入りトマトビーフ			89.0 × 58.6		前
72		スコッチブロス (具だくさん肉入り)			89.0 × 58.6		前
73		牡蠣のシチュー (高級バター仕立て)			89.0 × 58.6		前
74		ゴールデン・マッシュルーム (スライスマッシュルームたっぷり)			89.0 × 58.6		前
75		チキンと蒸し団子			89.0 × 58.6		前
76		ホットドッグビーン (柔らか豆とフランクフルトスライス入り)			89.0 × 58.6		後
77		ニューイングランド風クラムチャウダー			89.0 × 58.6		後
78		アルファベットスープ (動物性食材不使用)			89.0 × 58.6		後
79		オールドファッション・ベジタブル (ビーフストック仕立て)			89.0 × 58.6		後
80		チェダーチーズ			89.0 × 58.6		後
81	野田 裕示	WORK 1608	2004 (平成 16)	アクリル絵具、キャンバス	116.7 × 72.7	個人蔵	
82	野田 裕示	WORK 1609	2004 (平成 16)	アクリル絵具、キャンバス	116.7 × 72.7	個人蔵	
83	野田 裕示	WORK 1610	2004 (平成 16)	アクリル絵具、キャンバス	116.7 × 72.7	個人蔵	
84	野田 裕示	WORK 1611	2004 (平成 16)	アクリル絵具、キャンバス	116.7 × 72.7	個人蔵	
85	野田 裕示	WORK 1612	2004 (平成 16)	アクリル絵具、キャンバス	116.7 × 72.7	個人蔵	
86	野田 裕示	WORK 1613	2004 (平成 16)	アクリル絵具、キャンバス	116.7 × 72.7	個人蔵	
87	土谷 武	蟬 I	1981 (昭和 56)	鉄	67.0 × 198.0 × 74.0		
88	土谷 武	平たい虫	1978 (昭和 53)	鉄	50.0 × 120.0 × 140.0		
89	中西 夏之	L R- 目のひびき-III	1988 (昭和 63)	油彩、キャンバス	194.0 × 146.3		
90	野田 裕示	WORK 1068	1997 (平成 9)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	227.3 × 162.1	個人蔵	
91	高松 次郎	遠近法のマラソン	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、紙	52.7 × 76.8		
92	高松 次郎	英語の単語	1970 (昭和 45)	オフセットリトグラフ、紙	78.7 × 54.4		
93	野田 裕示	WORK 1644	2005 (平成 17)	アクリル絵具・麻布、キャンバス	116.7 × 80.3	個人蔵	
94	瀧口 修造	土方巽舞踏展『あんま』愛慾を支える劇場の話 5 自在諺抄	1968 (昭和 43)	インク、紙	38.4 × 56.3		
95	瀧口 修造	無題	制作年不詳	インク (デカルコマニー)、紙	19.9 × 13.8		
96	野田 裕示	WORK 565	1989 (平成元)	アクリル絵具、キャンバス	65.2 × 53.0	個人蔵	
97	建畠 覚造	対話 (DIALOGUE)	2001 (平成 13)	木、化学粘土、ウレタン塗料	233.5 × 162.0 × 60.0	建畠嘉氏寄贈	
98	野田 裕示	WORK 1190	1999 (平成 11)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 112.1	個人蔵	
99	野田 裕示	WORK 1750	2010 (平成 22)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 112.1	個人蔵	
100	建畠 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0		
101	池田 龍雄	規格品	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	145.8 × 111.0		
102	野田 裕示	WORK 283	1986 (昭和 61)	アクリル絵具・木、キャンバス	162.1 × 112.1	個人蔵	
103	野田 裕示	WORK 1766	2011 (平成 23)	アクリル絵具・麻布・綿布、キャンバス	387.8 × 651.5	個人蔵	
104	野田 裕示	D-11-2	2011 (平成 23)	アクリル絵具、紙	65.5 × 102.0	個人蔵	
105	北山 善夫	船でもどうかね	1987 (昭和 62)	竹、紙、革	69.0 × 214.5 × 61.0		
106	野田 裕示	WORK 305	1987 (昭和 62)	アクリル絵具・木、キャンバス	90.9 × 65.2	個人蔵	
107	三木 富雄	耳	1965 (昭和 40)	頃	アルミニウム	70.0 × 42.5 × 12.5	所明義氏寄贈
108	三木 富雄	耳	制作年不詳	アルミニウム	23.0 × 26.5 × 6.0		
109	三木 富雄	耳	制作年不詳	アルミニウム	41.0 × 24.0 × 10.0		
110	三木 富雄	耳	1965 (昭和 40)	アルミニウム	45.7 × 27.3 × 9.7		
111	野田 裕示	WORK 556	1989 (平成元)	アクリル絵具、キャンバス	116.7 × 80.3	個人蔵	
112	中村 錦平	土瓶メタモルフォーゼ 1	1988 (昭和 63)	陶	14.0 × 33.0 × 15.0		

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考	前期/後期
113	中村 錦平	土瓶メタモルフォーゼ2	1988 (昭和 63)	陶	20.0 × 19.6 × 12.0		
114	中村 錦平	土瓶メタモルフォーゼ3	1988 (昭和 63)	陶	29.3 × 28.5 × 14.7		
115	野田 裕示	WORK 1055	1997 (平成 9)	アクリル絵具・麻布・綿布・木、 パネル	54.0 × 39.0	個人蔵	
116	野田 裕示	WORK 1054	1997 (平成 9)	アクリル絵具・麻布・綿布・陶板・ 木、パネル	39.0 × 54.0	個人蔵	
117	小泉 俊己	灌漑と近景 (a Irrigation) No.5	1995 (平成 7)	紙、石膏、樹脂、アルミ	11.5 × 10.5 × 11.5	田中恒子氏寄贈	
118	小泉 俊己	灌漑と近景 (a Irrigation) No.8	1995 (平成 7)	紙、石膏、樹脂、木、アルミ	20.5 × 11.0 × 12.5	田中恒子氏寄贈	
119	野田 裕示	WORK 776	1992 (平成 4)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7 × 60.6	個人蔵	
120	野田 裕示	WORK 777	1992 (平成 4)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7 × 60.6	個人蔵	
121	野田 裕示	WORK 778	1992 (平成 4)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7 × 60.6	個人蔵	
122	山口 長男	黒い線	1971 (昭和 46)	油彩、板	19.2 × 46.0	個人蔵	
123	野田 裕示	WORK 139	1982 (昭和 57)	アクリル絵具・綿布・木、パネル	74.5 × 61.0	個人蔵	
124	野田 裕示	WORK 138	1982 (昭和 57)	アクリル絵具・綿布・木、パネル	62.5 × 73.0	個人蔵	
125	野田 裕示	WORK 596	1990 (平成 2)	アクリル絵具、キャンバス	90.9 × 65.2	個人蔵	
126	野田 裕示	WORK 851	1994 (平成 6)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	90.9 × 66.2	個人蔵	
127	有本 弘	すべーす	1972 (昭和 47)	油彩、キャンバス	130.0 × 162.0	個人蔵	
128	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	26.0 × 36.5 × 27.0 / 13.5 × 23.0 × 22.0 / 9.5 × 12.5 × 14.5		
129	三島 喜美代	パッケージ	1975 (昭和 50)	シルクスクリーン、陶	17.0 × 49.0 × 22.0	作者寄贈	
130	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	14.0 × 35.0 × 27.0		
131	野田 裕示	WORK 2068	2016 (平成 28)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 112.1	個人蔵	
132	野田 裕示	WORK 2069	2016 (平成 28)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 112.1	個人蔵	
133	野田 裕示	WORK 2070	2016 (平成 28)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 112.1	個人蔵	
134	野田 裕示	WORK 484	1988 (昭和 63)	アクリル絵具、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
135	野田 裕示	WORK 744	1992 (平成 4)	アクリル絵具、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
136	野田 裕示	WORK 725	1992 (平成 4)	アクリル絵具、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
137	野田 裕示	WORK 734	1992 (平成 4)	アクリル絵具、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
138	柳澤 暁子	空を想う	2002 (平成 14)	廃材、グワッシュ、ジェツッ、 クレヨン、木炭	27.0 × 18.0 × 11.2	田中恒子氏寄贈	
139	柳澤 暁子	days	2002 (平成 14)	廃材、グワッシュ、ジェツッ、 クレヨン、木炭	22.5 × 15.5 × 10.2	田中恒子氏寄贈	
140	柳澤 暁子	安らかなリズム	1997 (平成 9)	アクリル絵具、木	37.0 × 26.0	個人蔵	
141	保田 春彦	聚落を囲う壁 エスキース I	1994 (平成 6)	ブロンズ、黒花崗岩	22.0 × 43.5 × 27.0	青木治男氏寄贈	
142	保田 春彦	進化の過程	2010 (平成 22)	木	55.0 × 180.0 × 45.0	個人蔵	
143	野田 裕示	WORK 2177	2019 (令和元)	アクリル絵具・木、ボード	93.3 × 93.3	個人蔵	
144	野田 裕示	WORK 2179	2019 (令和元)	アクリル絵具・木、ボード	93.3 × 93.3	個人蔵	
145	野田 裕示	WORK 2175	2019 (令和元)	アクリル絵具・木、ボード	93.3 × 93.3	個人蔵	
146	野田 裕示	WORK 2178	2019 (令和元)	アクリル絵具・木、ボード	93.3 × 93.3	個人蔵	
147	山田 正亮	Work Ep-780	1988 (昭和 63)	水彩・オイルパステル、紙	79.2 × 107.0		
148	山田 正亮	Work Ep-801	1988 (昭和 63)	水彩・オイルパステル、紙	79.1 × 107.3		
149	野田 裕示	WORK 1730	2009 (平成 21)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	90.9 × 65.2	個人蔵	
150	野田 裕示	WORK 1728	2009 (平成 21)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	90.9 × 65.2	個人蔵	
151	難波田 龍起	緑の空間	1960 (昭和 35)	油彩、キャンバス	91.4 × 117.2		
152	野田 裕示	WORK 2123	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	93.5 × 67.5	個人蔵	
153	野田 裕示	WORK 2117	2017 (平成 29)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	93.5 × 67.5	個人蔵	
154	中村 一美	示差性の絵画—赤と銀	1987 (昭和 62)	アクリル絵具、キャンバス	194.5 × 162.5		
155	野田 裕示	WORK 808	1993 (平成 5)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	182.0 × 130.3	個人蔵	
156	饅囀	レインボー北斎 ポジション A	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.3 × 134.3	個人蔵	
157	饅囀	Broken Heart	1968 (昭和 43)	シルクスクリーン、紙	53.0 × 51.5 × 3.2		
158	野田 裕示	WORK 1691	2008 (平成 20)	アクリル絵具、キャンバス	90.9 × 90.9	個人蔵	
159	野田 裕示	WORK 1687	2008 (平成 20)	アクリル絵具、キャンバス	90.9 × 90.9	個人蔵	
160	若林 奮	LIVRE OBJET V	1971 (昭和 46)	詩集、鉄、鉛ほか	24.8 × 30.8 × 10.7		
161	若林 奮	ミスキの一枝	1986 (昭和 61)	鉄ほか	27.8 × 22.5 × 1.9		
162	若林 奮	版画集『21・31-VALENCE』	1975 (昭和 50)	石版、紙	各 48.0 × 65.0 (10点組)		
163	野田 裕示	WORK 1104	1998 (平成 10)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1 × 112.1	個人蔵	
164	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	162.0 × 122.0		
165	野田 裕示	WORK 1413	2001 (平成 13)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	116.7 × 58.3	個人蔵	
166	岡本 敦生	Fossil-14-3	2014 (平成 26)	小松石	107.5 × 25.5 × 24.0	個人蔵	
167	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration 2000 O & N-4	2000 (平成 12)	木、白御影石、アクリル絵具ほか	26.5 × 30.0 × 59.0	個人蔵	
168	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration 2000 O & N-8	2000 (平成 12)	木、白御影石、アクリル絵具ほか	26.5 × 30.0 × 50.0	個人蔵	
169	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration 2000 O & N-9	2000 (平成 12)	木、白御影石、アクリル絵具ほか	26.5 × 30.0 × 50.0	個人蔵	
170	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration 2000 O & N-10	2000 (平成 12)	木、白御影石、アクリル絵具ほか	26.5 × 30.0 × 50.0	個人蔵	
171	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration 2000 O & N-11	2000 (平成 12)	木、白御影石、アクリル絵具ほか	26.5 × 30.0 × 50.0	個人蔵	
172	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration 2000 O & N-12	2000 (平成 12)	木、白御影石、アクリル絵具ほか	26.5 × 30.0 × 50.0	個人蔵	
173	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration 2004 O & N-3	2004 (平成 16)	白御影石、アクリル絵具	116.5 × 23.0 × 22.0	個人蔵	
174	野田 裕示	WORK 1045	1996 (平成 8)	アクリル絵具、キャンバス	90.9 × 65.2	個人蔵	
175	野田 裕示	WORK 1039	1996 (平成 8)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	90.9 × 65.2	個人蔵	
176	岡本 敦生	記憶体積	1990 (平成 2)	白御影石、紙	16.5 × 15.7 × 36.3	田中恒子氏寄贈	
177	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration O&N 2004-D-4	2004 (平成 16)	鉛筆・アクリル絵具、紙	76.5 × 57.0	個人蔵	
178	岡本 敦生、野田 裕示	Collaboration O&N 2004-D-1	2004 (平成 16)	鉛筆・アクリル絵具、紙	76.5 × 57.0	個人蔵	
179	野田 裕示	WORK 1150	1998 (平成 10)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	90.9 × 65.1	個人蔵	
180	木村 秀樹	Pencil 2-1	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	75.5 × 107.1	ブリッジ寄贈	
181	木村 秀樹	Pencil 2-2	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	75.5 × 107.1	ブリッジ寄贈	
182	野田 裕示	WORK 190	1984 (昭和 59)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	121.0 × 190.0	個人蔵	
183	加納 光於	《まなざし—疼く飛沫を連れ》九月	1989 (平成元)	油彩、キャンバス	194.0 × 130.2		
184	野田 裕示	WORK 600	1990 (平成 2)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	116.7 × 90.9	個人蔵	
185	杉本 博司	ハイエナ、ジャッカ、ハゲタカ	1976 (昭和 51)	写真	50.6 × 60.6		
186	杉本 博司	ダチョウ、イボイノシシ	1980 (昭和 55)	写真	50.7 × 60.8		
187	杉本 博司	オハイオ・シアター、オハイオ	1980 (昭和 55)	写真	50.5 × 60.6		
188	杉本 博司	カボット・ストリート・シネマ、マサ チューセッツ	1978 (昭和 53)	写真	50.6 × 60.7		
189	野田 裕示	WORK 868	1994 (平成 6)	アクリル絵具・麻布、キャンバス	165.2 × 90.9	個人蔵	
190	篠原 有司男	女の祭り	1969 (昭和 44)	石版、紙	73.1 × 150.7		
191	野田 裕示	WORK 806	1993 (平成 5)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7 × 90.9	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考	前期/後期
192	吉澤 美香	ぼ-52	1991 (平成 3)	水性クレヨン、紙	24.5 × 34.0	田中恒子氏寄贈	
193	吉澤 美香	[作品]	1990 (平成 2)	アクリル絵具、P タイル	30.0 × 30.0	個人蔵	
194	辰野 登恵子	WORK 87-P-26	1987 (昭和 62)	油彩、キャンバス	227.0 × 182.2		
195	野田 裕示	WORK 2130	2018 (平成 30)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	67.5 × 93.5	個人蔵	
196	野田 裕示	WORK 2136	2018 (平成 30)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	67.5 × 93.5	個人蔵	
197	野田 裕示	WORK 2140	2018 (平成 30)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	67.5 × 93.5	個人蔵	
198	野田 裕示	WORK 2139	2018 (平成 30)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	67.5 × 93.5	個人蔵	
199	開発 好明	ウインドーショッピングバック	1996 (平成 8)	布	80.0 × 6.5	田中恒子氏寄贈	
200	開発 好明	飛行木	1997 (平成 9)	鉄	24.0 × 12.5 × 2.5	田中恒子氏寄贈	
201	野田 裕示	WORK 2029	2015 (平成 27)	アクリル絵具・木、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
202	野田 裕示	WORK 2031	2015 (平成 27)	アクリル絵具・木、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
203	野田 裕示	WORK 2032	2015 (平成 27)	アクリル絵具・木、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
204	野田 裕示	WORK 2036	2015 (平成 27)	アクリル絵具・木、キャンバス	40.9 × 31.8	個人蔵	
<b>〈ケース 野田裕示氏おもいで作品〉</b>							
	井上 雅之	N-0020	2000 (平成 12)	アクリル絵具、陶	12.8 × 13.0 × 7.5	個人蔵	
	井上 雅之、野田 裕示	皿	制作年不詳	アクリル絵具、陶	15.7 × 15.7 × 1.5	個人蔵	
	井上 雅之、野田 裕示	皿	制作年不詳	アクリル絵具、陶	15.7 × 15.7 × 1.5	個人蔵	
	岡本 敦生	Volume of Lives since-2003	2003 (平成 15)	御影石	7.5 × 12.0 × 5.0	個人蔵	
	土谷 武	Untitled 1	1997 (平成 9)	コルテン銅	27.0 × 14.5 × 14.5	個人蔵	
	若林 奮	新100線 No. 39	1998 (平成 10)	鉄、石、鉛	3.0 × 10.5 × 10.5	個人蔵	
<b>〈ケース 野田裕示氏おもいで資料〉</b>							
		ジャスパー・ジョーンズのアトリエにて (ニュー・ヨーク)	1981 (昭和 56)	写真	2 枚	個人蔵	
		サム・フランシスから野田裕示あて メモ	1977 (昭和 52) 頃		2 枚	個人蔵	
	安齊 重男	サム・フランシスと野田裕示家族	1982 (昭和 57)	写真	1 枚	個人蔵	
	サム・フランシス	野田裕示と堂本尚郎	1975 (昭和 50) 頃	写真	1 枚	個人蔵	
		河内成幸からの年賀状			4 枚	個人蔵	
		加納光於からの年賀状			4 枚	個人蔵	
		個展 (ギャラリー東京ユマニテ) にて 加納光於と	2003 (平成 15)	写真	1 枚	個人蔵	
		山田正亮からの年賀状			3 枚	個人蔵	
		南画廊の初個展会場にて瀧口修造と	1977 (昭和 52)	写真	1 枚	個人蔵	
		初個展の芳名録 (瀧口修造のサインあり)	1977 (昭和 52)	冊子	1 冊	個人蔵	
		個展会場 (ギャラリー・ヤコブ) にて 中西夏之と	1980 (昭和 55)	写真	1 枚	個人蔵	
	安齊 重男	コラボレーション展会場にて岡本敦生と	2004 (平成 16)	写真	1 枚	個人蔵	
	安齊 重男	南画廊の初個展会場にて志水楠男と	1977 (昭和 52)	写真	1 枚	個人蔵	
	安齊 重男	和歌山県立近代美術館での新作展にて	1995 (平成 7)	写真	1 枚	個人蔵	
	安齊 重男	和歌山県立近代美術館での新作展にて建島寛造と	1995 (平成 7)	写真	1 枚	個人蔵	
		建島寛造個展カタログ (ギャラリー山口)	2003 (平成 15) 年	冊子	1 冊	個人蔵	
		建島寛造ドローイング	2003 (平成 15)	鉛筆、紙	1 枚	個人蔵	
		アンディ・ウォーホル展カタログ (大丸東京店)、ウォーホルから野田へのサイン	1974 (昭和 49) 年	冊子	1 冊	個人蔵	
		有本弘スケッチブック	1989 (平成元)	冊子	1 冊	個人蔵	
<b>〈展示ホール〉</b>							
	井上 雅之	T-9216	1992 (平成 4)	陶	216.0 × 246.0 × 179.0		
	野田 裕示	WORK 1667	2006 (平成 18)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	116.7 × 272.7	個人蔵	



ポスター



チラシ表/裏



展示記録集



会場風景

### 3-3. コレクション名品選

会期 : 2022年1月8日(土)～1月23日(日) 14日間(休館日を除く)  
 会場 : 展示室B(1階)  
 主催 : 和歌山県立近代美術館  
 入場者数 : 2,163人  
 内容 : 県展、ジュニア県展の会期に合わせて開催するため会場の規模が通常より1/3となるため、コレクションからよりすぐった作品を展示した。  
 展示点数 : 42作家62点 \*展示室外を含む  
 担当学芸員 : 奥村泰彦  
 関連事業 : なし \*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定の1月23日(日)のフロアレクチャーは中止  
 制作物 : ・ 出品目録(A4判4頁)  
 ・ プレスリリース(A4判2頁)

入場料金 : 無料

自己評価・改善案 : 昨年度からレイアウトを工夫して入場しやすい入口の構成としたことにより、従来は県展来場者のうち2割程度の入場であったが、今年度は3割以上の入場があり、より多くの来場者に鑑賞してもらうことができた。展示点数に限られるため、出品目録に作品画像を添付して記録性を高めた。ジュニア県展の会期にも当たるため、和歌山県立和歌山ろう学校の生徒による作品鑑賞の取り組みの映像をリーディング・コーナーにおいて紹介した。感染症の状況次第だが、会期中の鑑賞教育の充実に取り組みたい。

関連記事 : ・ 「コレクション名品選 8～23日、近代美術館で」『わかやま新報』2022年1月5日、3面  
 ・ 「川口軌外ら コレクション名品展(ママ) 1/23まで」『和歌山特報』第1712号、2022年1月11日、14面  
 ・ 「「コレクション名品選」近代から現代への美術紹介 23日まで県立近代美術館」『紀伊民報』2022年1月15日、6面(1月14日にウェブ配信)  
 ・ 「県立近代美術館 コレクションの名品選」『和歌山よらん新聞』2022年1月15日、1面

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日: 2023年2月1日

#### コレクション名品選 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1	保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	184.9×67.0×51.0	
2	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
3	川口 軌外	地維	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	155.5×195.5	
4	村井 正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
5	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
6	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
7	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
8	梅原 龍三郎	小川(フルターニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	個人蔵
9	恩地 孝四郎	海の女	1912(明治45/大正元)	油彩、キャンバス	45.0×33.3	恩地邦郎氏寄贈
10	田中 恭吉	ニコライ	1912(明治45/大正元)	油彩、板	22.0×15.5	恩地邦郎氏寄贈
11	建畠 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2)/ 1970(昭和45) 铸造	ブロンズ	68.0×40.0×56.0	
12	萬 鐵五郎	雪の景	1916-18(大正5-7)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.6	個人蔵
13	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
14	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
15	保田 龍門	自画像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
16	佐伯 祐三	自画像	1919(大正8)頃	インク、紙	29.3×19.0	玉井一郎氏寄贈
17	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	玉井一郎氏寄贈
18	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	玉井一郎氏寄贈
19	佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈
20	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	玉井一郎氏寄贈
21	佐伯 祐三	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、ボード	38.0×44.5	玉井一郎氏寄贈
22	高井 貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	作者寄贈
23	高井 貞二	煙	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	91.1×117.0	高井志づ氏寄贈
24	高井 貞二	想ひを	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	112.5×145.8	作者寄贈
25	木下 孝則	女傭の像	1926(大正15/昭和元)	油彩、キャンバス	91.2×72.9	
26	木下 義謙	静物	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	73.0×91.6	作者寄贈
27	松本 竣介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
28	保田 龍門	すさのおの命/大國主命とすせり姫	1942(昭和17)	木	44.5×71.0×17.0	辻井徹氏寄贈
29	裨田 一穂	群鶴	1978(昭和53)	顔料、紙	154.7×236.2	作者寄贈
30	浜地 清松	暖炉	1911(明治44)	油彩、キャンバス	102.2×82.1	古座町立津荷小学校寄贈
31	国吉 康雄	乳しぼり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	
32	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	
33	石垣 栄太郎	ボーン・ス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107.0	石垣綾子氏寄贈
34	ヘンリー・杉本	カーメル/ハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106.0	作者寄贈
35	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
36	チャック・クロス	フィル	1982(昭和57)	ペーパーパブリック	175.3×137.0	
37	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具 ほか	264.6×359.9×270.4	
38	トム・ウェッセルマン	シースケープ#8	1966(昭和41)	アクリル絵具、キャンバス	172.9×106.8	
39	デヴィッド・ホックニー	グレゴリーのイメージ	1984-85(昭和59-60)	石板・コラーージュ、紙	222.3×104.1	
40	岡本 信治郎	脱衣のイメージ/着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7	
41	泉 茂	DF1005	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	161.5×130.5	
42	菅井 汲	Maru	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	194.3×154.3	
43	建畠 覚造	CHIMNEY BOTTLES	1970(昭和45)	アルミニウム、ステンレス スチール	62.0×66.3×20.0	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
44	保田 春彦	格子と壁	1998 (平成 10)	ブロンズ	60.0 × 29.9 × 44.0 / 台座: 74.9 × 44.8 × 31.0	作者寄贈
45	保田 春彦	梯子と壁	1998 (平成 10)	ブロンズ	62.0 × 29.9 × 46.6 / 台座: 74.9 × 47.4 × 31.0	作者寄贈
<b>展示室外の作品</b>						
46	建畠 覚造	対話 (DIALOGUE)	2001 (平成 13)	木、化学粘土、ウレタン塗料	233.5 × 162.0 × 60.0	建畠嘉氏寄贈
47	建畠 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0 / 台座: 15.0 × 180.0 × 120.0	
48	宇佐美 圭司	遺作・制動 (ブレーキ)・大洪水	2012 (平成 24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0	個人蔵
49	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0 / 台座: 17.5 × 110.3 × 110.3	匿名寄贈
50	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0	
51	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
52	バリー・プラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
53	鈴木 久雄	木の現象〈喬木 1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
54	鈴木 久雄	木の現象〈喬木 2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
55	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
56	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈
57	建畠 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
58	ケネス・スネルソン	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
59	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
60	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
61	イサム・ノグチ	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
62	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈



会場風景

### 3-4. コレクション展 2022ー冬春 特集 若き日の野長瀬晩花

- 会期 : 2022年2月8日(火)～4月17日(日) 60日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室 A・B (1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 4,631人
- 内容 : 【コレクション展】海外の現代美術に加え、和歌山ゆかりの作家を中心に、明治から昭和戦後期までの日本の近現代作品を、戦前の具象表現から戦後の抽象表現へとゆるやかに展開するよう構成した。【特集 野長瀬晩花】和歌山県田辺市出身の日本画家・野長瀬晩花の習画期から青年期を中心に紹介し、所蔵作品に加えて、晩花の旧蔵資料から未公開の画稿類等を多数展示した。
- 展示点数 : 【コレクション展】51作家 71点 \*展示室外を含む【特集 野長瀬晩花】3作家 33点、資料 57点
- 担当学芸員 : 藤本真名美
- 関連事業 : ・フロアレクチャー 3月20日(日)、4月3日(日) 14:00～15:00 1階展示室にて 藤本真名美 8名、31名
- 制作物 : ・出品目録(A4判8頁)  
・プレスリリース(A4判2頁)
- 入場料金 : 一般 350(270円)、大学生 240(180)円( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 【特集 野長瀬晩花】当館へ寄贈されて以後、一部しか公開されていなかった画稿類を改めて確認し、習画期の資料を多めに出品して、初期の堅実な様子と高い画技を見てもらうことで、従来とは異なる晩花像を提示できるような努めた。新収蔵となった晩花の「都をどり」が注目されたのか、NHKの日曜美術館アートシーンでも本展が紹介された。当初は師の谷口香嶺の作品等、館外からの借用も検討していたが実現せず、晩花の旧蔵資料の整理も一部にとどまり、全容を公開する記録物なども未だ発行できていない。今後は助成金等を申請して展覧会内容の充実と研究成果の活字化に努めたい。
- 関連記事 : ・「特集 若き日の野長瀬晩花」『和歌山特報』第1715号、2022年2月11日、12面  
・「若き日の野長瀬晩花 近代美術館でコレクション展」『わかやま新報』2022年2月17日、6面  
・「コレクション展「若き日の野長瀬晩花」を開催しています」『和歌山だより』3月号、2022年3月、18頁  
・「コレクション展2022冬春 特集「若き日の野長瀬晩花」 4月17日まで県立近代美術館」『紀伊民報』2022年3月12日、6面(3月11日にウェブ配信)  
・「コレクション展2022-冬春 特集 若き日の野長瀬晩花」『わかやま探検ミュージアム』Vol.70(4・5月号)、2022年4月1日、4頁
- その他の : ・[「コレクション展2022-冬春 特集 若き日の野長瀬晩花」について] 和歌山放送「サタデーニュース&スポーツ」、2022年02月19日放送  
メディア報道 : ・#29増刊号「若き日の野長瀬晩花展の魅力」Podcast「本屋ブラブララジオ」、2022年2月23日公開  
・「県政最前線：芸術に触れ合おう！」テレビ和歌山「きのくに21」、2022年3月13日放送  
・「コレクション展2022-冬春 特集 若き日の野長瀬晩花」NHK Eテレ「日曜美術館アートシーン」、2022年3月27日放送  
・[「コレクション展2022-冬春 特集 若き日の野長瀬晩花」について] 和歌山放送ラジオ「新宮発☆ラジオ DE 元気!」、2022年3月31日生放送  
・[「コレクション展2022-冬春 特集 若き日の野長瀬晩花」について] NHK 和歌山放送局「ギョギョッと和歌山」、2022年4月1日、4月15日放送

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日：2023年2月1日

#### コレクション展 2022ー冬春/特集 若き日の野長瀬晩花 出品目録

\*特集の資料篇は、寸法の代わりに点数を示した。 \*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵/備考
<b>海外の現代美術</b>						
1	イサム・ノグチ	考える議長	1978(昭和53)	御影石、木	27.5×23.5×30.0/台座: 104.5×46.8×26.4	
2	イサム・ノグチ	黒いシルエット	1958(昭和33)	アルミニウム	241.0×73.0×60.0	
3	ジム・ダイン	ピカビア I(励まし)	1971(昭和46)	リトグラフ・コラージュ、紙	137.7×93.7	
4	ジム・ダイン	ピカビア II(忘却)	1971(昭和46)	リトグラフ・コラージュ、紙	137.0×92.5	
5	ジム・ダイン	ピカビア III(呻き)	1971(昭和46)	リトグラフ・コラージュ、紙	137.6×89.6	
6	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6×359.9×270.4	
7	アントニ・タビエス	三幅対	1988(昭和63)	エッチング、紙	199.2×297.2	
8	サイモン・リンク	アート・コロニー 1986年10月	1987(昭和62)	油彩、キャンバス	182.8×182.8	
9	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
10	ピエール・スーラージュ	lithograph37	1972(昭和47)	リトグラフ、紙	79.3×54.6	
11	アラン・グリーン	3つと4つ	1989(平成元)	油彩、キャンバス	155.6×160.6	
12	アラン・グリーン	深紅色にかこまれた白	1982(昭和57)	油彩、キャンバス	201.3×200.5	
<b>和歌山ゆかりの作家と近現代の美術 明治・大正・昭和</b>						
13	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
14	神中 糸子	牡丹	1915-25(大正4-14)	油彩、キャンバス	50.4×61.0	森上安也氏寄贈
15	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
16	松村 巽	静物	1917(大正6)	油彩、キャンバス	73.0×53.0	個人蔵
17	有島 生馬	樹下の裸婦	1913(大正2)	油彩、キャンバス	52.5×45.5	
18	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
19	岸田 劉生	男性肖像	1912(明治45)	油彩、キャンバスボード	32.9×23.6	
20	萬 鐵五郎	雪の景	1916-18(大正5-7)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.6	個人蔵
21	林 義明	農夫	1915(大正4)頃	油彩、キャンバス	53.3×41.0	林建樹氏寄贈
22	国枝 金三	島の四月	1917(大正6)	油彩、キャンバス	65.2×80.4	国枝ぬい氏寄贈
23	木下 孝則	猫	1926(大正15/昭和元)	油彩、キャンバス	50.2×59.0	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵/備考
24	建島 大夢	子供	1917(大正6) / 1994(平成6) 鑄造	ブロンズ	91.5 × 37.5 × 20.2	建島覚造氏寄贈
25	国吉 康雄	乳しぼり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.5	
26	石垣 栄太郎	キューバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5 × 139.0	石垣綾子氏寄贈
27	浜地 清松	赤い帽子	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	100.0 × 73.0	
28	ヘンリー・杉本	寺院のみえるビーエー村	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	80.4 × 100.6	
29	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	
30	佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922(大正11)	油彩、キャンバス	73.3 × 53.9	玉井一郎氏寄贈
31	佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923(大正12)	油彩、キャンバス	91.1 × 65.5	玉井一郎氏寄贈
32	佐伯 祐三	下落風景	1926(大正15/昭和元)頃	油彩、キャンバス	50.0 × 60.5	玉井一郎氏寄贈
33	佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9 × 73.2	玉井一郎氏寄贈
34	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0 × 73.1	玉井一郎氏寄贈
35	佐伯 祐三	オペルヴァトワール附近	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	73.2 × 91.8	玉井一郎氏寄贈
36	保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	184.9 × 67.0 × 51.0	
37	青山 熊治	雪の馬	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	201.2 × 362.5	個人蔵
38	保田 春彦	伝説	1957(昭和32)	木	99.5 × 36.5 × 39.2	
39	村井 正誠	形象 A	1939(昭和14)	油彩、板	89.4 × 145.8	作者寄贈
40	岡田 謙三	入江	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	189.0 × 155.5	
41	高井 貞二	故郷の風景	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	101.6 × 137.0	作者寄贈
42	岡 鹿之助	燈台	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	65.0 × 80.5	個人蔵
43	須田 国太郎	風景	1950(昭和25)頃	油彩、キャンバス	49.8 × 60.5	
44	須田 国太郎	土佐の港	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	45.3 × 53.0	個人蔵
45	坂本 繁二郎	能面のある静物	1955-60(昭和30-35)頃	油彩、キャンバス	31.8 × 41.4	個人蔵
46	泉 茂	目	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	60.5 × 72.5	
47	池田 満寿夫	骨を持つ人(C)	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	72.8 × 57.2	
48	吉原 英雄	たむむれ	1956(昭和31)	油彩、板	129.9 × 91.0	
49	津高 和一	アスタハキノウニナル	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	193.0 × 129.8	
50	川上 力三	座考シリーズ-空中楼閣-	1983(昭和58)	陶	60.0 × 50.0 × 57.5	
51	白髪 一雄	平治元年十二月二十六日	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	273.0 × 363.8	
52	杉全 直	きっこう	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	161.4 × 130.5	
53	前川 強	作品	1960(昭和35)	塗料、麻布、綿布	162.8 × 130.5	
54	森口 宏一	作品 B	1964(昭和39)	油彩・ラッカー・ポリエステル樹脂・アルミニウム板・ベニヤ板、キャンバス	180.7 × 104.3	

#### 特集 若き日の野長瀬晩花

55	野長瀬 晩花	十六羅漢図	1904(明治37)	顔料、紙	117.2 × 58.3	
56	野長瀬 晩花	被布着たる少女	1911(明治44)	顔料、絹	114.1 × 134.8	
57	野長瀬 晩花	[幼き日]	制作年不詳	顔料、紙	39.0 × 27.0	
58	野長瀬 晩花	猫と子ども	制作年不詳	顔料、紙	21.2 × 18.2	
59	野長瀬 晩花	オラフ・マリヤ(ゴーギャン模写)	1931(昭和6)頃	鉛筆・顔料、紙	27.6 × 20.0	
60	野長瀬 晩花	タヒテイ(ゴーギャン模写)	1931(昭和6)頃	鉛筆、紙	20.0 × 27.8	
61	野長瀬 晩花	果物籠をもてるタヒテイの女(ゴーギャン模写)	1931(昭和6)頃	鉛筆、紙	27.7 × 20.0	
62	野長瀬 晩花	風景	大正初期	顔料、絹	21.0 × 18.2	
63	野長瀬 晩花	風景	大正時代	顔料、紙	18.0 × 21.0	
64	野長瀬 晩花	四季の京の内 川鹿の音楽	1913(大正2)頃	顔料、紙	19.8 × 15.4	
65	野長瀬 晩花	[お馬鹿の道行]	1917(大正6)	墨、紙	21.5 × 27.9	
66	野長瀬 晩花	後姿	1913(大正2)頃	顔料、紙	40.2 × 28.0	
67	野長瀬 晩花	渡し場の夕	大正初期	顔料、紙	128.5 × 29.6	
68	野長瀬 晩花	初夏	1912(明治45)	顔料、絹	110.2 × 41.8	
69	野長瀬 晩花	舞妓図	1916(大正5)頃	顔料、紙	133.4 × 30.8	
70	野長瀬 晩花	大原女と舞妓	1916(大正5)頃	顔料、紙	137.2 × 33.8	
71	野長瀬 晩花	門づけ	1916(大正5)	顔料、紙	131.4 × 30.2	
72	野長瀬 晩花	[都をどり]	1917(大正6)頃	顔料、絹	148.7 × 139.6	
73	野長瀬 晩花	[三味線を弾く女]	1917(大正6)頃	顔料、絹	136.1 × 127.0	
74	野長瀬 晩花	桜の頃	1918(大正7)頃	顔料、絹	131.5 × 41.3	
75	野長瀬 晩花	さみだれのころ	1920(大正9)	顔料、絹	154.5 × 51.0	
76	野長瀬 晩花	和染	制作年不詳	顔料、絹	136.0 × 41.6	個人蔵
77	野長瀬 晩花	早春賦	1920(大正9)頃	顔料、絹	130.9 × 41.5	
78	野長瀬 晩花	夕陽に帰る漁夫 下絵	1920(大正9)	木炭・顔料、紙	169.4 × 360.5	野長瀬婉子氏寄贈
79	野長瀬 晩花	スペインの田舎の子供	1924(大正13)	顔料、寒冷紗	103.1 × 135.6	原浩吉郎氏寄贈
80	野長瀬 晩花	[裸婦素描]	1922(大正11)頃	鉛筆・顔料、紙	48.0 × 31.5	
81	野長瀬 晩花	[裸婦素描]	1922(大正11)頃	顔料、紙	31.7 × 48.0	
82	野長瀬 晩花	少年像	1922(大正11)	油彩、キャンバス	71.8 × 37.7	木崎みさを氏寄贈
83	野長瀬 晩花	夢ばかりみている男	1950(昭和25)	顔料、紙	48.3 × 36.2	
84	中川 蘆月	美人	明治時代	顔料、紙	109.5 × 36.3	
85	谷口 香嶺	義家婆懸以任図	大正初期	顔料、絹	120.5 × 41.0	個人蔵
86	谷口 香嶺	春江渡舟図	大正初期	顔料、絹	114.5 × 41.7	個人蔵
87	谷口 香嶺	高士之図	大正初期	顔料、紙	49.8 × 58.0	個人蔵

#### 特集 若き日の野長瀬晩花(資料篇)

88	作者不詳	[墨蘭図]	制作年不詳	墨、紙	1枚	
89	野長瀬 晩花[推定]	[墨蘭図]	制作年不詳	墨、紙	1枚	
90	作者不詳	[桜図]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
91	野長瀬 晩花[推定]	[桜図]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
92	作者不詳	[柿図]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
93	野長瀬 晩花[推定]	[柿図]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
94	作者不詳	[子の日遊図]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
95	野長瀬 晩花[推定]	[子の日遊図]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
96	野長瀬 晩花[推定]	[長澤蘆雪<朝顔図>模写]	制作年不詳	墨、紙	1枚	
97	野長瀬 晩花[推定]	[狗子図]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
98	野長瀬 蘆秋(晩花)	廣澤之池(中川蘆月模写)	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
99	野長瀬 蘆秋(晩花)	雪山山水之図	1906(明治39)	顔料、紙	1枚	
100	野長瀬 蘆秋(晩花)	秋之景色	1904(明治37)	顔料、紙	1枚	
101	野長瀬 晩花[推定]	[月ヶ瀬写生]	制作年不詳	顔料、紙	1枚	
102	野長瀬 晩花	わがふる郷	1908(明治41)	墨、紙	1枚	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵/備考
103	野長瀬 晩花 [推定]	[瓶花写生]	1905 (明治 38)	顔料、紙	1 枚	
104	野長瀬 蘆秋 (晩花)	[神功皇后・武内宿禰下図]	1906 (明治 39)	墨、紙	1 枚	
105	野長瀬 晩花 [推定]	[享保雛図]	制作年不詳	墨、紙	1 枚	
106	野長瀬 蘆秋 (晩花)	[写生 第九号]	1906 (明治 39)	冊子	1 冊	
107	野長瀬 晩花 [推定]	[縮図帖]	制作年不詳	冊子	1 冊	
108	野長瀬 晩花 [推定]	[花を持つ女]	制作年不詳	顔料、紙	1 枚	
109	野長瀬 晩花 [推定]	[蛇写生]	1909 (明治 42)	顔料、紙	1 枚	
110	野長瀬 晩花 [推定]	[谷口香嶠《子夜呉歌》模写]	制作年不詳	墨、紙	1 枚	
111	野長瀬 晩花 [推定]	[模写]	制作年不詳	墨、紙	1 枚	
112	野長瀬 晩花 [推定]	[竹内栖鳳《秋郊残月之図》模写]	制作年不詳	墨、紙	1 枚	
113	野長瀬 晩花 [推定]	羅馬废墟	制作年不詳	墨、紙	1 枚	
114	野長瀬 蘆秋 (晩花)	楓紅葉鸚鵡乃図	1906 (明治 39)	顔料、紙	1 枚	
115	野長瀬 晩花 [推定]	倭姫灌漑之図	制作年不詳	顔料、紙	1 枚	
116	野長瀬 弘男 (晩花)	[写生集 第壹号]	1904 (明治 37)	冊子	1 冊	
117	野長瀬 弘男 (晩花)	[写生集 第貳号]	1904 (明治 37)	冊子	1 冊	
118	野長瀬 蘆秋 (晩花)	[写生 第六号]	1906 (明治 39)	冊子	1 冊	
119	野長瀬 弘男 (晩花)	[古今詩集 第壹号]	1905 (明治 38)	冊子	1 冊	
120	野長瀬 晩花 [推定]	[裸体画]	制作年不詳	冊子	1 冊	
121	野長瀬 蘆秋 (晩花)	[縮図 第壹号]	1905 (明治 38)	冊子	1 冊	
122	野長瀬 晩花	[写生帖]	1910 (明治 43)	冊子	1 冊	
123	野長瀬 晩花	[写生練習帖]	1909 (明治 42)	冊子	1 冊	
124	野長瀬 晩花	[写生練習帖 第二号]	1909 (明治 42)	冊子	1 冊	
125		野長瀬晩花旧蔵 プロマイド・絵葉書		写真・印刷物	9 枚	
126		野長瀬晩花旧蔵 絵葉書アルバム		冊子	1 冊	
127		野長瀬晩花旧蔵 スクラップブック	1919-26 (大正 8- 昭和元)	冊子	1 冊	
128	野長瀬 晩花	[Le livre journal] [滞欧日記]	1921 (大正 10)	冊子	1 冊	
129	野長瀬 晩花	[その日その日] [滞欧日記]	1922 (大正 11)	冊子	1 冊	
130	野長瀬 晩花	[パリからスペインイギリスへ] [滞欧日記]	1922 (大正 11)	冊子	1 冊	
131		『画生活随筆』	1930 (昭和 5) 年 7 月 20 日 アトリエ社	書籍	1 冊	個人蔵
132		野長瀬晩花旧蔵 写真アルバム		冊子	1 冊	
133	野長瀬 晩花	[写生集]	制作年不詳	冊子	1 冊	
134	野長瀬 晩花、小川 芋銭ほか	[寄合書画帖]	1912 (明治 45)	画帖	1 冊	
135	櫻野 南陽、入江 波光、野長瀬 晩花ほか	[京都市立美術工芸学校・京都市立絵画専門学校同窓生画帖]	1912 (明治 45)	画帖	1 冊	
136		磯田九雲堂「ウチワ・オ、ギ絵展覧会」案内状	1915 (大正 4)	印刷物	1 枚	
137		『鳳梨』創刊号	1914 (大正 3) 年 11 月 10 日 佐々木文具店	冊子	1 冊	
138		『黙鐘』第 1 巻第 6 号	1915 (大正 4) 年 5 月 1 日 アート倶楽部	冊子	1 冊	
139		『黙鐘』第 1 巻第 7 号	1915 (大正 4) 年 6 月 1 日 アート倶楽部	冊子	1 冊	
140		『花』残欠か	発行時期不詳 緑紅花園 発行か	印刷物	1 枚	
141		野長瀬晩花旧蔵 絵葉書アルバム		冊子	1 冊	
142		野長瀬晩花旧蔵「さし画集」(スクラップブック)		冊子	1 冊	
143		『新演芸』第 2 巻第 9 号	1917 (大正 6) 年 9 月 1 日 玄文社	冊子	1 冊	個人蔵
144	野長瀬 晩花	[履歴書]	1936 (昭和 11)	墨、紙	3 枚	
145	野長瀬 晩花	[履歴書] [反故]	1936 (昭和 11)	墨、紙	1 枚	
<b>展示室外の作品</b>						
146	宇佐美 圭司	遺作・制動(プレーキ)・大洪水	2012 (平成 24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0	個人蔵
147	建島 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0	
148	建島 覚造	対話(DIALOGUE)	2001 (平成 13)	木、化学粘土、ウレタン塗料	233.5 × 162.0 × 60.0	建島嘉氏寄贈
149	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
150	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
151	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	匿名寄贈
152	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0	
153	バリー・プラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
154	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
155	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
156	イサム・ノグチ	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
157	ケネス・スネルソン	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
158	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
159	鈴木 久雄	木の現象<喬木 1>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
160	鈴木 久雄	木の現象<喬木 2>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	44.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
161	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
162	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈

会場風景



## 4-1. 芸術に親しもう！ おでかけ美術館 第3回 紀北地方 野田裕示展

- 会期 : 2021年10月1日(金)～10月24日(日) 21日間(休館日を除く)  
 主催 : 和歌山県立近代美術館  
 助成 : 文化庁[Arts for the Future! (コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)]  
 会場 : 橋本市教育文化会館(橋本市東家1丁目6-27)  
 入場者数 : 391人  
 内容 : 「芸術に親しもう！ おでかけ美術館」は、令和3(2021)年度に開催予定の「紀の国わかやま総文2021」「きのくに和歌山文化祭2021」に向けて気運向上を図り、美術館に来館することが困難な地域にある社会教育施設等を会場として、和歌山ゆかりの作家を起用した企画展を開催するものである。3回目となる今年度は「なつやすみの美術館11」展で紹介した野田裕示氏の作品を紀北地方で展示した。また美術館の活動内容についても周知する機会とし、特別展の紹介を積極的に行った。
- 展示点数 : 1作家22点  
 担当学芸員 : 奥村泰彦  
 関連事業 : なし \*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、近隣の学校からの来館等を計画したが全て中止  
 制作物 : ・ポスター兼チラシ(B3判、オフセット印刷)  
 ・出品目録(A4判2頁)  
 ・ワークシート(A4判4頁) \*なつやすみ展のワークシートを一部再編して構成
- 入場料金 : 無料  
 自己評価 : 紀北地方で展示に適した会場を見出すことができず、小規模ではあったが、35年を超える野田裕示の制作の歩みを凝縮して紹介し、現代の美術について端的に提示することができた。昨年に続いて感染症流行のため学校から団体での来場を促すことができず、目標とした人数の来館者を得ることはできなかったが、展示を通して美術への関心を高めることはできた。
- 関連記事 : ・「芸術に親しもう！ 10月1～24日 橋本市で「野田裕示展」 県立近代美術館の「おでかけ美術館」『紀伊民報』第23763号、2021年9月25日、6面(9月24日にウェブでも配信)

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年2月1日

### おでかけ美術館 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵
1	野田 裕示	WORK 806	1993(平成5)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7×90.9	個人蔵
2	野田 裕示	WORK 283	1986(昭和61)	アクリル絵具・木、キャンバス	162.1×112.1	個人蔵
3	野田 裕示	WORK 808	1993(平成5)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	182.0×130.3	個人蔵
4	野田 裕示	WORK 596	1990(平成2)	アクリル絵具、キャンバス	90.9×65.2	個人蔵
5	野田 裕示	WORK 851	1994(平成6)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	90.9×66.2	個人蔵
6	野田 裕示	WORK 1677	2007(平成19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×97.0	個人蔵
7	野田 裕示	WORK 1678	2007(平成19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×97.0	個人蔵
8	野田 裕示	WORK 1679	2007(平成19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×97.0	個人蔵
9	野田 裕示	WORK 1680	2007(平成19)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×97.0	個人蔵
10	野田 裕示	WORK 1730	2009(平成21)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	90.9×65.2	個人蔵
11	野田 裕示	WORK 776	1992(平成4)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7×60.6	個人蔵
12	野田 裕示	WORK 777	1992(平成4)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7×60.6	個人蔵
13	野田 裕示	WORK 778	1992(平成4)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	72.7×60.6	個人蔵
14	野田 裕示	WORK 1644	2005(平成17)	アクリル絵具・麻布、キャンバス	116.7×80.3	個人蔵
15	野田 裕示	WORK 1667	2006(平成18)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	116.7×272.7	個人蔵
16	野田 裕示	WORK 1190	1999(平成11)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×112.1	個人蔵
17	野田 裕示	WORK 2068	2016(平成28)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×112.1	個人蔵
18	野田 裕示	WORK 2069	2016(平成28)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×112.1	個人蔵
19	野田 裕示	WORK 2070	2016(平成28)	アクリル絵具・綿布、キャンバス	162.1×112.1	個人蔵
20	野田 裕示	WORK 2136	2018(平成30)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	67.5×93.5	個人蔵
21	野田 裕示	WORK 2130	2018(平成30)	アクリル絵具・麻布・木、パネル	67.5×93.5	個人蔵
22	野田 裕示	WORK 2179	2019(令和元)	アクリル絵具・木、ボード	93.3×93.3	個人蔵



ポスター兼チラシ表/裏



ワークシート

# 普及事業

展覧会にあわせてレクチャーを行うほか、学校との連携や団体鑑賞の受け入れに取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの行事を中止せざるを得なかった。

## 1 講演会、ワークショップなどの開催

- 各展覧会に関連した講演会やフロアレクチャーなどを開催した。(展覧会事業を参照)
- 「なつやすみの美術館 11」を課題に学校からの来館を促し、教員らとワークシートの制作に取り組んだ。(展覧会事業を参照)
- 「こども美術館部」の実施  
小学生を対象に、展示作品と関連したワークショップを行いながら作品を鑑賞する「こども美術館部」を6回(各回2日、同内容)開催した。感染対策のため参加人数に制限を設け、事前申込制とした。  
5月1日(土)、2日(日) (疎密考) 計11名参加  
7月3日(土)、4日(日) (もうひとつの世界) 計12名参加  
9月4日(土)、5日(日) (野田裕示「集まる庭」) 計12名参加  
10月2日(土)、3日(日) (コミュニケーションの部屋) 計12名参加  
12月4日(土)、5日(日) (和歌山の近現代美術の精華) 計12名参加  
2022年2月12日(土)、13日(日) (20世紀からおみやげ。) 計13名参加  
いずれも11:00～12:00
- 「だれでも美術館部」の実施  
対話を行いながら作品鑑賞を行う取り組みとして、手話通訳を依頼し「だれでも美術館部」を1回実施した。  
10月2日(土) 14:00～15:00 10名参加
- ゴールデンウィークの取り組み  
\*例年実施しているゴールデンウィーク中の講演会や鑑賞ワークショップ、バックヤードツアーなどのイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年に引き続き実施を見送った。

## 2 学校・団体鑑賞の受入

### 1 学校・団体鑑賞の受入

- 団体での来館数 2021年4月～2022年3月

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件数	のべ人数	件数	のべ人数
一般	7件	158名	0件	0名
教員	15件	288名	0件	0名
大学	10件	154名	2件	27名
高等学校	3件	97名	13件	227名
中学校	15件	664名	3件	211名
小学校	9件	354名	4件	182名
幼稚園	0件	0名	0件	0名
その他(専門学校など)	1件	38名	4件	53名
計	60件	1,753名	26件	700名
総計		86件		2,453名

### 2 学校・教員等と連携した事業

施設利用の浸透を図り、学校教育との連携を深め、団体での来館に際して事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行い、必要に応じて鑑賞用補助プリントを作成するなどの活動を行った。

- 和歌山美術館教育研究会

2011(平成23)年度より、学校教育との連携強化を目的とした研究会を

継続して開催している。2022(令和4)年度末までに94回の会合を開催。2013(平成25)年度から、夏季休暇中に開催する展覧会「なつやすみの美術館」のワークシートの作成を教員たちと協力して行っている。必要に応じてオンラインも利用して活動を行った。

開催記録:

86回:2021年4月3日(土)14名、87回:5月15日(土)15名(オンライン併用)、88回:5月29日(土)15名(オンライン併用)、89回:6月12日(土)15名(オンライン併用)、90回:6月26日(土)15名、91回:7月11日(土)9名、92回:9月11日(土)8名、93回:11月6日(土)23名、94回:12月5日(土)28名

- 和歌山大学教育学部・和歌山県教育委員会連携協議会連携事業  
同協議会の地域連携6事業のうちミュージアム活動としてボランティアを受け入れた。

受入人数:2名

活動:2021年7月4日(日) あいざつ・打合せ

- 和歌山市中学校教科等別研修会(美術科)の開催

当館での開催に協力し、意見交換等を行った。

2021年4月14日(水)26名参加、7月21日(水)18名参加

- 和歌山大学教育学部の学芸員資格取得に関する一部開設授業科目への協力

2021年9月29日(金)「和歌山大学博物館展示論講義」

講義を当館で実施 33名出席

2021年10月28日(木)「和歌山大学博物館資料論」

講義を担当 40名出席

2021年12月12日(日)「和歌山大学博物館資料保存論」

講義を当館で実施 28名出席

- 和歌山大学教育学部附属中学校美術科研究授業への協力

恒例となっている3年生のアートプロジェクト授業の立案に協力した。

実施期間:2022年2月15日(火)～2月22日(火)

場所:美術館エントランス広場(大底下)

- 『わかやま探検ミュージアム』(季刊・県内全小学校4～6年生に配布、和歌山県教育委員会 和歌山県 PTA 連合会発行)

隔号に展覧会紹介記事を掲載した。

- 放送大学面接授業の実施

2021年6月9日(水)、10日(木) 4名受講

### 3 博物館実習生・インターンシップ・教員研修などの受入

- 大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間:2021年8月12日(木)～15日(日)、17日(火)～18日(水)(計6日間)

受入校	受入人数
京都産業大学	1名
京都文教大学	1名
青山学院	1名
千葉大学	1名
奈良女子大学	1名
和歌山大学	5名
計6大学	10名

- 文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいる職場体験学習、インターンシップ等を受け入れた。

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた中学生の職場体験学習はすべて中止。

2021年4月～2022年3月

受入件数	校数	人数	日数	のべ人数
大学生	9校	10名	1日	10名
高校生	2校	2名	2日	4名
特別支援学校生	1校	1名	2日	2名
計	12校	13名	5日	16名

2021年8月19日(木) \*大雨警報発令のため午後は中止、20日(金)和歌山県教育庁インターンシップ

和歌山県立向陽高等学校 1名

和歌山県立和歌山東高等学校 1名

和歌山県立紀北支援学校 1名

8月26日(木) 和歌山県教育総務インターンシップ

大学生9校10名参加

### 3 機関誌「NEWS」の刊行

年4回、各2,500部を発行した。

- No.107 (2021年8月31日発行)  
井上芳子：新収蔵 大家利夫コレクション  
奥村一郎：浜地清松のこと ニューヨーク、パリ、東京、和歌山  
青木加苗：「こども美術館部」で遊ぶこと：5年間の活動をふりかえって  
植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑩虫のための『歳時記』  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook twitter ご案内、友の会案内
- No.108 (2021年9月30日発行)  
奥村泰彦：なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」  
奥村泰彦：3回目を迎える「芸術に親しもう！おでかけ美術館」  
稗田一穂「語り手」(藤本真名美編)：稗田一穂氏へのインタビュー  
植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑩試されるとき  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook twitter ご案内、友の会案内
- No.109 (2022年2月28日発行)  
青木加苗：あなたとわたしとだれかのために展覧会を考える コミュニケーションの部屋  
前川紘士：「D50の時間」美術の土壌  
奥村一郎：光とあそぶ 「リヤカメラ」と「かぶるカメラ」佐藤時啓さんワークショップ報告  
植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑩あらためて、感謝を。  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook twitter ご案内、友の会案内
- No.110 (2022年3月30日発行)  
宮本久宣：大下藤次郎の作品から コレクションの広がりつつながら  
奥村一郎：「和歌山の近現代美術の精華」展より  
奥村泰彦：美術館と学校との取り組み  
植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑩きっとみんな迷ってきたから  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook twitter ご案内、友の会案内



ニュース

## 4 広報および情報提供

### 1 メディア等への情報発信

- 県内外の新聞社、放送局、出版社等約380か所に事業案内を送付し(うち約150か所にメールによるプレスリリース)、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
- 展覧会や特別事業ごとに県庁記者クラブ、教育記者クラブにて資料提供を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
- カレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供することで、美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等の周知、利用促進を図った。
- 展覧会ごとに、ポスター、チラシ等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約3,000か所に配布した。
- JR和歌山駅前広告看板に、展覧会情報を掲載した。
- 県発行の広報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
- 電波、印刷、インターネット媒体の取材に協力し、展覧会等の紹介を行った。
- 和歌山市観光課海外向けホームページ my secret Wakayama に情報を提供した。  
(<https://www.mysecretwakayama.com/introduce/1939/>)
- 泉州・紀北ミュージアムネットワークを通じた広報活動を行った。
- 和歌山県職員に対し電子掲示板、庁内メール等で展覧会の案内をした。
- ミュージアムぐるっとパス・関西2021に加入。
- 美術館の認知度を高めるため、施設内におけるロケーション撮影等に協力した。

### 2 WEBによる広報

- ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- メールマガジンをhtml化し、画像を掲載して美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけた。(2021年4月22日発行の159号から2022年3月31日に発行の170号まで計12回発行。登録読者数html版617名、テキスト版37名、計654名、2022年6月17日現在)
- Facebook、Twitter、Instagram、Google My Businessを通じて情報を発信した。

### 3 広報印刷物の制作

- 2021年度展覧会カレンダー 6.1×10.5cm 巻き5ツ折(10頁)
- ポスター、チラシ等(各展覧会報告の項を参照)



展覧会カレンダー

### 4 県民への直接的な情報提供

作者や展覧会等についての問い合わせ8件に対応した。

## 5 県民や地域との連携

### 1 ボランティア活動の受け入れ

- ・ 図書資料の仕分け、データ入力、配架、資料整理を行った。  
受入人数：2021年4月～2022年3月 活動のべ75名
- ・ 和歌山大学教育学部との県教育委員会連携協議に基づくミュージアム・ボランティア  
登録人数：2名（48頁を参照）

### 2 友の会等の支援組織の活動への協力

#### (1) 和歌山県立近代美術館友の会

「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、楽しみながら美術作品に親しむ機会を設けた。

- ・ 会員の状況  
一般会員：124名、学生：1名、賛助会員：11名 特別会員：1名 計137名
- ・ 助成事業の実績  
会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことが出来るよう常設展及び企画展・特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。
- ・ 展覧会入場者のべ人数：116人  
「疎密考」29人、「野田裕示 集まる庭」38人、「和歌山の近現代美術の精華」25人、「20世紀からおみやげ。」22人、「コレクション展」2人
- ・ 図録購入：15冊
- ・ 主催事業 \*新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、例年実施する美術鑑賞ツアー等の事業は休止した。
- ・ 「疎密考」展コンサートへの協力  
「クラシック音楽と疎密」5月30日（日）（詳細21頁）
- ・ 版画プレゼント  
中路規夫氏・吉原英里氏制作の版画（8種類）の中から1点を選んでもらいプレゼントした。  
引換期間：2021年6月29日（火）～2022年3月31日（木）
- ・ 館広報誌、その他への情報提供  
美術館が発行する展覧会カレンダー、美術館ニュース、広報紙などを配布し、その他への情報提供をした。

#### (2) NPO 和歌山文化芸術支援協会（wacss）

- ・ 「森のちからXII」への協力  
期間：2021年11月20日（土）～12月10日（金）  
内容：古座川町と串本町で開催されたアーティスト・イン・レジデンス・プログラム「森のちからXII 森と響く（参加作家：大矢りか）」に協力した。
- ・ 和歌山県文化振興事業補助事業「コミュニケーションからアートを考える」体験アート・ワークショップと成果展示に協力した。（詳細28頁）
- ・ 体験アート・ワークショップ「光とあそぶ」に協力した。（詳細10頁）

### 3 地域と連携した事業

- ・ 第45回全国高等学校総合文化祭  
紀の国わかやま総文2021 美術・工芸部門  
2021年7月31日（土）～8月4日（水） 展示室C（2階）
- ・ 芸術に親しもう！ おでかけ美術館 第3回 野田裕示展（展覧会事業「おでかけ美術館」47頁に詳細）
- ・ 第75回和歌山県美術展覧会（県展）〈日本画・書・工芸・洋画・写真・彫塑〉  
2022年1月12日（水）～1月16日（日） 展示室A（1階）・展示室C（2階）  
入場料金：無料

\*当館では一般部門を展示する他、県民ギャラリー等において招待作家展を開催した。

第7回和歌山県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）

2022年1月19日（水）～1月23日（日） 展示室A（1階）

入場料金：無料

主催：和歌山県

共催：和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、毎日新聞社和歌山支局、一般財団法人 和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町

協賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団

- ・ WAKAYAMA COFFEE MARKET Communication over Coffee!

2021年10月2日（土）、3日（日）

主催：market Wakayama

- ・ わかやまミュージアムパレット2021

2021年10月24日（日） 約2000名参加

場所：アプローチプラザほか

主催：わかやまミュージアムパレット実行委員会

- ・ ミュージアム クリフ映画会

2021年7月23日（金） 約100名参加

会場：アプローチプラザ

主催：和歌山県BBS連盟

- ・ 関西文化の日

2021年11月13日（土）、14日（日）

関西一円の文化施設の取り組みにあわせ、全館の入場を無料とした。

- ・ 関西文化の日プラス

2022年1月8日（土）～23日（日）

全館の入場を無料とした。

\*以下は新型コロナウイルスの影響や雨天のため中止

- ・ 県警音楽隊たそがれコンサート 6月11日（金）、25日（金）、7月9日（金）、16日（金）、8月6日（金）

- ・ 公益財団法人 脇村奨学会主催「学芸員研究会」への学芸員派遣 8月12日（木）

- ・ 「名月に舞う」 10月2日（土）

### 4 県内博物館・図書館施設等と連携した事業

- ・ 県立5館が連携してスタンプラリーを実施した。

\*以下は新型コロナウイルスの影響のため中止

- ・ 和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議

- ・ 和歌山県立紀伊風土記の丘「風土記まつり」 11月14日（日）

### 5 観光資源として活用できる方策

- ・ 県と和歌山市が連携し、和歌山城周辺の街中に残る史跡等を紹介するとともに、周辺での回遊性を高めるため、「わかやままちなかミュージアムマップ」を作成した。

- ・ 観光ガイドなどへの広報を行い、展覧会のみならず訪問先として施設全体を紹介してもらうよう取り組んだ。

- ・ オリジナルスタンプによるスタンプラリーを実施し、通年のリピーター獲得に取り組んだ。

# 作品貸付

下記6件の展覧会に作品の貸付を行った。  
展覧会名、会期、貸出先、作家名《作品名》、制作年、所蔵註記の順に記載。

---

## 1. あやしい絵展 [前年度より]

2021年3月23日～5月16日 東京国立近代美術館  
2021年7月3日～8月15日 大阪歴史博物館  
田中恭吉《太陽と花(私輯『月映』II)》1913  
田中恭吉《焦心(私輯『月映』II)》1914  
田中恭吉《病児(私輯『月映』IV うつそみ)》1914  
田中恭吉《冬蟲夏草(公刊『月映』III)》1914  
田中恭吉《死人とあとに残れるもの》1914  
田中恭吉《綺はれゆく歡喜と悲愁》1915  
以上6点

---

## 2. 没後70年南薫造 [前年度より]

2021年4月20日～6月23日 広島県立美術館 \*5月11日～6月20日は休館  
2021年7月3日～8月29日 久留米市美術館  
南薫造《魚見(『美術新報』第11巻第3号所収)》1912  
南薫造《舟おろし》1910～13  
南薫造《[風景]》1910～13  
南薫造《浦の漁灯》1913  
以上4点

---

## 3. イサム・ノグチ 発見の道

2021年4月24日～8月29日 東京都美術館  
イサム・ノグチ《ブラック・シルエット》1958～59  
イサム・ノグチ《ヴォイド》1971  
以上2点

---

## 4. 自転車のある情景

2021年7月17日～9月5日 徳島県立近代美術館  
2021年9月17日～11月23日 八王子市夢美術館  
瑛九《自転車》1956  
瑛九《こわれた自転車》1956  
以上2点

---

## 5. 京都市京セラ美術館開館一周年記念展「コレクションとの対話：6つの部屋」

2021年10月9日～12月5日 京都市京セラ美術館  
アンドレ・ロート《ミルマンドの城壁》制作年不詳  
アンドレ・ロート《風景》制作年不詳  
黒田重太郎《ドルドオニユ山村の初秋》1923  
以上3点

---

## 6. Group Dynamics—Collectives of the Modernist Period

2021年10月19日～2022年6月12日 レンバツハハウス美術館(ミュンヘン)  
野長瀬晩花《街の四季》1916  
野長瀬晩花《島の女》1916頃  
野長瀬晩花《秋の頃》1917  
以上3点

# 調査・研究・発表活動および対外協力活動

## 山野英嗣

- ・「和歌山の近現代美術の精華」展（第1部）の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施
- ・「和歌山の近現代美術の精華」展（第2部）の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施
- ・講義（非常勤講師）：立命館大学大学院「博物館コミュニケーション論」（2021年春 semester / 立命館大学）
- ・執筆：「〈県立近代美術館 50周年 コレクションの名品⑨〉「不思議」誘う技法と構図（前田藤四郎《時計》）」『読売新聞』（和歌山版）2021年4月14日、28面
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」第4時限（2021年6月10日 / 和歌山県立近代美術館）
- ・講演：和歌山ロータリークラブ卓話「和歌山のモダニズム—写真家・島村逢紅を中心に」（2021年10月19日 / ダイワロイネットホテル和歌山）
- ・執筆：「和歌山の近現代美術の精華」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.6-15
- ・編集：「年表—和歌山県に関連した美術動向」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.264-275
- ・執筆：「和歌山のモダニズム—写真家・島村逢紅」『和歌山の近現代美術の精華 第2部 島村逢紅と日本の近代写真』展図録、2021年10月23日、pp.6-9
- ・講演：「〈講演会〉和歌山の近現代美術の精華」（2021年10月24日 / 和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑩〉異国風の女 優美に（野長瀬暁花《島の女》）」『読売新聞』（和歌山版）2021年11月23日、27面
- ・執筆：「野田裕示「集まる庭」」『なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」展示記録集』、2021年12月31日、pp.4-5
- ・地方独立行政法人大阪市博物館機構館長選考委員会に出席（2021年8月11日、10月14日、11月16日 / 大歴史博物館）
- ・紀の国トレイナート「デザイン列車プロジェクト2021」審査および表彰式に出席（2021年10月31日 / JR 紀伊田辺駅）
- ・高知県立美術館資料収集委員会に出席（2021年11月25日 / 高知県立美術館）
- ・第1回枚方市展（洋画・版画部門）審査、講評会に出席（2021年12月9日、12月19日 / 枚方市総合文化芸術センター）
- ・神戸市立小磯記念美術館協議会に出席（2021年12月15日 / 神戸市立小磯記念美術館）
- ・兵庫県立美術館作品収集会議に出席（2021年12月26日、2022年2月19日 / 兵庫県立美術館）
- ・徳島県立近代美術館資料収集委員会に出席（2022年1月17日 / 徳島県立近代美術館）
- ・愛媛県美術品等収集評価委員会に出席（2022年3月9日 / 愛媛県美術館）

所属学会：美学会、美術史学会

## 奥村泰彦

- ・「コレクション展 2021—夏 / なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」」の企画および展示記録集の編集、関連事業の実施
- ・「芸術に親しもう！おでかけ美術館 第3回 紀北地方 野田裕示展」の企画

- ・「和歌山の近現代美術の精華」展（第1部）の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施
- ・「コレクション名品選」の企画
- ・執筆：「和歌山県立近代美術館のボランティア活動について」『ミュゼV』87、兵庫県立美術館ボランティア事務局、2021年4月1日、p.3
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」（2021年6月10日第1時限、第4時限 / 和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「〈県立近代美術館 50周年 コレクションの名品⑩〉60年代象徴横尾の世界（横尾忠則《腰巻お仙》）」『読売新聞』（和歌山版）2021年8月25日、26面
- ・執筆：「なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.108、2021年9月30日、pp.1-2
- ・執筆：「3 回目を迎える「芸術に親しもう！おでかけ美術館」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.108、2021年9月30日、p.2
- ・執筆：「〈略歴・解説〉川口軌外—日本の洋画の独自性を求めて」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.204-207
- ・執筆：「〈略歴・解説〉吉田政次—静けさを求めて」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.224-227
- ・執筆：「〈略歴・解説〉松谷武判—禁欲と多義性」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.244-247
- ・執筆：「〈略歴・解説〉宇佐美圭司—世界と対峙する4つの人型」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.248-251
- ・執筆：「〈略歴・解説〉野田裕示—絵画への問い」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.252-255
- ・講演：「〈スライドレクチャー〉和歌山の近現代美術の精華「和歌山の近現代美術」現代美術」（2021年12月18日 / 和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「painting work—野田裕示の作品について」『なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」展示記録集』、2021年12月31日、pp.6-7
- ・執筆：「〈美術館建築の表裏 ぶらっとミュージアム！〉19 和歌山県立近代美術館 共生の思想をあらわす建築」『新美術新聞』2022年2月11日、2面
- ・執筆：「美術館と学校との取り組み」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.110、2022年3月30日、pp.6-7
- ・執筆：『陶芸の提案 2021 一問近に見る一』ギャラリー白、2021年4月12日、pp.2-3 \*ノンプルなし
- ・講演：「宇佐美圭司 よみがえる画家」展関連イベント「宇佐美圭司の再発見」（2021年5月8日 / 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館 \*オンライン開催）
- ・講演：「〈橋本市ふるさと再見市民講座〉」（2021年9月25日 / 橋本市立教育文化会館）
- ・談話：「「2つの時代の平面・絵画表現—泉茂と6名の現代作家展」関連イベント オンライントークショー「泉茂と現代の平面・絵画表現の接点を考察する」（上田良氏、加藤巧氏、杉山卓朗氏との対談）」（2021年10月18日 / Yoshimi Arts, the three konohana \*オンライン開催）
- ・講義：「和歌山大学博物館資料論」（2021年10月28日 / 和歌山大学）
- ・ナビゲーター：「〈第15回和歌山県福祉事業団 福祉セミナー〉 障害者の芸術文化活動の意味・意義～第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会を機に考える～（山下完和氏×小林瑞恵氏による対談）」（2021年11月20日 / 上富田文化会館 文化ホール）
- ・講義：「和歌山大学資料保存論講義」（2021年12月12日 / 和歌山大学）
- ・インタビュー：日本美術オール・ヒストリー・アーカイヴ「木村秀樹オー

ラル・ヒストリー 1 回目 2018 年 12 月 3 日 (山下晃平氏とともに木村秀樹氏へ聞き取り) (2022 年 2 月 5 日ウェブ公開/滋賀県大津市比叡平木村秀樹氏アトリエ)

[http://www.oralarthistory.org/archives/kimura\\_hideki/interview\\_01.php](http://www.oralarthistory.org/archives/kimura_hideki/interview_01.php)

- インタビュー：日本美術オーラル・ヒストリー・アーカイヴ「木村秀樹オーラル・ヒストリー 2 回目 2018 年 12 月 10 日 (山下晃平氏とともに木村秀樹氏へ聞き取り) (2022 年 2 月 5 日ウェブ公開/滋賀県大津市比叡平木村秀樹氏アトリエ)

[http://www.oralarthistory.org/archives/kimura\\_hideki/interview\\_02.php](http://www.oralarthistory.org/archives/kimura_hideki/interview_02.php)

- 「歯と口の健康ポスター」審査 (2021 年 8 月 23 日/和歌山県歯科医師会)
- 姫路市立美術館価格評価委員として出席 (2022 年 3 月 8 日/姫路市立美術館)
- 和歌山県文化表彰選考委員
- 紀の国わかやま文化祭 2021 企画委員
- 公益財団法人堀江オルゴール博物館理事
- 版画学会運営委員

所属学会：美学会、美術史学会、美学芸術学会、アートドキュメンテーション学会、版画学会

## 井上芳子

- 「和歌山の近現代美術の精華」展 (第 1 部) の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施
- 講義：放送大学 1 学期面接授業「美術館を知ろう」(2021 年 6 月 9 日第 1 時限、6 月 10 日第 4 時限/和歌山県立近代美術館)
- 執筆：「< 県立近代美術館 50 周年 コレクションの名品⑩> 「創作版画」誕生の瞬間 (香山小島《竹久夢二あて葉書》)」『読売新聞』(和歌山版) 2021 年 7 月 21 日、28 面
- 執筆：「新収蔵 大家利夫コレクション」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.107、2021 年 8 月 31 日、pp.1-2
- 執筆：「< 県立近代美術館 50 周年 コレクションの名品⑪> 押し寄せる海外思潮 (逸見享《幸福な海女の群》)」『読売新聞』(和歌山版) 2021 年 10 月 13 日、32 面
- 執筆：「< 略歴・解説> 保田龍門—普遍性の追求」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.170-173
- 執筆：「< 略歴・解説> 田中恭吉—のこるこころ」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.184-187
- 執筆：「< 略歴・解説> 恩地孝四郎—抒情と抽象」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.188-191
- 執筆：「< 略歴・解説> 逸見享—仙人掌のある風景」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.192-195
- 執筆：「< 略歴・解説> 山名文夫—ペンとインクと唐草文様」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.228-231
- 執筆：「< 略歴・解説> 保田春彦—閉ざされた祠、進化の過程」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.240-243
- 執筆：「< 略歴・解説> 黒川紀章—メタボリズムから共生へ 和歌山県立近代美術館・博物館の事例」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.260-263
- 講演：「< スライドレクチャー> 和歌山の近現代美術の精華「和歌山の近現代美術」版画、デザイン」(2021 年 12 月 11 日/和歌山県立近代美術館)

- 第 65 回鳥取県美術展覧会 (版画部門) 審査 (2021 年 9 月 8 日/鳥取県立博物館)

- 令和 3 年度田辺市立美術館協議会に出席 (2021 年 11 月 1 日/田辺市立美術館)

所属学会：竹久夢二学会

## 植野比佐見

- 「コレクション展 2021—春/特集 うちのなかから」の企画
- 「和歌山の近現代美術の精華」展 (第 1 部) の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施
- 「20 世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ」の企画および関連事業の実施
- 執筆：「2020 年美連協大賞「優秀カタログ賞」美連協展部門/もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作 2020」『美連協ニュース』150、2021 年 5 月、p.10
- 執筆：「< 県立近代美術館 50 周年 コレクションの名品⑫> 色を感じる 黒の世界 (裕伊之助《朝顔》)」『読売新聞』(和歌山版) 2021 年 5 月 12 日、24 面
- 執筆：「< 県立近代美術館 50 周年 コレクションの名品⑬> 際立つ作家の意思 (村井正誠《風》)」『読売新聞』(和歌山版) 2021 年 6 月 9 日、26 面
- 講演：退職女性校長会うめのみ会「わかやまのたからもの」(2021 年 7 月 18 日/和歌山県立近代美術館)
- 執筆：「< 「保存」の話をしよう。⑭> 虫のための『歳時記』」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.107、2021 年 8 月 31 日、p.7
- 執筆：「< 「保存」の話をしよう。⑮> 試されるとき」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.108、2021 年 9 月 30 日、p.7
- 執筆：「< 略歴・解説> 西村伊作とその周辺—与謝野寛・晶子と伊作」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.176-179
- 執筆：「< 略歴・解説> 村井正誠—「URBAIN」のなかから」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.216-219
- 執筆：「< 略歴・解説> 浜口陽三—光を刻むメゾチント」『和歌山の近現代美術の精華 第 1 部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021 年 10 月 23 日、pp.220-223
- 執筆：「< 県立近代美術館 50 周年 コレクションの名品⑯> 線の追求 かなえた銅板 (泉茂《深夜のセロ弾き》)」『読売新聞』(和歌山版) 2021 年 10 月 27 日、28 面
- 執筆：「< 展覧会紹介> 「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020」展」『大正イマジリィ』16、2021 年 11 月 30 日、pp.138-142
- 講演：「< スライドレクチャー> 和歌山の近現代美術の精華「和歌山の近現代美術」洋画」(2021 年 12 月 4 日/和歌山県立近代美術館)
- 執筆：「< 県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑰> 煙に浮かぶ 青年の夢 (高井貞二《煙》)」『読売新聞』(和歌山版) 2022 年 1 月 19 日、29 面
- 執筆：「< 県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑱> はかなさ 危うい予感に (三島喜美代《パッケージ》)」『読売新聞』(和歌山版) 2022 年 2 月 9 日、24 面
- 執筆：「< 「保存」の話をしよう。⑲> あらためて、感謝を。」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.109、2022 年 2 月 28 日、p.7
- 執筆：「< 県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑳> 荒々しいまでに素朴 (原勝四郎《画工像》)」『読売新聞』(和歌山版) 2022 年 3 月 16 日、32 面
- 講演：「< スライドレクチャー> 20 世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ」(2022 年 3 月 26 日/和歌山県立近代美術館)
- 執筆：「< 「保存」の話をしよう。㉑> きっとみんな迷ってきたから」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.110、2022 年 3 月 30 日、p.7

- ・第75回堺市展(立体造形部門) 審査(2021年10月31日/堺市立文化館ギャラリー)

所属学会：保存修復学会、明治美術学会

## 奥村一郎

- ・「和歌山の近現代美術の精華」展(第1部)の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施
- ・「和歌山の近現代美術の精華」展(第2部)の企画統括および図録の執筆・編集統括、関連事業の実施
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」(2021年6月9日第4時限、6月10日第4時限/和歌山県立近代美術館)
- ・執筆：「浜地清松のこと—ニューヨーク、パリ、東京、和歌山」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.107、2021年8月31日、pp.3-5
- ・執筆：「〈略歴・解説〉南紀美術会—和歌山と東京、郷土ゆかりの美術家たちを結ぶ」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.174-175
- ・執筆：「〈略歴・解説〉石垣栄太郎とメキシコ壁画運動—ホイットニー美術館での展覧会から」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.212-215
- ・執筆：「〈略歴・解説〉鈴木理策の言葉から—熊野と写真をめぐって」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.256-259
- ・執筆：「島村逢紅と日本の近代写真—展覧会開催にあたって」『和歌山の近現代美術の精華 第2部 島村逢紅と日本の近代写真』展図録、2021年10月23日、pp.11-15
- ・編集：「島村逢紅関連年譜」『和歌山の近現代美術の精華 第2部 島村逢紅と日本の近代写真』展図録、2021年10月23日、pp.178-188
- ・執筆：「作家解説」『和歌山の近現代美術の精華 第2部 島村逢紅と日本の近代写真』展図録、2021年10月23日、pp.189-191
- ・執筆：「和歌山の近現代美術の魅力をつんだに—初公開の作品も」『新美術新聞』2021年11月21日、2面
- ・講演：「〈スライドレクチャー〉和歌山の近現代美術の精華「和歌山の近現代美術」写真」(2021年11月27日/和歌山県立近代美術館)
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの楽しみ②③〉写真として見せる彫刻(島村逢紅「荻原守衛「女」(新宿・礒山館にて)」)『読売新聞』(和歌山版)2022年12月15日、28面
- ・執筆：「光とあそぶ「リヤカメラ」と「かぶるカメラ」 佐藤時啓さんワークショップ報告」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.109、2022年2月28日、pp.6-7
- ・執筆：「和歌山の近現代美術の精華」展より 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで 第2部 島村逢紅と日本の近代写真」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.110、2022年3月30日、p.5
- ・鼎談：「〈公益財団法人福武教育文化振興財団設立35周年記念委託事業 国吉康雄記念研究寄付講座2015-2021 活動報告と映像・音声作品発表会 第三部 報告「研究活動の拡張」〉わが国における国吉康雄研究の第一人者、小澤律子を囲む(小澤律子氏、才土真司氏との鼎談)」(2021年12月11日/岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール)
- ・対談：「〈川田知志「彼方からの手紙」トークイベント〉(川田知志氏との対談)」(2022年2月26日/アートコートギャラリー\*奥村はオンラインで参加)
- ・マイグレーション研究会10月例会に出席(2021年10月2日/オンライン開催)
- ・全国美術館会議第12回地域美術研究部会合に出席(2021年10月27日/オンライン開催)
- ・滋賀県立美術作品価格評価委員会に出席(2022年3月8日/滋賀県立美術館)

- ・美術史学会東西合同シンポジウム「美術史が生まれる現場から」に出席(2022年3月12日/オンライン開催)

- ・「戦前の渡米芸術家たちの研究—西海岸を中心に」令和3年度美術館職員調査研究助成(ポーラ美術振興財団)

所属学会：日本移民学会、マイグレーション研究会

## 宮本久宣

- ・「もうひとつの世界」の企画および関連事業の実施
- ・「和歌山の近現代美術の精華」展(第1部)の企画統括および図録の執筆・編集統括、関連事業の実施
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」(2021年6月9日第2時限、6月10日第4時限/和歌山県立近代美術館)
- ・執筆：「〈県立近代美術館50周年 コレクションの名品④〉江戸の粹 版画にとどめ(石井柏亭《よし町「東京十二景」より》)『読売新聞』(和歌山版)2021年6月23日、26面
- ・執筆：「〈県立近代美術館50周年 コレクションの名品⑤〉偶然満ちる複雑な世界(パウル・クレア《綱渡り》)『読売新聞』(和歌山版)2021年7月7日、26面
- ・執筆：「〈略歴・解説〉川端龍子—絵画表現の革新を目指して」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.162-165
- ・執筆：「〈略歴・解説〉北山清太郎—美術の伝道者から日本アニメーションの創始者へ」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.180-183
- ・執筆：「〈略歴・解説〉日高昌克—心の自然を描く」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.200-203
- ・講演：「〈スライドレクチャー〉和歌山の近現代美術の精華「和歌山の近現代美術」美術文化」(2021年11月21日/和歌山県立近代美術館)
- ・執筆：「大下藤次郎の作品から コレクションの広がりにつながり」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.110、2022年3月30日、pp.2-4
- ・討議(企画運営および全体討議登壇)：「〈美術史学会シンポジウム〉美術史が生まれる現場から(村田梨沙氏、弘中智子氏、長井健氏、副田一穂氏との討議)」(2022年3月12日/オンライン開催)

- ・美術史学会西支部美術館博物館委員会専門委員

所属学会：美術史学会

## 青木加苗

- ・「コミュニケーションの部屋」の企画および関連事業の実施
- ・「和歌山の近現代美術の精華」展(第1部)の企画および図録の執筆・編集
- ・「こども美術館部」の企画および実施
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」(2021年6月10日第2時限、第4時限/和歌山県立近代美術館)
- ・執筆：「「こども美術館部」で遊ぶこと：5年間の活動をふりかえって」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.107、2021年8月31日、pp.5-6
- ・執筆：「〈県立近代美術館50周年 コレクションの名品⑧〉自由な精神の道標に(マックス・クリンガー《「間奏曲」より「海辺で」》)『読売新聞』(和歌山版)2021年9月15日、26面
- ・執筆：「〈県立近代美術館50周年 コレクションの名品⑨〉和の技 オルリクに刺激(エミール・オルリク《日本の彫師》)『読売新聞』(和歌山版)2021年9月29日、26面

- ・執筆：「〈略歴・解説〉建島大夢—塑った人」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.166-169
  - ・執筆：「〈略歴・解説〉原勝四郎—和歌山に愛された男」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.208-211
  - ・執筆：「〈略歴・解説〉建島寛造—コレクションのあゆみと初期作品における人体モチーフについて」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.236-239
  - ・講演：「〈スライドレクチャー〉和歌山の近現代美術の精華「和歌山の近現代美術」彫刻」（2021年11月20日／和歌山県立近代美術館）
  - ・執筆：「[まえがき]『体験アート・ワークショップと成果展示 活動報告書』特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会（wacss）、2021年11月30日\*ノンブルなし
  - ・執筆：「あなたとわたしとだれかのために展覧会を考える コミュニケーションの部屋」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.109、2022年2月28日、pp.2-3
  - ・講義：「〈コミュニティデザイン概論〉美術館とコミュニティがつながりつづけるしくみを考える」（2021年5月20日／成安造形大学\*事前収録）
  - ・講演：「博物館教育は社会教育ではないのか〜博物館法改正議論に向けた現場からの提案〜」日本社会教育学会 2021年度六月集会ラウンドテーブル②「社会教育法70年と社会教育法制をめぐる課題（その3）—博物館法「改正」をめぐる」（2021年6月6日／オンライン開催）
  - ・コーディネーター：全国美術館会議「博物館法改正に係る勉強会」（2021年6月23日／オンライン開催）
  - ・談話：「〈インタビュー〉美術館で超異物・異文化に目を向けられるなら、社会の中でもできる」関西ウーマン（ウェブマガジン）、2021年4月取材、7月ウェブ公開
  - ・執筆：「ミュージアムがサステイナブルであるために—和歌山県立近代美術館の場合」ICOM ジャーナル（ICOM 日本委員会ウェブサイト）、2021年7月26日ウェブ公開 \*英語版：The Future of Museums and Their Sustainability—A Case of The Museum of Modern Art, Wakayama
  - ・コーディネーター：全国美術館会議「博物館法改正に係る勉強会（第2回）」（2021年8月5日／オンライン開催）
  - ・講義（非常勤講師）：和歌山大学教育学部「美術史概論」（2021年8月19日、2022年2月18日、2月21日）
  - ・講義（非常勤講師）：和歌山大学教育学部「美術鑑賞演習」（2021年8月21日、9月4日、11月14日）
  - ・講義（非常勤講師）：京都市立芸術大学大学院美術研究科「美術史特論2」（2021年8月23日、8月26日、8月30日）
  - ・コメントーター：第60回社会教育研究全国集会（南三陸集会）「〈全体会第2部（全国的課題）〉②社会教育施設としての博物館—法改正問題をめぐって」（2021年8月28日／オンライン開催）
  - ・コメントーター：第60回社会教育研究全国集会（南三陸集会）「〈第16分科会〉いま創造される地域の博物館実践とは—社会教育法の精神を見つめて— 第3部 対談 博物館体験を語る〜リアス・アーク美術館の実践から（阿部正太郎×山内宏泰）」（2021年8月29日／オンライン開催）
  - ・執筆：「博物館法は誰のものか」『ZENBI 全国美術館会議機関誌』Vol.20、2021年9月1日、pp.10-13
  - ・執筆：「対話型美術鑑賞音声対話システムにおける発話参照機能の提案（湯浅美野氏、吉野孝氏との共同執筆）」『2021年度情報処理学会関西支部 支部大会 講演論文集』、2021年9月10日
  - ・コーディネーター：「〈2021年度日本社会教育学会第68回研究大会〉ラウンドテーブル③ 社会教育法70年と社会教育法制をめぐる課題（その4）—博物館法改正をめぐる（その2）」（2021年9月12日／オンライン開催）
  - ・執筆：「ミュージアムが新たな公共性のモデルを生み出すとき」『Museum Data』No.82、2021年11月15日、pp.5-11
  - ・談話：「コロナの視座4：美術館のコレクションから考える（三田真由美氏、副田一穂氏との座談会／進行：坪池栄子／構成・文：羽成奈穂子）」『地域創造』47、2021年12月17日、pp.71-76
  - ・執筆：「美術館活動に市民はどう参画できるか—和歌山県立近代美術館の場合」『住民と自治』2022年3月号、2022年2月15日（2022年4月3日ウェブでも公開）
  - ・談話：「巻頭特集座談会「現代版画」の見取り図（木村秀樹氏、中谷至宏氏、谷口宇平氏との座談会／司会・文責：松山龍雄）」『版画芸術』No.195、2022年3月1日、pp.66-69
  - ・ICOM ICFA 理事会に理事として出席（2021年4月1日、5月7日、6月25日、8月20日、10月8日、2022年2月3日／いずれもオンライン開催）
  - ・第34回全国美術館会議に美術館運営制度研究部会メンバーとして出席（2021年8月10日／オンライン開催）
  - ・「令和3年度美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」にファシリテーターとして参加（2021年11月29日、12月5日／京都国立近代美術館）
  - ・大阪市立自然史博物館子ども向け普及教育事業（ワークショップ）評価委員会に出席（2021年12月6日／オンライン開催）
  - ・第35回全国美術館会議に美術館運営制度研究部会メンバーとして出席（2021年12月7日／大阪市立美術館）
  - ・和歌山大学美術館部サークル外部指導員（2015年〜）
  - ・2019年度 DNP 文化振興財団 グラフィック文化に関する学術研究助成「ドイツ語圏のジャポニスム：ヴァルター・クレムとカール・ティーマンの多色木版画を中心に（2018年度より継続〜2021年12月31日\*新型コロナウイルス感染症拡大により助成期間延長）
  - ・2021年度美術検定2級問題作成者
- 所属学会：ICOM ICFA、意匠学会、美学会、美術科教育学会、美術史学会

## 藤本真名美

- ・「疎密考」の企画および関連事業の実施
- ・「和歌山の近現代美術の精華」展（第1部）の企画および図録の執筆・編集
- ・執筆：「〈県立近代美術館50周年 コレクションの名品⑩〉今は昔「密」に盛る街（川西英《神戸十二月風景「十二月 元町歳暮」》）」『読売新聞』（和歌山版）2021年4月28日、28面
- ・執筆：「〈県立近代美術館50周年 コレクションの名品⑫〉遠くへ続く浜心を解放（逸見享《砂丘》）」『読売新聞』2021年5月26日、24面
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」（2021年6月9日第3時限、6月10日第4時限／和歌山県立近代美術館）
- ・編集：「稗田一穂氏へのインタビュー」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.108、2021年9月30日、p.3-6
- ・執筆：「〈略歴・解説〉下村観山—古きに学ぶ」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.154-157
- ・執筆：「〈略歴・解説〉下村清時—観山を支えた能面保存の功労者」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.158-161
- ・執筆：「〈略歴・解説〉野長瀬晩花—はねかへり者の挑戦」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.197-199
- ・執筆：「〈略歴・解説〉稗田一穂—戦後を駆け抜けた100年の軌跡」『和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで』展図録、2021年10月23日、pp.232-235
- ・講演：「〈スライドレクチャー〉和歌山の近現代美術の精華「和歌山の近現代美術」日本画」（2021年11月6日／和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑥〉舞妓2人 愛嬌たっぷり（野長瀬晩花《都をどり》）」『読売新聞』2022年2月23日、22面
- ・講演：和歌山南ロータリークラブ卓話「学芸員の仕事 展覧会のできるまで」（2021年4月9日／ダイワロイネットホテル和歌山）

- ・発表：京都大学人文科学研究所 共同研究班「芸術と社会—近代における創造活動の諸相—」第8回研究会「近代京都の歴史画家・谷口香嶠について」（2021年6月27日／オンライン開催）
- ・発表：明治美術学会 2021年度第2回例会「下村観山の兄・清時について」（2021年7月3日／オンライン開催）
- ・執筆：「谷口香嶠作品にみる先進性—絵画と工芸の交錯」『歴史を旅する谷口香嶠』展図録、笠岡市立竹喬美術館、2021年[10月]、pp.98-105
- ・講演：「〈特別ギャラリートーク [1]〉 歴史画家・谷口香嶠の多彩な画業」（2021年11月14日／笠岡市立竹喬美術館）
- ・執筆：「〈X 芸術と思想〉4 横山大観《屈原》／5 橋本関雪《木蘭》」湯浅邦弘 編著『やわらかアカデミズム・くわかる〉シリーズ よくわかる中国思想』ミネルヴァ書房、2022年2月28日、pp.134-139
- ・「歴史を旅する 谷口香嶠」展への調査協力（展覧会会期：2021年10月23日～12月5日／笠岡市立竹喬美術館）
- ・全国美術館会議第12回地域美術研究部会会合に出席（2021年10月27日／オンライン開催）
- ・道成寺（日高川町）書院襖絵に関する調査協力（2021年12月11日）＊「道成寺の書院 ふすま絵は地元の谷井翠山の作か」『日高新報』2021年12月13日、「道成寺書院の襖絵 谷井翠山の作品か」『和歌山放送ニュース』2021年12月14日にコメント掲載

所属学会：大正イマジユリ学会、明治美術学会、美術史学会

# 収集事業

## 和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村観山、川端龍子を軸とする院展の作家たち
- 2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち
- 洋画 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち
- 4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち
- 5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち
- 版画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画
- 彫刻 7. 本県にゆかりのある建畠覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻
- その他 8. 戦後美術
  - ア パンリアル美術協会
  - イ 走泥社
  - ウ デモクラート美術家協会
  - エ 具体美術協会
- 9. 現代の美術
- 10. 海外の美術

## 和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員

- 榎本長治 会社社長
- 五十殿利治 筑波大学名誉教授、同特命教授、独立行政法人国立美術館理事
- 建畠 哲 多摩美術大学学長／埼玉県立近代美術館館長
- 三木哲夫 兵庫県陶芸美術館館長

## 第45回美術作品選定委員会

- 日時：2022年3月3日（木） 午後2時より開催
- 出席：榎本長治委員、五十殿利治委員、建畠哲委員（委員長）、三木哲夫委員
- 内容：購入候補作品ならびに受贈候補作品について、受入の妥当性について協議を行った。

## 2021年度収蔵作品点数

- 購入 17点（日本画1点、版画11点、彫塑1点、資料4点）
- 受贈 16件201点（日本画20点、洋画21点、水彩・素描3点、版画153点、写真1点、彫塑2点、資料1点）

# 2021 年度収蔵作品

\* 各作品について、作者名(和英)、作品名、制作年、技法材質(形状)、寸法(cm、特記なき平面作品はイメージサイズ/シートサイズ)、台帳番号、種別を記した。

\* 作者名(五十音順、日本人作家/外国人作家)、制作年(昇順)に従って配列している。ただし、まとまったコレクションなどについては、個別に掲載した。

## 購入

### 1 麻田 辨自 ASADA Benji [建物のある風景]

不詳(昭和初期)  
木版、紙  
14.8 × 35.8 / 24.7 × 36.6  
[12871] 版画



### 2 麻田 辨自 ASADA Benji [水辺の風景]

1933(昭和8)頃  
木版、紙  
20.2 × 27.8 / 21.0 × 28.3  
[12872] 版画



### 3 北村 謹次郎 KITAMURA Kinjiro 静物(支那面とパイナップル)

1932(昭和7)頃  
木版、紙  
30.4 × 36.0 / 32.0 × 36.0  
[12873] 版画



### 4 北村 謹次郎 KITAMURA Kinjiro 花と人形

1933(昭和8)  
木版、紙  
40.5 × 47.5 / 42.8 × 50.2  
[12874] 版画



### 5 北村 謹次郎 KITAMURA Kinjiro 静物(人形とトランプ)

不詳(昭和初期)  
木版、紙  
14.7 × 21.2 / 17.0 × 22.0  
[12875] 版画



### 6 菅藤 霞仙 SUGATO Kasen 神戸港

1935(昭和10)  
木版、紙  
36.0 × 49.2 / 36.0 × 55.0  
[12876] 版画



### 7 高橋 太三郎 TAKAHASHI Tasaburo 赤い支那カバンの上の静物

1941(昭和16)  
木版、紙  
43.2 × 52.2 / 45.9 × 54.8  
[12877] 版画



### 8 高橋 太三郎 TAKAHASHI Tasaburo [静物(花)]

不詳(昭和初期)  
木版、紙  
39.6 × 32.7 / 41.6 × 34.5  
[12878] 版画



### 9 竹久 夢二 TAKEHISA Yumeji 新富座当り狂言 鴈治郎の忠兵衛 福助の梅川

1914(大正3)  
木版、紙  
39.0 × 25.8 シート  
[12879] 版画



### 10 建畠 覚造 TATEHATA Kakuzo 貌

1955(昭和30)  
セメント  
139.0 × 100.0 × 64.0  
[12882] 彫塑



### 11 稗田 一穂 HIEDA Kazuho 小雨降る坂路

2011(平成23)  
顔料、紙  
116.6 × 90.8  
[12870] 日本画



### 12 ヴァルター・クレム Walther KLEMM スケート場

1909(明治42)  
木版、紙  
40.0 × 43.6 / 42.0 × 45.5  
[12880] 版画



### 13 エミール・オルリク Emil ORLIK 画家フェルディナント・ホドラーの肖像

1904 / 1905(明治37 / 38)  
木版、紙  
35.2 × 23.0 / 36.6 × 24.3  
[12881] 版画



### 14 『爆竹』第4号

1929(昭和4)年10月  
冊子  
27.4 × 19.3 × 0.4  
[12883] 資料



### 田中 比佐良 TANAKA Hisara I 女の胴体

木版、紙  
12.5 × 7.1 / 18.7 × 14.5  
[12883-1]



飯田 恒夫 IIDA Tsuneo  
2 或邸街風景  
木版、紙  
19.7 × 13.6 / 21.3 × 15.0  
[12883-2]



伊東 重夫 ITO Shigeo  
3 ウイスキーの瓶  
木版、紙  
19.8 × 13.8 / 21.1 × 14.7  
[12883-3]



島田 芳雄 SHIMADA Yoshio  
4 大川端風景  
木版、紙  
9.5 × 14.6 / 11.3 × 15.9  
[12883-4]



沢口 俊雄 SAWAGUCHI Toshio  
5 レーニン  
木版、紙  
14.3 × 8.6 / 16.5 × 10.5  
[12883-5]



勝木 貞夫 KATSUKI Sadao  
6 港の朝  
木版、紙  
12.6 × 17.8 / 13.8 × 18.6  
[12883-6]



伊藤 統一郎 ITO Toichiro  
7 インク瓶  
木版、紙  
12.6 × 17.7 / 14.0 × 19.0  
[12883-7]



秋間 健一 AKIMA Ken'ichi  
8 深川風景  
木版、紙  
14.1 × 9.2 / 16.5 × 10.1  
[12883-8]



島田 芳雄 SHIMADA Yoshio  
9 フレンド女学校裏  
木版、紙  
11.7 × 12.3 / 12.8 × 13.3  
[12883-9]



古仁所 卓 KONISHO Taku  
10 辨慶橋 (東京八橋之四)  
木版、紙  
13.5 × 19.7 / 14.8 × 20.7  
[12883-10]



15 『爆竹』 第5号  
1930 (昭和5) 年1月  
冊子  
28.3 × 19.8 × 0.5  
[12884] 資料



島田 芳雄 SHIMADA Yoshio  
1 摩耶子の像  
木版、紙  
14.5 × 11.1 / 16.1 × 12.5  
[12884-1]



秋間 健一 AKIMA Ken'ichi  
2 冬近き構内  
木版、紙  
13.4 × 9.7 / 14.3 × 10.6  
[12884-2]



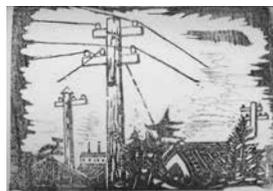
飯田 恒夫 IIDA Tsuneo  
3-1 午後の魚河岸  
木版、紙  
13.5 × 19.6 / 14.8 × 21.2  
[12884-3-1]



飯田 恒夫 IIDA Tsuneo  
3-2 午後の魚河岸 (別刷り)  
\*同版作品頁に封入  
1930 (昭和5)  
木版、紙  
13.5 × 19.6 / 15.5 × 21.5  
[12884-3-2]



伊藤 統一郎 ITO Toichiro  
4 風景  
木版、紙  
15.1 × 21.4 / 15.8 × 22.8  
[12884-4]



古仁所 卓 KONISHO Taku  
5 夜明けの聖橋  
木版、紙  
14.2 × 19.5 / 15.4 × 21.0  
[12884-5]



土山 彬 TSUCHIYAMA Akira  
6 冬  
木版、紙  
16.4 × 11.6 / 17.2 × 12.2  
[12884-6]



牧瀬 道男 MAKISE Michio  
7 菊  
木版、紙  
15.5 × 18.6 / 17.1 × 19.4  
[12884-7]



伊東 重夫 ITO Shigeo  
8 五反田附近  
木版、紙  
19.1 × 13.8 / 20.1 × 14.9  
[12884-8]



平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi  
9 かわせみ  
木版、紙  
12.2 × 10.9 / 19.3 × 12.1  
[12884-9]



恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
10 海  
木版、紙  
12.1 × 12.1 / 13.3 × 13.6  
[12884-10]



16 『爆竹』 第6号  
1930 (昭和5) 年3月  
冊子  
25.0 × 18.8 × 0.3  
[12885] 資料



田中 比佐良 TANAKA Hisara  
1 漫展出品の一部  
木版、紙  
16.1 × 12.2 / 21.6 × 14.7  
[12885-1]



伊東 重夫 ITO Shigeo  
2 数寄屋橋暮景  
木版、紙  
18.4 × 14.1 / 20.4 × 15.2  
[12885-2]



秋間 健一 AKIMA Ken'ichi  
3 冬の葛飾風景  
木版、紙  
15.0 × 20.7 / 15.0 × 20.7  
[12885-3]



飯田 恒夫 IIDA Tsuneo  
4 琉球の壺  
木版、紙  
9.6 × 9.5 / 17.5 × 13.6  
[12885-4]



水上 玄三 MIZUKAMI Izo  
5 淡島  
木版、紙  
10.0 × 13.9 / 11.2 × 15.1  
[12885-5]



勝木 貞夫 KATSUKI Sadao  
6 職場のかへり  
木版、紙  
18.2 × 11.5 / 19.7 × 13.3  
[12885-6]



土山 彬 TSUCHIYAMA Akira  
7 目黒駅にて  
木版、紙  
15.1 × 21.0 / 16.1 × 22.1  
[12885-7]



古仁所 卓 KONISHO Taku  
8 スケート場  
木版、紙  
13.9 × 20.4 / 15.0 × 21.6  
[12885-8]



17 『版画精神』 第2号  
1933 (昭和8) 年6月  
冊子  
21.0 × 20.7 × 0.2  
[12886] 資料



安藝 靖一 AKI Seiichi  
1 表紙装画  
木版、紙  
6.4 × 6.8 / 6.5 × 7.0  
[12886-1]



黒滝 俊雄 KUROTAKI Toshio  
2 扉  
木版、紙  
8.2 × 8.0 / 9.9 × 9.3  
[12886-2]



黒滝 俊雄 KUROTAKI Toshio  
3 装画  
木版、紙  
9.6 × 9.5 / 11.6 × 10.5  
[12886-3]



関野 準一郎 SEKINO Jun'ichiro  
4 紅椿  
木版、紙  
8.0 × 9.7 / 9.0 × 14.4  
[12886-4]



関野 準一郎 SEKINO Jun'ichiro  
5 公告と女  
木版、紙  
11.1 × 12.1 / 11.3 × 12.5  
[12886-5]



三浦 長五郎 MIURA Chogoro  
6 男に扮せる老婆  
木版、紙  
12.0 × 9.5 / 16.0 × 11.6  
[12886-6]



三浦 長五郎 MIURA Chogoro  
7 芝居見る女  
木版、紙  
11.9 × 9.0 / 15.1 × 12.0  
[12886-7]



三浦 長五郎 MIURA Chogoro  
8 労苦  
木版、紙  
9.7 × 10.0 / 10.0 × 10.5  
[12886-8]



安藝 靖一 AKI Seiichi  
9 仮面の踊  
木版、紙  
6.5 × 8.1 / 9.0 × 8.8  
[12886-9]



安藝 靖一 AKI Seiichi  
10 道化は唄ふ  
木版、紙  
8.0 × 7.5 / 8.6 × 8.1  
[12886-10]



安藝 靖一 AKI Seiichi  
11 アクロバット  
木版、紙  
10.2 × 10.8 / 11.0 × 11.5  
[12886-11]



寄 贈

1 安藤 榮作 ANDO Eisaku  
磁力の核へ・HUMAN BEING  
2021 (令和 3)  
木  
166.0 × 24.0 × 34.0  
田中恒子氏寄贈  
[13075] 彫塑



2 押江 千衣子 OSHIE Chieko  
みづえ  
1995 (平成 7)  
オイルパステル・油彩、キャンパス  
162.0 × 388.0 (2 枚組)  
榎本長治氏寄贈  
[12908] 洋画



3 小林 敬生 KOBAYASHI Keisei  
詩画集『宙(そら)へ…』  
詩編：建島哲  
2018 (平成 30)  
書籍  
34.0 × 25.0 × 1.0  
建島哲氏寄贈  
[12912] 版画



1 扉

木口木版、紙  
9.2 × 7.4  
建畠哲氏寄贈  
[12912-1] 版画



2 宙(そら)へ……—地—

木口木版、紙  
20.1 × 14.9  
建畠哲氏寄贈  
[12912-2] 版画



3 宙(そら)へ……—樹・I—

木口木版、紙  
21.6 × 14.7  
建畠哲氏寄贈  
[12912-3] 版画



4 宙(そら)へ……—樹・II—

木口木版、紙  
23.3 × 15.2  
建畠哲氏寄贈  
[12912-4] 版画



5 宙(そら)へ……—舟—

木口木版、紙  
24.1 × 16.4  
建畠哲氏寄贈  
[12912-5] 版画



6 宙(そら)へ……—根—

木口木版、紙  
23.2 × 14.7  
建畠哲氏寄贈  
[12912-6] 版画



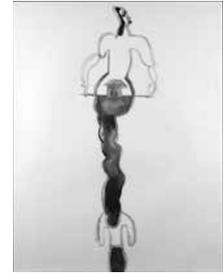
7 宙(そら)へ……—楽園—

木口木版・手彩、紙  
20.2 × 14.9  
建畠哲氏寄贈  
[12912-7] 版画



4 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 1]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13076] 洋画



5 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 2]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13077] 洋画



6 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 3]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13078] 洋画



7 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 4]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13079] 洋画



8 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 5]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13080] 洋画



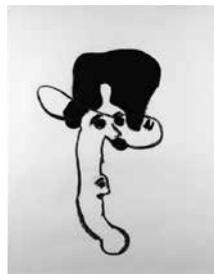
9 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 6]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13081] 洋画



10 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 7]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13082] 洋画



11 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 8]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13083] 洋画



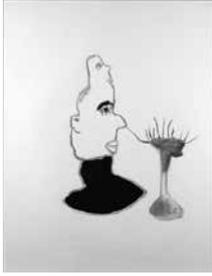
12 齊藤彩 SAITO Aya

[無題 9]  
2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13084] 洋画



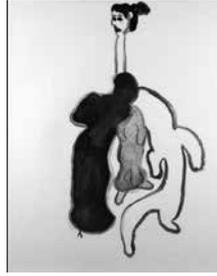
13 齊藤 彩 SAITO Aya  
[無題 10]

2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13085] 洋画



14 齊藤 彩 SAITO Aya  
[無題 11]

2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13086] 洋画



15 齊藤 彩 SAITO Aya  
[無題 12]

2004 (平成 16)  
油彩、紙  
65.0 × 50.0  
田中恒子氏寄贈  
[13087] 洋画



16 下村 清時 SHIMOMURA Kiyotoki  
小面

不詳  
顔料、木  
21.0 × 13.0 × 7.0  
わんや書店寄贈  
[13074] 彫塑



17 関根 直子 SEKINE Naoko  
言葉の前の音 — 人形遣いの声 —  
一つの場所 : The sense of separation

2012 (平成 24)  
鉛筆、紙  
107.0 × 450.0 (3 枚組)  
榎本長治氏寄贈  
[12909] 洋画



18 奈良原 一高 NARAHARA Ikko  
「消滅した時間」より 九本の椰子  
の木と飛行機、カリフォルニア

1972 (昭和 47) / プリント 1997 (平成 9)  
ゼラチン・シルバー・プリント  
32.6 × 47.8 / 40.6 × 50.8  
橋原恵子氏寄贈  
[13073] 写真



19 西 博民 NISHI Hakumin  
湯崎 三段壁の激浪

1936 (昭和 11)  
油彩、キャンバス  
52.7 × 80.0  
太田宏一氏寄贈  
[12910] 洋画



20 野田 裕示 NODA Hiroji  
WORK 1766

2011 (平成 23)  
アクリル絵具・麻布・綿布、キャンバス  
387.8 × 651.5 (10 枚組)  
野田裕示氏寄贈  
[13011] 洋画



21 森田 睦 MORITA Mutsumi  
はるかなる海へ

1972 (昭和 47)  
孔版、紙  
50.1 × 74.0 / 54.6 × 79.8  
森田睦氏寄贈  
[13036] 版画



22 森田 睦 MORITA Mutsumi  
遠い国 A

1974 (昭和 49)  
孔版、紙  
72.0 × 48.2 / 79.3 × 54.7  
森田睦氏寄贈  
[13037] 版画



23 森田 睦 MORITA Mutsumi  
遠い国 B

1974 (昭和 49)  
孔版、紙  
72.0 × 48.2 / 79.6 × 54.8  
森田睦氏寄贈  
[13038] 版画



24 森田 睦 MORITA Mutsumi  
エデンの海へ

1974 (昭和 49)  
孔版、紙  
47.1 × 67.1 / 54.8 × 79.2  
森田睦氏寄贈  
[13039] 版画



25 作者不詳 Unknown  
田中恭吉遺作展覧会ポスター

1915 (大正 4)  
木版、紙  
16.3 × 16.1 / 47.0 × 29.5  
佐藤照雄氏・美子氏寄贈  
[13051] 版画



貞木英一旧蔵  
作品・資料  
貞木哲也氏寄贈

1 池端 玉華 IKEHATA Gyokuka  
『山水画帖』  
1919 (大正 8)  
冊子 (画帖)  
24.3 × 18.2 × 2.2  
[12902] 日本画



1 [山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-1] 日本画



2 [山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-2] 日本画



3 [倣陸口山水図]  
顔料、墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-3] 日本画



4 [倣王俊明墨梅図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-4] 日本画



5 寫春一曲  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-5] 日本画



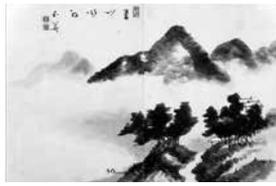
6 [山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-6] 日本画



7 [倣王安節山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-7] 日本画



8 夏川江口  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-8] 日本画



9 [山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-9] 日本画



10 [山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-10] 日本画



11 [山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-11] 日本画



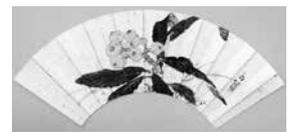
12 [山水図]  
墨、紙  
24.3 × 36.2  
[12902-12] 日本画



2 榊原 雨村 SAKAKIBARA Uson  
1 草花之図 (桔梗)  
不詳 (大正 - 昭和初期)  
顔料、紙  
15.3 × 49.5  
[12903-1] 日本画

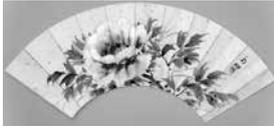


2 草花之図 (枇杷)  
不詳 (大正 - 昭和初期)  
顔料、紙  
15.3 × 49.5  
[12903-2] 日本画



3 草花之図(牡丹)

不詳(大正-昭和初期)  
顔料、紙  
15.3 × 49.5  
[12903-3] 日本画



3 日高昌克 HIDAKA Shokoku  
枯蓮鶴図

1932(昭和7)  
墨、紙  
120.5 × 30.2  
[12904] 日本画



4 日高昌克 HIDAKA Shokoku  
老松双鶴

1938(昭和13)  
墨、紙  
130.7 × 30.8  
[12905] 日本画



5 『南香集』  
大正期  
冊子(画帖)

24.0 × 18.0 × 2.3  
[12906] 日本画



斎藤好雄 SAITO Yoshio  
I [木場の風景]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-1] 日本画



新井醇二 ARAI Jyunji  
2 [収穫]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-2] 日本画



日高昌克 HIDAKA Shokoku  
3 [枇杷]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-3] 日本画



葦原八洲 ASHIHARA Hasshu  
4 [若桃]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-4] 日本画



池端玉華 IKEHATA Gyokuka  
5 [茶売切]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-5] 日本画



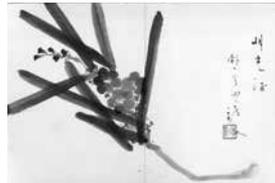
佐武草七 SATAKE Sohichi  
6 [玩具]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-6] 日本画



不詳 Unknown  
7 [花の枝]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-7] 日本画



新井醇二 ARAI Jyunji  
8 [陶磁器]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-8] 日本画



佐武草七 SATAKE Sohichi  
9 [紀三井寺]

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-9] 日本画



葦原八洲 ASHIHARA Hasshu  
10 [和歌山城](貞木 句之部:句)

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-10] 日本画



日高昌克 HIDAKA Shokoku  
11 雑賀崎二子島之景

顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-11] 日本画



近藤直人 KONDO Naoto  
12 [画具]

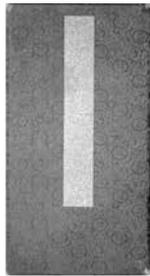
顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-12] 日本画



高塚 喜峰 TAKATSUKA Kiho  
13 [田植え]  
顔料、紙  
24.0 × 18.0  
[12906-13] 日本画



6 諸家 Various Artists  
[短冊集]  
不詳  
冊子(短冊帖)  
39.4 × 20.7  
[12907] 資料



代田恒夫旧蔵作品  
代田恒子氏寄贈

1 代田 恒夫 SHIROTA Tsuneo  
[牧場]  
制作年不詳  
エッチング、紙  
29.5 × 36.0 / 35.0 × 45.9  
[13052] 版画



2 代田 恒夫 SHIROTA Tsuneo  
出帆  
制作年不詳  
エッチング、紙  
9.5 × 21.9 / 19.8 × 28.0  
[13053] 版画



3 松田 義之 MATSUDA Yoshiyuki  
哲学者の家  
1959 (昭和 34)  
エッチング、紙  
26.4 × 19.7 / 34.5 × 25.4  
[13072] 版画



『日版集』  
1962 (昭和 37) 年  
冊子



4 棟方 志功 MUNAKATA Shiko  
『日版集』法眼の鼓  
1962 (昭和 37)  
木版、紙  
20.2 × 14.5 / 31.0 × 23.4  
[13054] 版画



5 内田 静馬 UCHIDA Shizuma  
『日版集』日本橋所見  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
23.0 × 17.1 / 25.2 × 18.0  
[13055] 版画



6 松岡 雄三 MATSUOKA Yuzo  
『日版集』[木の実]  
1962 (昭和 37) 頃  
凸版、紙  
17.7 × 20.6 / 24.2 × 31.3  
[13056] 版画



7 根本 霞外 NEMOTO Kagai  
『日版集』[雀]  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
20.2 × 27.0 / 21.3 × 28.5  
[13057] 版画



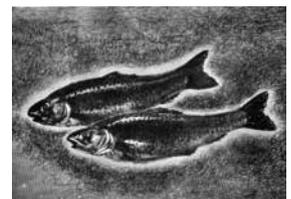
8 代田 恒夫 SHIROTA Tsuneo  
『日版集』[花]  
1962 (昭和 37) 頃  
エッチング、紙  
17.6 × 23.5 / 23.0 × 28.5  
[13058] 版画



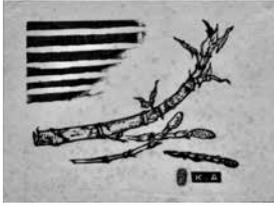
9 松田 義之 MATSUDA Yoshiyuki  
『日版集』[時計と花]  
1962 (昭和 37) 頃  
エッチング、紙  
17.8 × 11.6 / 23.0 × 27.1  
[13059] 版画



10 長坂 春雄 NAGASAKA Haruo  
『日版集』[魚]  
1962 (昭和 37) 頃  
版種不明、紙  
26.1 × 40.3 / 30.5 × 47.0  
[13060] 版画



11 朝井 清 ASAI Kiyoshi  
『日版集』[土筆と虎杖]  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
16.5 × 20.2 / 19.7 × 26.2  
[13061] 版画



12 大久保 担 OKUBO Tan  
『日版集』[七夕]  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
24.8 × 19.0 / 25.9 × 19.5  
[13062] 版画



13 宮本 匡四郎 MIYAMOTO  
Kyoshiro  
『日版集』[不詳]  
1962 (昭和 37)  
木版、紙  
26.4 × 17.8 / 26.4 × 17.8  
[13063] 版画



14 伊東 明子 ITO Akiko  
『日版集』[猫]  
1962 (昭和 37)  
リトグラフ、紙  
29.3 × 22.3 / 30.7 × 23.2  
[13064] 版画



15 宮尾 しげを MIYAO Shigeo  
『日版集』[風景]  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
26.0 × 15.4 / 26.5 × 16.4  
[13065] 版画



16 曾我尾 武治 SOGAO Takeharu  
『日版集』三猿  
1962 (昭和 37)  
エッチング・アクアチント、紙  
10.1 × 19.0 / 27.0 × 35.8  
[13066] 版画



17 小笠原 俊彦 OGASAWARA  
Toshihiko  
『日版集』[水鳥]  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
24.0 × 17.3 / 24.7 × 18.1  
[13067] 版画



18 武藤 完一 MUTO Kan'ichi  
『日版集』[椿]  
1962 (昭和 37) 頃  
木口木版、紙 (雁皮刷)  
7.5 × 7.5 / 7.8 × 7.8 / 35.8 × 26.5  
[13068] 版画



19 守 洞春 MORI Doshun  
『日版集』[山]  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
16.8 × 22.3 / 17.9 × 23.4  
[13069] 版画



20 武田 源太郎 TAKEDA Gentaro  
『日版集』深大寺門前  
1962 (昭和 37)  
木版、紙  
17.3 × 26.6 / 17.3 × 26.6  
[13070] 版画



21 木和村 創爾郎 KIWAMURA Sojiro  
『日版集』柴又帝釈天  
1962 (昭和 37) 頃  
木版、紙  
15.6 × 18.7 / 15.7 × 19.1  
[13071] 版画



## 稗田一穂作品

稗田由季氏・田中麻琴氏寄贈

1 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
霜の朝  
1940 (昭和 15)  
顔料、紙  
86.0 × 175.8  
[12887] 日本画



2 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
白い花  
1958 (昭和 33)  
顔料、紙  
75.0 × 54.0  
[12888] 日本画



3 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
磯  
1958 (昭和 33)  
顔料、紙  
65.0 × 80.0  
[12889] 日本画



4 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
岩と魚

1959 (昭和 34)  
顔料、紙  
146.8 × 162.3  
[12890] 日本画



5 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
古い街

1964 (昭和 39)  
顔料、紙  
73.0 × 60.8  
[12891] 日本画



6 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
夕輝

1974 (昭和 49)  
顔料、紙  
117.5 × 86.7  
[12892] 日本画



7 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
荒海

1999 (平成 11)  
顔料、紙  
60.0 × 90.0  
[12893] 日本画



8 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
風揺れる

1999 (平成 11)  
顔料、紙  
80.0 × 115.5  
[12894] 日本画



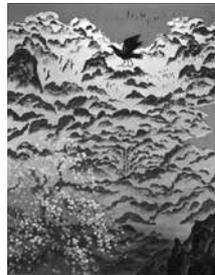
9 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
新緑の頃

2002 (平成 14)  
顔料、紙  
100.0 × 72.5  
[12895] 日本画



10 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
伝説・熊野

2004 (平成 16)  
顔料、紙  
185.0 × 145.0  
[12896] 日本画



11 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
煌映

2008 (平成 20)  
顔料、紙  
116.0 × 161.0  
[12897] 日本画



12 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
遙かなる天空

2009 (平成 21)  
顔料、紙  
90.0 × 117.0  
[12898] 日本画



13 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
火精幻想・鳳

2010 (平成 22)  
顔料、紙  
130.0 × 97.0  
[12900] 日本画



14 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
残月惜春

2015 (平成 27)  
顔料、紙  
172.6 × 240.0  
[12900] 日本画



15 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
[雪景]

制作年不詳  
顔料、紙  
81.0 × 117.0  
[12901] 日本画



日和崎尊夫作品

1 ~ 118:  
日和崎圀子氏、星児氏、  
陽児氏、光児氏寄贈

119 ~ 121:  
日和崎雅代氏寄贈

122 ~ 123:  
坂口洋子氏寄贈

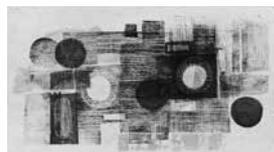
1 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
[初期多色木版 4 種のうち 1]

不詳  
多色木版、紙  
17.2 × 20.0 / 21.8 × 23.4  
[12913] 版画



2 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
[初期多色木版 4 種のうち 2]

不詳  
多色木版、紙  
21.6 × 41.0 / 24.8 × 44.8  
[12914] 版画



3 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
[初期多色木版 4 種のうち 3]

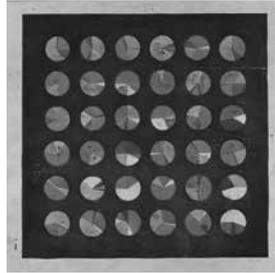
不詳  
多色木版、紙  
19.0 × 26.5 / 23.2 × 29.7  
[12915] 版画



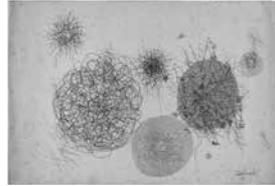
4 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
[初期多色木版 4 種のうち 4]  
不詳  
多色木版、紙  
18.0 × 40.2 / 19.4 × 47.6  
[12916] 版画



5 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
[初期多色木版 2 種のうち 1]  
不詳  
多色木版、紙  
37.1 × 37.0 / 44.4 × 46.1  
[12917] 版画



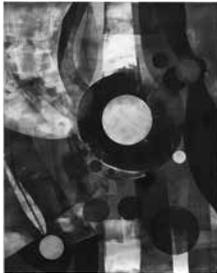
6 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
ドローイング  
不詳  
ペン、水彩  
30.4 × 44.7 (シート)  
[12918] 水彩・素描



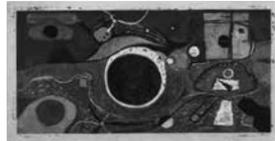
7 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1963 (昭和 38)  
板目木版 (多色)、紙  
39.8 × 39.7 / 46.0 × 44.8  
[12919] 版画



8 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1964 (昭和 39)  
板目木版 (多色)、紙  
75.9 × 59.7  
[12920] 版画



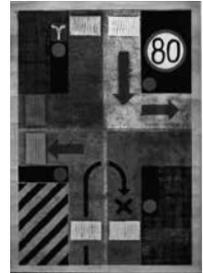
9 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1964 (昭和 39)  
板目木版 (多色)、紙  
38.0 × 77.8 / 44.2 × 83.8  
[12921] 版画



10 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
信号 No.4  
1964 (昭和 39)  
板目木版 (多色) 複合技法、紙  
53.7 × 38.1 / 61.0 × 45.5  
[12922] 版画



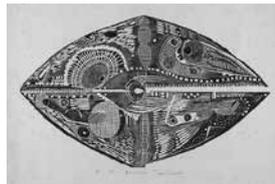
11 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
午前 8 時前後  
1964 (昭和 39)  
板目木版 (多色)、紙  
83.7 × 56.6 / 61.0 × 65.5  
[12923] 版画



12 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
流れる星  
1964 (昭和 39)  
木口木版、紙  
8.1 × 13.1 / 23.1 × 23.0  
[12924] 版画



13 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星のいとなみ  
1964 (昭和 39)  
木口木版、紙  
16.0 × 26.1 / 33.1 × 41.0  
[12925] 版画



14 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星のたたかい  
1964 (昭和 39)  
木口木版、紙  
13.0 × 16.1 / 23.6 × 32.8  
[12926] 版画



15 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星の内部  
1964 (昭和 39)  
板目木版 (多色)、紙  
30.9 × 21.6 / 37.6 × 29.6  
[12927] 版画



16 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
アンドロイドの孤独  
1964 (昭和 39)  
板目木版 (多色)、紙  
31.5 × 21.2 / 37.6 × 30.0  
[12928] 版画



17 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
狂ほしき星  
1965 (昭和 40)  
板目木版 (多色)、紙  
30.0 × 25.0 / 36.1 × 27.7  
[12929] 版画



18 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1965 (昭和 40)  
板目木版 (多色)、紙  
75.3 × 53.2 / 82.6 × 59.9  
[12930] 版画



19 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星降るひとの街  
1965 (昭和 40)  
リトグラフ、紙  
35.3 × 24.4 / 38.6 × 28.2  
[12931] 版画



20 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星、窓のある空  
1965 (昭和 40)  
銅版 (多色)、紙  
18.0 × 14.0 / 27.3 × 22.7  
[12932] 版画



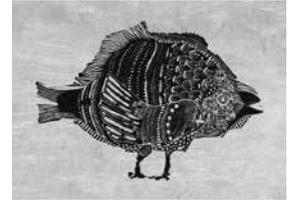
21 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星のためのエチュード (No.2)  
1965 (昭和 40)  
銅版 (多色)、紙  
18.2 × 14.0 / 31.2 × 22.7  
[12933] 版画



22 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星のためのエチュード (No.3)  
1965 (昭和 40)  
銅版 (多色)、紙  
18.0 × 13.9 / 31.2 × 22.2  
[12934] 版画



23 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
鳥魚  
1965 (昭和 40)  
木口木版、紙  
9.3 × 23.1 / 28.8 × 23.1  
[12935] 版画



24 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
星の幻想  
1965 (昭和 40)  
木口木版、紙  
17.0 × 15.0 / 28.4 × 19.0  
[12936] 版画



25 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
作品  
1965 (昭和 40)  
木口木版、紙  
15.1 × 16.2 / 25.5 × 31.6  
[12937] 版画



26 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
8.9 × 13.8 / 15.9 × 23.5  
[12938] 版画



27 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
14.0 × 9.0 / 22.8 × 17.9  
[12939] 版画



28 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
13.8 × 8.9 / 22.8 × 16.1  
[12940] 版画



29 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
13.8 × 8.9 / 23.1 × 15.8  
[12941] 版画



30 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
13.9 × 8.9 / 22.9 × 15.9  
[12042] 版画



31 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
13.8 × 9.1 / 23.2 × 15.7  
[12943] 版画



32 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
13.9 × 9.0 / 16.1 × 12.0  
[12944] 版画



33 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
14.0 × 9.0 / 22.8 × 17.9  
[12945] 版画



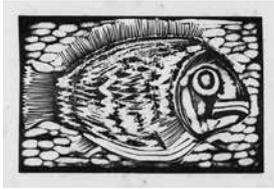
34 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
13.8 × 8.9 / 15.9 × 10.9  
[12946] 版画



35 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
17.6 × 11.3 / 25.0 × 17.7  
[12947] 版画



36 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
8.9 × 13.8 / 15.9 × 23.5  
[12948] 版画



37 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
13.8 × 8.8 / 16.1 × 11.7  
[12949] 版画



38 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
リノカット、紙  
14.0 × 9.0 / 23.0 × 17.8  
[12950] 版画



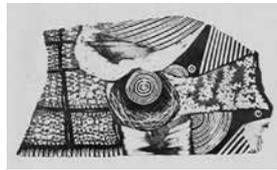
39 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
7.2 × 7.6 / 10.7 × 11.9  
[12951] 版画



40 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
燃える炎の眼  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
9.9 × 10.0 / 20.8 × 20.8  
[12952] 版画



41 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
5.7 × 10.6 / 13.2 × 19.3  
[12953] 版画



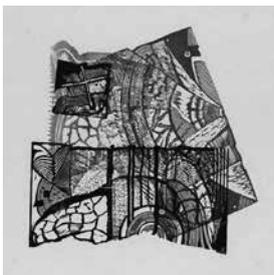
42 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
11.8 × 12.1 / 24.9 × 28.2  
[12954] 版画



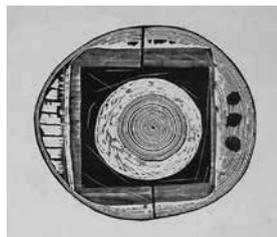
43 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
6.0 × 10.9 / 13.3 × 19.1  
[12955] 版画



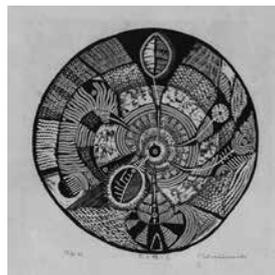
44 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
木口木版 (多色)、紙  
12.8 × 12.8 / 19.5 × 20.7  
[12956] 版画



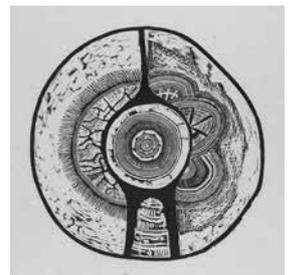
45 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
クモ  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
9.8 × 11.1 / 13.4 × 15.2  
[12957] 版画



46 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
窓・鏡シリーズ C 回転する窓  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
15.6 × 15.5 / 33.8 × 24.4  
[12958] 版画



47 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
内部 I  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
16.1 × 16.1 / 24.1 × 22.1  
[12959] 版画



48 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41) 頃  
木口木版、紙  
7.1 × 7.7 / 13.3 × 14.8  
[12960] 版画



49 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
8.9 × 9.2 / 13.3 × 16.1  
[12961] 版画



50 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
昇 B  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
8.9 × 9.1 / 10.5 × 11.7  
[12962] 版画



51 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
9.2 × 8.9 / 17.3 × 15.8  
[12963] 版画



52 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 仮面 A  
 1966 (昭和 41)  
 木口木版、紙  
 10.3 × 10.3 / 27.5 × 23.6  
 [12964] 版画



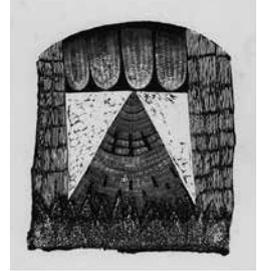
53 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 仮面 C  
 1966 (昭和 41)  
 木口木版、紙  
 10.1 × 10.1 / 27.5 × 23.5  
 [12965] 版画



54 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 人  
 1966 (昭和 41)  
 木口木版、紙  
 11.1 × 10.1 / 15.7 × 15.7  
 [12966] 版画



55 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 ビザンテウム  
 1966 (昭和 41)  
 木口木版、紙  
 12.8 × 11.3 / 19.8 × 17.5  
 [12967] 版画



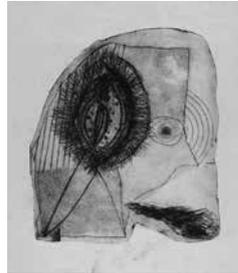
56 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1966 (昭和 41) 頃  
 木口木版、紙  
 12.6 × 10.9 / 19.1 × 15.5  
 [12968] 版画



57 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1966 (昭和 41) 頃  
 銅版、紙  
 23.3 × 19.0 / 31.2 × 26.7  
 [12969] 版画



58 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1966 (昭和 41) 頃  
 銅版、紙  
 19.0 × 16.8 / 26.7 × 25.1  
 [12970] 版画



59 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1966 (昭和 41) 頃  
 銅版、紙  
 11.2 × 8.9 / 14.8 × 12.7  
 [12971] 版画



60 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1966 (昭和 41) 頃  
 銅版、紙  
 23.3 × 14.1 / 30.2 × 26.3  
 [12972] 版画



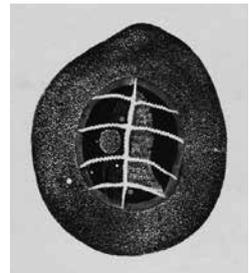
61 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 夜  
 1966 (昭和 41)  
 木口木版、紙  
 11.2 × 9.6 / 16.3 × 15.3  
 [12973] 版画



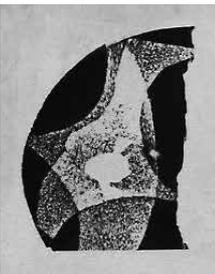
62 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 燃える環  
 1966 (昭和 41)  
 木口木版、紙  
 17.0 × 13.4 / 29.8 × 25.8  
 [12974] 版画



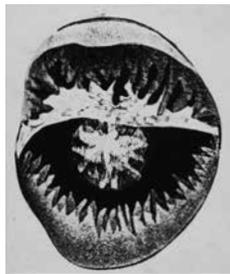
63 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 窓  
 1967 (昭和 42)  
 木口木版、紙  
 11.4 × 9.5 / 26.7 × 19.3  
 [12975] 版画



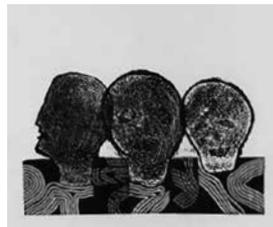
64 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1967 (昭和 42) 頃  
 木口木版、紙  
 6.8 × 5.1 / 11.4 × 9.9  
 [12976] 版画



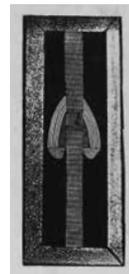
65 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 入口  
 1967 (昭和 42) 頃  
 木口木版、紙  
 14.8 × 12.0 / 16.3 × 13.4  
 [12977] 版画



66 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1967 (昭和 42) 頃  
 木口木版、紙  
 9.6 × 16.1 / 31.8 × 32.0  
 [12978] 版画



67 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
 題不詳  
 1967 (昭和 42) 頃  
 木口木版、紙  
 16.0 × 6.5 / 26.6 × 13.1  
 [12979] 版画



68 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
1967 (昭和 42) 頃  
木口木版、紙  
3.0 × 3.1 / 9.3 × 13.0  
[12980] 版画



69 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
ウラノスの眼  
1968 (昭和 43)  
木口木版、紙  
16.7 × 13.1 / 26.4 × 19.7  
[12981] 版画



70 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
一幕  
1968 (昭和 43)  
木口木版、紙  
18.9 × 8.8 / 31.8 × 23.5  
[12982] 版画



71 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA '68-A-2  
1968 (昭和 43)  
木口木版、紙  
21.7 × 25.6 / 34.0 × 49.2  
[12983] 版画



72 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA 漂流  
1968 (昭和 43)  
木口木版、紙  
7.9 × 7.3 / 8.8 × 8.2  
[12984] 版画



73 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
漂流者への哀歌  
1969 (昭和 44)  
木口木版、紙  
12985-1: 30.6 × 13.0 / 42.3 × 20.7  
12985-2: 30.4 × 13.0 / 42.4 × 20.8  
12985-3: 30.5 × 13.0 / 42.3 × 20.8  
[12985-1 ~ 12985-3]

12985-1

12985-2

12985-3



74 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
海にあそぶ  
1969 (昭和 44)  
木口木版、垂鉛凸版、紙  
31.6 × 25.8 / 59.3 × 47.6  
[12986] 版画



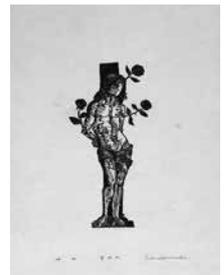
75 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA-H  
1969 (昭和 44)  
木口木版、紙  
20.6 × 28.2 / 40.1 × 45.2  
[12987] 版画



76 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA X  
1969 (昭和 44)  
木口木版、紙  
24.3 × 22.1 / 53.7 × 44.1  
[12988] 版画



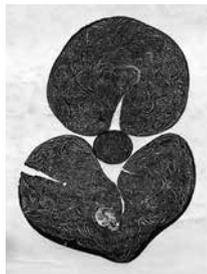
77 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
版画集『薔薇刑』のうち、  
7. 薔薇刑  
1969 (昭和 44)  
木口木版、紙  
11.1 × 5.6 / 26.5 × 22.0  
[12989] 版画



78 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
対話  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
6.8 × 4.5 / 23.4 × 15.8  
[12990] 版画



79 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA No.3  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
46.0 × 32.8 / 90.6 × 63.7  
[12991] 版画



80 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
五億の風の歌  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
13.5 × 23.2 / 37.7 × 44.5  
[12992] 版画



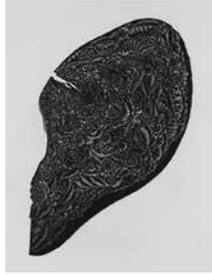
81 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『卵』より 1. 見つめる・・・  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
19.7 × 18.1 / 31.6 × 23.4  
[12993] 版画



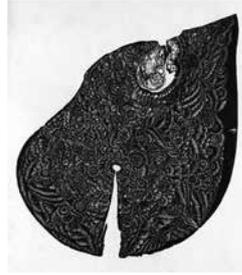
82 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『卵』より 2. 砲煙の・・・  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
12.1 × 10.8 / 23.4 × 15.8  
[12994] 版画



83 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『卵』より 5. 暗黒の・・・  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
15.8 × 15.0 / 31.8 × 23.6  
[12995] 版画



84 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『卵』より 8. 盲目の・・・  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
22.4 × 20.2 / 31.8 × 23.7  
[12996] 版画



85 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『卵』より 9. 伐り倒された・・・  
1970 (昭和 45)  
木口木版、紙  
23.7 × 26.0 / 23.2 × 31.8  
[12997] 版画



86 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA 夜  
1972 (昭和 47)  
木口木版、紙  
32.8 × 27.3 / 57.6 × 42.0  
[12998] 版画



87 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
海淵の薔薇  
1972 (昭和 47)  
木口木版、紙  
32.8 × 18.4 / 54.6 × 36.0  
[12999] 版画



88 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
海淵の薔薇 5  
1972 (昭和 47)  
木口木版、紙  
11.1 × 7.8 / 24.2 × 19.2  
[13000] 版画



89 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
海薔薇  
1972 (昭和 47)  
木口木版、紙  
10.0 × 10.0 / 28.3 × 21.7  
[13001] 版画



90 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
酒鬼  
1973 (昭和 48)  
木口木版、紙  
5.9 × 6.1 / 28.6 × 24.0  
[13002] 版画



91 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
Pierrot  
1973 (昭和 48)  
木口木版、板目木版 (多色)、紙  
39.0 × 51.0 (シート)  
[13003] 版画



92 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
花  
1974 (昭和 49)  
木口木版、紙  
16.0 × 14.2 / 29.8 × 21.2  
[13004] 版画



93 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA-No.2  
1974 (昭和 49)  
木口木版、紙  
25.4 × 20.0 / 40.8 × 34.0  
[13005] 版画



94 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KAOS-NO.1  
1974 (昭和 49)  
木口木版、紙  
33.7 × 26.5 / 50.8 × 39.2  
[13006] 版画



95 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『海想譜』より 5. 海想譜  
1976 (昭和 51)  
木口木版、紙  
7.2 × 11.9 / 21.0 × 18.7  
[13007] 版画



96 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『海想譜』より 9. 海の焰  
1976 (昭和 51)  
木口木版、紙  
7.2 × 6.2 / 21.0 × 18.8  
[13008] 版画



97 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
らんぶ  
1977 (昭和 52)  
木口木版、紙  
4.2 × 2.7 / 20.1 × 16.1  
[13009] 版画



98 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KAOS-2  
1977 (昭和 52)  
木口木版、紙  
13.5 × 21.2 / 26.4 × 34.0  
[13010] 版画



99 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
夜の花  
1978 (昭和 53)  
木口木版、紙  
6.8 × 3.7 / 22.5 × 15.2  
[13011] 版画



100 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
花獣  
1979 (昭和 54)  
木口木版、紙  
11.7 × 10.3 / 30.3 × 27.0  
[13012] 版画



101 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
塔  
1980 (昭和 55)  
木口木版、紙  
14.4 × 10.0 / 25.8 × 18.5  
[13013] 版画



102 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
魚のカーニバル  
1983 (昭和 58)  
木口木版、紙  
8.1 × 11.4 / 29.7 × 19.8  
[13014] 版画



103 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
メルヘン  
1983 (昭和 58)  
木口木版、紙  
7.1 × 13.4 / 28.4 × 24.0  
[13015] 版画



104 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
異星  
1983 (昭和 58)  
木口木版、紙  
8.6 × 13.8 / 29.8 × 19.6  
[13016] 版画



105 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
殖  
1983 (昭和 58)  
木口木版、紙  
9.2 × 7.0 / 29.6 × 20.0  
[13017] 版画



106 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
擬人  
1983 (昭和 58)  
木口木版、紙  
10.0 × 7.7 / 29.4 × 20.0  
[13018] 版画



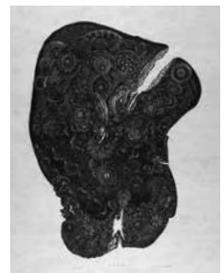
107 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
海花  
1984 (昭和 59)  
木口木版、紙  
11.1 × 12.8 / 28.6 × 21.4  
[13019] 版画



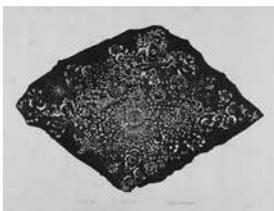
108 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA 生命  
1987 (昭和 62)  
木口木版、紙  
18.0 × 17.8 / 40.4 × 38.9  
[13020] 版画



109 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
永劫回帰  
1988 (昭和 63)  
木口木版、紙  
36.5 × 26.4 / 31.7 × 51.7  
[13021] 版画



110 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
火の歌  
1989 (昭和 64)  
木口木版、紙  
17.5 × 26.0 / 28.8 × 38.2  
[13022] 版画



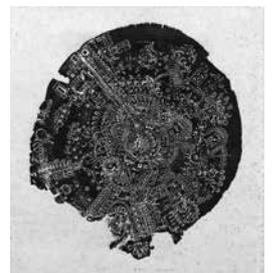
111 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
KALPA- REQUIEM  
1989 (昭和 64)  
木口木版、紙  
28.1 × 42.7 / 43.2 × 58.9  
[13023] 版画



112 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
未来都市 T  
1989 (昭和 64)  
木口木版、紙  
29.8 × 37.8 / 44.8 × 63.0  
[13024] 版画



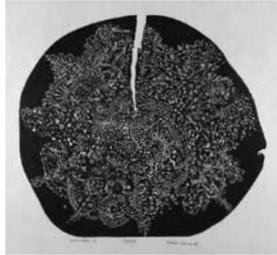
113 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
新世界  
1989 (昭和 64)  
木口木版、紙  
51.9 × 45.8 / 76.7 × 57.2  
[13025] 版画



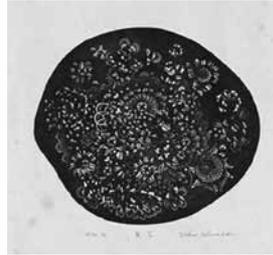
114 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
竜地蔵  
1990 (昭和 65)  
木口木版、紙  
7.1 × 6.0 / 31.0 × 19.0  
[13026] 版画



115 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
OPACA  
1990 (昭和 65)  
木口木版、紙  
31.8 × 35.1 / 44.0 × 54.0  
[13027] 版画



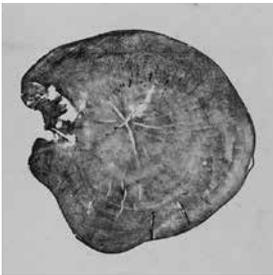
116 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
哀花  
1991 (昭和 66)  
木口木版、紙  
11.7 × 13.3 / 29.8 × 29.4  
[13028] 版画



117 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
題不詳  
制作年不詳  
木口木版、紙  
4.7 × 8.1 / 5.5 × 8.8  
[13029] 版画



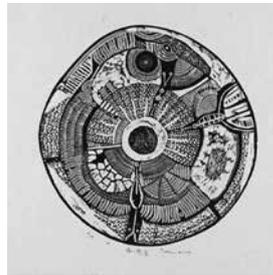
118 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
[資料・木材の断面]  
不詳  
木材の断面を刷ったもの、紙  
16.2 × 15.8 / 30.8 × 31.1  
[13030] 版画



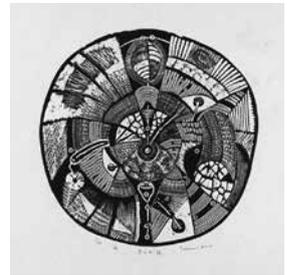
119 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
眼  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
15.8 × 15.8 / 26.6 × 25.7  
[13031] 版画



120 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
窓・鏡シリーズ A 働く感器  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
15.9 × 15.6 / 27.0 × 26.6  
[13032] 版画



121 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
窓・鏡シリーズ D 窓の中・鏡  
1966 (昭和 41)  
木口木版、紙  
15.2 × 15.2 / 27.0 × 26.7  
[13033] 版画



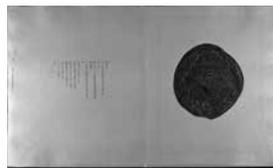
122 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
詩画集『卵』  
1970 (昭和 45) 年 11 月 16 日  
冊子  
42.9 × 35.0 × 2.0  
[13034] 版画



1 表紙  
木口木版、紙  
6.4 × 7.6  
[13034-1] 版画



2 見つめる…  
木口木版、紙  
19.9 × 18.4  
[13034-2] 版画



3 砲煙の…  
木口木版、紙  
12.2 × 10.9  
[13034-3] 版画



4 世界を割る…  
木口木版、紙  
7.3 × 6.4  
[13034-4] 版画



5 未知の優しい…  
木口木版、紙  
7.4 × 6.8  
[13034-5] 版画



6 暗黒の…  
木口木版、紙  
22.7 × 15.8  
[13034-6] 版画



7 宇宙のフライパン…  
木口木版、紙  
13.8 × 16.0  
[13034-7] 版画



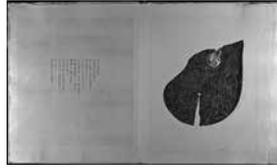
8 ゼロを並べよ…

木口木版、紙  
17.6 × 8.0  
[13034-8] 版画



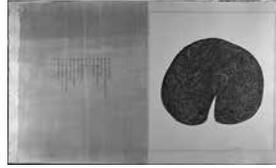
9 盲目の…

木口木版、紙  
22.5 × 20.8  
[13034-9] 版画



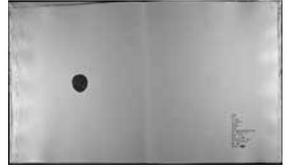
10 伐り倒された…

木口木版、紙  
22.2 × 26.0  
[13034-10] 版画



11 扉

木口木版、紙  
4.6 × 4.1  
[13034-11] 版画



123 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao

詩画集『緑の導火線』

1982 (昭和 57) 年 7 月 31 日  
冊子  
40.5 × 30.5 × 1.9  
[13035] 版画



1 扉

木口木版、紙  
3.3 × 5.0 / 29.7 × 40.0  
[13035-1] 版画



2 緑の導火線をつらぬいて花を  
はしらせる力が

木口木版、紙  
18.4 × 19.2  
[13035-2] 版画



3 とりわけ十月の風が

木口木版、紙  
15.9 × 12.0  
[13035-3] 版画



4 はじめに

木口木版、紙  
16.0 × 12.0  
[13035-4] 版画



5 ぼくがちぎるこのパン

木口木版、紙  
14.0 × 10.0  
[13035-5] 版画



6 塔のなかの耳

木口木版、紙  
13.9 × 9.9  
[13035-6] 版画



7 あらゆるぼくの五つのやほな感  
覚が見るとき

木口木版、紙  
13.8 × 15.9  
[13035-7] 版画



8 二十四の歳月

木口木版、紙  
14.1 × 10.0  
[13035-8] 版画



9 公園のせむし

木口木版、紙  
16.0 × 12.0  
[13035-9] 版画



10 ぼくの技巧 すねた芸術のた  
めに

木口木版、紙  
13.9 × 9.9  
[13035-10] 版画



11 しずかに横たわれ やすらか  
に眠れ

木口木版、紙  
16.0 × 11.9  
[13035-11] 版画



山中嘉一作品  
太田真実氏寄贈

1 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Signal  
1967 (昭和 42)  
シルクスクリーン、キャンバス  
162.0 × 130.3  
[13044] 洋画



2 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Metronome A  
1974 (昭和 49)  
シルクスクリーン、紙  
73.5 × 61.0  
[13045] 版画



3 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Metronome B  
1974 (昭和 49)  
シルクスクリーン、紙  
73.5 × 61.0  
[13046] 版画



4 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse 24  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.7  
[13047] 版画



5 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse 26  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.5  
[12064] 版画



6 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work - 141  
2001 (平成 13)  
アクリル絵具、帆布  
126.0 × 68.0  
[13040] 洋画



7 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work - 161 ベギー・グッゲンハイム  
2002 (平成 14)  
油彩、パーケル、木  
90.0 × 30.0  
[13041] 洋画



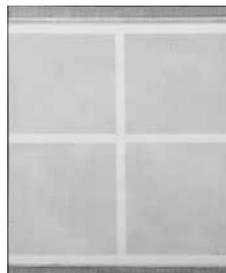
8 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work - 331  
2008 (平成 20)  
ミクストメディア、パーケル  
100.0 × 72.7  
[13042] 洋画



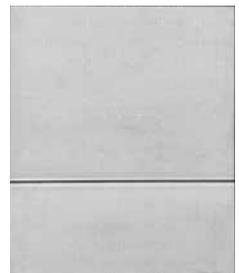
9 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work - 357  
2008 (平成 20)  
ミクストメディア、パーケル  
90.0 × 70.0  
[13043] 洋画



10 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work - 335  
2008 (平成 20)  
ミクストメディア、紙  
73.0 × 60.5  
[13049] 水彩・素描



11 山中嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work - 342  
2008 (平成 20)  
ミクストメディア、紙  
72.7 × 60.6  
[13050] 水彩・素描



# 図書資料収集

## 2021 年度購入

### 逐次刊行物 10 タイトル 51 冊

(内訳)

1	イラストレーション	4 冊
2	近代画説	1 冊
3	芸術新潮	12 冊
4	新建築	12 冊
5	版画芸術	3 冊
6	美術研究	3 冊
7	美術手帖	6 冊
8	美術フォーラム 21	2 冊
9	+81	2 冊
10	炎芸術	6 冊

### 単行本 6 タイトル 6 冊

(内訳)

1	奈良原一高	『王国』	中央公論社	1971
2	奈良原一高	『王国 —沈黙の園・壁の中— Domains』	朝日ソノラマ	1978
3	奈良原一高	『人間の土地 HUMAN LAND』	リプロボート	1987
4	奈良原一高	『太陽の肖像 文集』	白水社	2016
5	奈良原一高	『人間の土地 HUMAN LAND』	復刊ドットコム	2017
6	奈良原一高	『王国 Domains』	復刊ドットコム	2019

### ガレリア・グラフィカ旧蔵図書 109 タイトル 109 冊

(内訳)

1	『GEORGES ROUAULT MISERERE ジョルジュ・ルオー ミゼレーレ』	西武美術館	1972
2	『シャガール石版画全集 2』	出版 21 世紀	1978
3	『シャガール石版画全集 3』	出版 21 世紀	1978
4	『シャガール石版画全集 4』	出版 21 世紀	1978
5	『シャガール石版画全集 5』	出版 21 世紀	1978
6	『デューラー版画展幻想的予言と祈りの世界』	西武美術館	1980
7	『ライフタイムプリント レンブラント銅版画展』	フジカワ画廊東京店	1985
8	『シャガール石版画全集 1』	出版 21 世紀	1987
9	『レンブラント銅版画展』	GALLERY SANYO	1989
10	『日蘭交流 400 周年レブラント版画展』	東京新聞	2000
11	『James Ensor, graveur アンソール版画展』	マンガスティン	2001
12	『ケーテ・コルヴィッツ展』	読売新聞大阪本社	2005
13	『レンブラント版画展 —呼びかわす光と闇—』	名古屋ボストン美術館	2007
14	『アルブレヒト・デューラー版画・素描展 —宗教・肖像・自然—』	国立西洋美術館	2010
15	『レンブラント 光の探究 / 闇の誘惑 REMBRANDT The Quest for Chiaroscuro』	日本テレビ放送網(株)	2011
16	THE GRAPHIC WORK OF KATHE KOLLWITZ	GALERIE ST. ETIENNE	1913
17	THE ETCHINGS OF CHARLES MERYON	THE STUDIO	1921
18	LE PEINTRE-GRAVEUR ILLUSTRE		1921
19	J.M.W.TURNER'S LIBER STUDIORUM WITH A CATALOGUE RAISONNÉ		1924
20	Charles Meryon	H.Floury, Éditeur	1926
21	L'OEUVRE GRAVE DE GAUGUIN	ALAN WOFSEY FINE ARTS	1927
22	L'OEUVRE GRAVE DE JEAN-EMILE LABOUREUR, CHEZ L'AUTEUR		1929
23	PICASSO PEINTRE-GRAVEUR CATALOGUE ILLUSTRE DE L'OEUVRE GRAVE ET LITHOGRAPHIE ET LITHOGRAPHIE 1899-1931	Bernhard Geiser	1933
24	DUNOYER DE SEGONZAC, PIERRE CAILLER EDITEUR A GENEVE		1951
25	GEORGES BRAQUE:HIS GRAPHIC WORK	Harry N. Abrams, Inc.	1961
26	Bernard Buffet graveur	Joseph Foret	1961
27	MIRO Leben und Werk	Verlag M. DuMont Schauberg Koln	1961
28	THE COMPLETE WOODCUTS OF ALBECHT DURER	DOVER PUBLICATIONS, INC.	1963
29	Peter Bruegel L'Ancien Gravures Oeuvre Complet		1966
30	Emil Nolde • Das graphische Werk I		1966
31	Emil Nolde • Das graphische Werk II		1967
32	FRIEDENSREICH HUNDERTWASSER Catalogue raisonne de l'oeuvre grave 1951-1986	Office du Livre	1967
33	PICASSO PEINTRE-GRAVEUR		1968
34	PICASSO PEINTRE-GRAVEUR TOME II		1968

35	THE GRAPHIC WORKS OF ODILON REDON 209 Lithographs, Etchings and Engraving		1969
36	Kandinsky Das graphische Werk	DuMont	1970
37	EDOUARD MANET THE GRAPHIC WORK A CATALOGUE RAISONNE Revised Edition	ALAN WOFSY FINE ARTS	1970
38	De werelden van M.C.Escher, Meulenhoff		1971
39	ACQUES CALLOT incisioni, La Nuova Italia		1971
40	Pablo Picasso Tome II Catalogue de l'oeuvre grave et lithographie 1966–1969		1971
41	THE COMPLETE ENGRAVINGS, ETCHINGS & DRYPOINTS OF ALBRECHT DURER	Dover Publications, Inc.	1971
42	JOAN MIRO Lithographe I 1930–1952	A.C. MAZO & CIE	1972
43	I CLASSICI DELL'INCISIONE 5 Catalogo completo dell'opera grafica di Robetta		1973
44	HENRY MOORE THE GRAPHIC WORK L'ŒUVRE GRAVÉ DAS GRAPHISCHE WERK 1931–1972		1973
45	CHARLES MERYON PRINTS & DRAWINGS		1974
46	PIRANESI	Academy Editions/St.Martin'sPress	1975
47	DELVAUX	COSMOS MONOGRAPHIES BRUXELLES	1975
48	ENSOR	New York Graphic Society	1975
49	MAX ERNST CEUVRE KATALOG DAS GRAPHISCHE WERK, Menil Foundation	Du MONT	1975
50	OSKAR KOKOSCHKA Das druckgraphische Werk 1975–1980	Verlag Galerie Welz	1975
51	JOAN MIRO Lithographe II 1953–1963	MAEGHT EDITEUR	1975
52	tàpies Das graphische Werk L'œuvre gravé 1947–1972		1975
53	The Graphic Work of RENOIR		1975
54	JOAN MIRO Lithographe III 1964–1969	MAEGHT EDITEUR	1976
55	HENRY MOORE THE GRAPHIC WORK L'ŒUVRE GRAVÉ DAS GRAPHISCHE WERK 1973–1975		1976
56	The Complete Graphic Works of William Blake	Thames and Hudson	1978
57	FERNAND LEGER THE COMPLETE GRAPHIC WORK	BLUE MOON PRESS	1978
58	THE ETCHED WORK OF WHISTLER	DRAEGER	1978
59	Bernard Buffet Lithographe		1979
60	Pablo Picasso Tome IV Catalogue de l'oeuvre grave et lithographie 1970–1972 Supplements Tome I + II		1979
61	Ernst Fuchs Das Graphische Werk		1980
62	HENRY MOORE THE GRAPHIC WORK L'ŒUVRE GRAVÉ DAS GRAPHISCHE WERK 1976–1979		1980
63	MARK CHAGALL ET AMBROISE VOLLARD		1981
64	OSKAR KOKOSCHKA Das druckgraphische Werk II 1975–1980	Verlag Galerie Welz	1981
65	JOAN MIRO Lithographe IV 1969–1972	MAEGHT EDITEUR	1981
66	DE CHIRICO	Centre Georges Pompidou	1982
67	The Prints of LUCAS VAN LEYDEN & His Contemporaries	National Gallery of Art	1983
68	Œuvres de Vassily Kandinsky (1866–1944)		1984
69	THE PRINTS OF ROBERT MOTHERWELLA CATALOGUE RAISONNE 1943–1984	HUDSON HILL PRESS	1984
70	ALPHONSE MUCHA The Complete Posters and Panels	AHjert & Hjert Book	1984
71	CHAGALL LITHOGRAPHIE V 1974–1979	EDITIONS ANDRE SAURET	1984
72	tàpies Das graphische Werk L'œuvre gravé 1973–1978		1984
73	GIAMBATTISTA TIEPOLO il segno e l'enigma		1985
74	ETCHINGS BY REMBRANDT FROM THE COLLECTION OF FELIX SOMARY		1985
75	TOULOUSE-LAUTREC The complete prints vol. 1	Sotheby's Publications	1985
76	TOULOUSE-LAUTREC The complete prints vol. 2	Sotheby's Publications	1985
77	TRAJET DE JAN VOSS		1985
78	EARLY ARCHTECTURAL FANTASIES A Caralogue Raisonne of the Etchings	The Univercity of Chicago Press	1986
79	CHAGALL LITHOGRAPHS VI 1980–1985	EDITIONS ANDRE SAURET	1986
80	HENRY MOORE THE GRAPHIC WORK L'ŒUVRE GRAVÉ DAS GRAPHISCHE WERK 1980–1984		1986
81	HENRY MOORE THE GRAPHIC WORK L'ŒUVRE GRAVÉ DAS GRAPHISCHE WERK 1980–1984		1986
82	The Etchings of CLAUDE LORRAIN	Yale University	1988
83	THE DRAWINGS OF Picasso	HAMLYN	1988
84	Eric Gill The Engravings	THE HERBEST PRESS	1990
85	EGON SCHIELE THE COMPLETE WORKS		1990
86	TURNER, J.M.W		1990
87	Martin Sihongauer MAITRE DE LA GRAVURE RHENANE VERS 1450–1491		1991
88	Rembrandt:The Master & his Workshop Etchings	NG Yale	1991
89	JOAN MIRO Lithographe V 1972–1975	MAEGHT EDITEUR	1992
90	JOAN MIRO Lithographe VI 1976–1981	MAEGHT EDITEUR	1992
91	The Dr.Otto Schafer Collection of Rembrandt Etchings	SOTHEYBY'S	1993
92	Museo Morandi Catalogo generale/Complete Illustrated Catalogue	Silvana Editoriale	1993
93	Prints and Engraved Illustrations By and After HENRY FUSELI A Catalogue Raisonne	SCOLAR PRESS	1994
94	Oskar Kokoschka, Works on Paper The Early Years, 1897–1917	The Solomon R.	1994
95	NOLDE The Painter's Prints		1995
96	PICASSO AND PORTRAITUREREPRESENTATION AND TRANSFORMATION	THAMES AND HUDSON	1996
97	Albecht Durer oeuvre grave	PARIS musees	1996
98	Antoni Tàpies OBRA GRÁFICA		1996
99	HENRI MICHAUX LES ESTAMPES • 1948–1984		1997
100	RENOIR L'ŒUVE GRAVÉ ET LITHOGRAPHIÉ THE ETCHINGS AND LITHOGRAPHS		1999

101	DURER Das druckgraphische WerkKupferstiche, Eisenradierungen und Kaltnadelblätter vol. 1	PRESTEL	2001
102	DURER Das druckgraphische WerkHolzschnitte und Holzschnittfolgen vol. 2	PRESTEL	2002
103	ALBRECHT DURER AND HIS LEGACYTHE graphic Work of a Renaissance Arist	THE BRITISH MUSEUM PRESS	2002
104	James Ensor A Collection of Prints	C.G.Boerner, Inc.	2003
105	Rembrandt The Richard Harris Collection	C G BOERNER	2003
106	DURER Das druckgraphische Werk Buchillustrationen vol. 3	PRESTEL	2004
107	ETCHED IN TIME:REMBRANDT THE PRINTMAKER	CHRISTPHER-CLARK FINE ART	2006
108	PIRANESI The Complete Etchings	TASCHEN	*発行年 不詳
109	A COLLECTION OF ETCHINGS BY REMBRANDT HARMENSZ.VAN RIJIN (1606–1669)	SOTHERBY'S	*発行年 不詳

# 保存事業

## 1 作品・資料の状態調査

展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マウントや額の改良・交換を中心に処置を進めた。

## 2 作品・資料の保存環境

館内が作品保存にふさわしい環境であるように整備、管理した。

- ・ 展示室、収蔵庫等作品保管区画の温湿度観察を実施
- ・ 収蔵庫、展示資材倉庫等の清掃を実施
- ・ IPM（総合有害生物管理）の一環として、外部の専門家に委託してトラップによるモニタリングを館内 98 箇所 4 回実施（2021 年 6 月、9 月、12 月、2022 年 3 月）。常に調査すべき 16 箇所では 8 回実施（2021 年 4 月、5 月、7 月、8 月、10 月、11 月、2022 年 1 月、2 月）
- ・ 収蔵庫・展示室・展示ケース内のホルムアルデヒド・酢酸・蟻酸を測定する空気環境測定を実施（2021 年 7 月、11 月の 2 回）
- ・ 展示室等のブンガンによる燻蒸を実施（1 階：2022 年 1 月、2 階・地下：2022 年 1 月）
- ・ 収蔵庫・展示室など 22 箇所をエアースンプラーにより採取、培養検査を行う空中浮遊菌調査を実施（2021 年 12 月）
- ・ 新収蔵作品・受託作品を中心にエキヒューム S による被覆燻蒸を実施（2022 年 1 月）
- ・ 1 階展示室照明を LED に変更（2021 年 4 月竣工）

## 3 作品・資料の保存修復

館外の保存修復専門家による状態調査を実施・記録し、修復が必要と判断された作品のうち、優先順位の高いものについて処置を実施した。

〈油彩作品〉

- 1 ヘンリー・杉本《カメルハイランド海辺》1937 年 油彩、キャンバス  
主な処置内容：状態調査、膠水による浮き上がり接着、支持体破損部接着、旧処置除去（油性画布による耳の補強、支持体当布）、耳補強、仮張り、支持体の変形修正、洗浄、旧ワニス・加筆除去、充填・整形、補彩、ワニス塗布、額新調  
処置者：村松裕美、額装：画箋堂

〈紙本作品〉

- 1 織田一磨『大阪風景』《永代濱》1917 年 石版、紙
- 2 織田一磨『大阪風景』《津村別院》1918 年 石版、紙
- 3 織田一磨『大阪風景』《中之島公園》1918 年 石版、紙
- 4 織田一磨『大阪風景』《安治川口》1918 年 石版、紙
- 5 織田一磨『大阪風景』《浮世小路月夜》1918 年 石版、紙
- 6 織田一磨『大阪風景』《京町橋夜景》1919 年 石版、紙
- 7 織田一磨『大阪風景』《京町堀》1919 年 石版、紙
- 8 織田一磨『大阪風景』《高津神社》1919 年 石版、紙  
主な処置内容：状態調査、本紙の変色・染みの軽減、欠損部・破れ補修、ヒンジ接着ほか  
処置者：坂本雅美
- 9 石垣栄太郎《ハーレム裁判所のための壁画画稿 Ⅰ（アフリカにおける奴隷狩り）》1935-37（昭和 10-12）年頃 木炭、紙、パネル（2 面）  
主な処置内容：  
状態調査、本紙をパネルから外す、破れなど仮補修、パネルへ仮留めほか  
処置者：坂本雅美、杉山恵助

## 4 作品・資料の管理

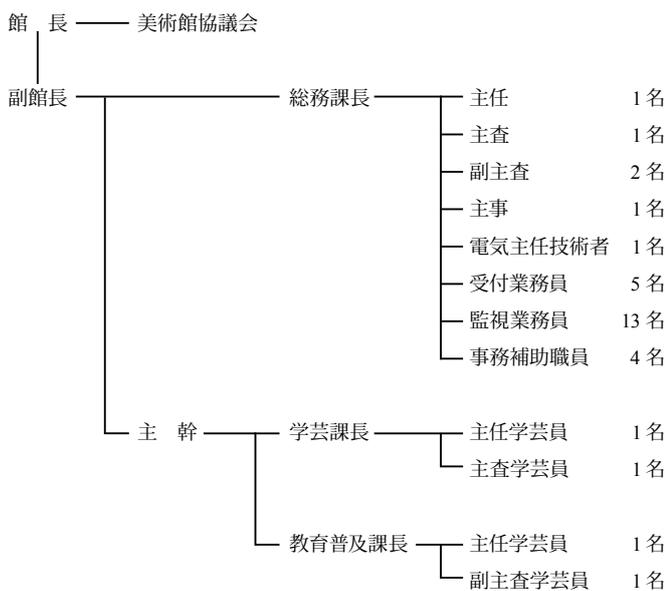
作品の状態調査、展示、貸出記録、台帳・データベースの管理を日常的に実施、更新処理を行っている。

## 5 作品・資料のデータ公開

展覧会出品目録、新収蔵作品目録を年報に掲載した。

# 管理運営

## 組織



## 機構及び職員配置

館長： 山野 英嗣  
 副館長： 岡本 邦敬  
 主幹： 奥村 泰彦  
 総務課 総務課長：花田 眞秀(和歌山県立博物館総務課長兼務)  
 主任：藤井 達也(和歌山県立博物館主任兼務)  
 主査：池田 真理(和歌山県立博物館主査兼務)  
 副主査：大西 佑亮(和歌山県立博物館副主査兼務)  
 副主査：井上 佳典(和歌山県立博物館副主査兼務)  
 主事：西山 真帆(和歌山県立博物館副主査兼務)  
 電気主任技術者：寺井 武志(会計年度任用職員)  
 学芸課 学芸課長：井上 芳子  
 主任学芸員：植野 比佐見  
 主査学芸員：青木 加苗  
 教育普及課 教育普及課長：奥村 一郎  
 主任学芸員：宮本 久宣  
 副主査学芸員：藤本 真名美  
 受付業務員 5 名、監視業務員 13 名、事務補助職員 4 名

## 和歌山県立近代美術館協議会委員

任期 2 年：2022 (令和 4) 年 11 月 2 日まで

氏名(◎会長)	役職
◎ 榎本 長治	会社社長
奥村 孝	和歌山市立雑賀崎小学校 校長/和歌山県美育連盟 会長
五十殿 利治*	筑波大学 名誉教授
川瀬 和男	会社社長
杵村 直子	一般社団法人 MAP 代表理事
鈴木 源二	画家/和歌山県美術家協会 会長
建畠 哲*	多摩美術大学 学長/埼玉県立近代美術館 館長
谷 奈々	一般財団法人 和歌山社会経済研究所 研究委員
真砂 美香	紀の川市子ども・子育て会議委員/わかやまメディアリテラシー研究会 代表
三木 哲夫*	兵庫陶芸美術館 館長
雪山行二*	前富山県美術館 館長
渡部 幹雄	和歌山大学 名誉教授

氏名五十音順、現在委員 12 名

\*は、和歌山県立近代美術館評価部会委員。現在委員 5 名

### 第 70 回和歌山県立近代美術館協議会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021 (令和 3) 年 6 月書面開催。  
 2020 (令和 2) 年度事業報告、2021 (令和 3) 年度事業説明を受けて、当館の運営について協議が行われた。

### 第 71 回和歌山県立近代美術館協議会

2021 (令和 3) 年 11 月 29 日午後 2 時より開催。2022 (令和 4) 年度事業案などについて協議が行われた。

### 第 9 回和歌山県立近代美術館評価部会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021 (令和 3) 年 6 月書面開催。  
 2020 (令和 2) 年度美術館運営評価、および 2021 (令和 3) 年度美術館運営目標などについて協議が行われた。

### 第 10 回和歌山県立近代美術館評価部会

2021 (令和 3) 年 11 月 30 日午前 10 時より開催。学芸員に係る評価について協議が行われた。

# 安全と快適性

## 1 施設・設備の維持管理

1. 施設・設備の定期的な保守管理、日常的なメンテナンス、修繕、関係職員への教育等による安全確保
  - 施設・設備の定期的な保守管理、日常のメンテナンスを行うとともに、経年劣化による修繕箇所を把握し、空調設備、ブロック塀改修、所蔵美術作品修復等の修繕を予算の範囲内で実施することにより安全確保を行った。
2. 施設・設備の改修や新たな整備
  - 1階展示室照明器具取替工事を実施した(2021年1月～4月)。
  - 外壁改修工事に伴う実施設計を行った。
3. 日常的なメンテナンス等による施設の美観の保持・衛生管理
  - 日々メンテナンスを行い設備の保持、施設の美観等衛生管理を行った。
  - 天井の雨漏りに対して部分修繕を行った。

## 2 快適性の向上

1. バリアフリー対策・ユニバーサルデザイン等の対応
  - 必要に応じて導線上の点字ブロックの修繕、自動ドア等の改修を行った。
2. 利用者に対する接遇
  - 職員に対し、利用者への適切な対応をするよう指導した。
3. 快適性向上のための上記以外の取り組み
  - 経年劣化によるトイレ設備の修繕を行った。

## 3 危機管理

1. 危機管理・防災体制
  - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒剤や自動体温計を設置するなど来館者への感染拡大防止への体制を強化した。
  - 地震及び火災時の避難訓練を実施した。
2. 個人情報の保護・データ管理
  - 講演会等の展覧会関連事業開催に伴う参加者及び学芸員育成にかかる実習生の情報管理を適切に行った。

## 4 職員研修

- 研修への参加には、できる限り対応したが、各職員2回以上は達成できなかった。

## 5 情報公開・利用者のニーズなどの把握

1. 使命、目標、計画などの方針の公開
  - 和歌山県立近代美術館の使命を2016(平成28)年3月4日よりホームページで公開している。
2. 実績や評価結果の公開
  - 令和2年度の実績評価についてホームページで公開した。
3. 入館者情報(年齢層・地域・情報入手手段等)の把握
  - アンケートにより入館者情報の把握を行った。

## 4. 利用者の満足度・ニーズなどの把握

- アンケートにより利用者の満足度・ニーズなどの調査を行った。

## 5. 調査結果等を反映した運営

- エントランス床のクリーニング清掃を行った。



# 関係法規・規則・規定等

## ○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和 45 年 10 月 6 日  
和歌山県条例第 64 号  
改正 平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

**和歌山県立近代美術館設置及び管理条例** (平 6 条例 18・改称)

(設置)

**第 1 条** 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平 6 条例 18・一部改正)

(位置)

**第 2 条** 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号に置く。

(平 6 条例 18・一部改正)

(事業)

**第 3 条** 近代美術館は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平 6 条例 18・一部改正)

(使用料)

**第 4 条** 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和 22 年和歌山県条例第 28 号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

**第 5 条** 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和 45 年 11 月 2 日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和 45 年 10 月 22 日  
和歌山県教育委員会規則第 20 号  
**改正** 昭和 53 年 4 月 1 日教育委員会規則第 12 号  
昭和 56 年 5 月 28 日教育委員会規則第 7 号  
昭和 63 年 3 月 31 日教育委員会規則第 13 号  
平成 元 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号  
平成 6 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号  
平成 13 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号  
平成 17 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号  
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 15 号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

### 和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

**第 1 条** この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和 45 年和歌山県条例第 64 号。以下「条例」という。)第 5 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

**第 2 条** 近代美術館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。  
2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

**第 3 条** 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。  
(1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)  
(2) 年始(1 月 1 日から同月 3 日まで)  
(3) 年末(12 月 29 日から同月 31 日まで)  
(4) 前 3 号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日  
2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第 1 号から第 3 号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。  
3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。  
(1) 休館の期間  
(2) 非常変災その他急迫の事情の概要  
(3) その他必要と認める事項

(職員)

**第 4 条** 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

**第 5 条** 近代美術館に、次の課を置く。  
総務課  
教育普及課  
学芸課

- 2 総務課においては、次の事務をつかさどる。
  - (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事。
  - (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事。
  - (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関する事。
  - (4) 予算、決算及び会計に関する事。
  - (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事。
  - (6) その他学芸課の主管に属しない事。
- 3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。
  - (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関する事。
  - (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関する事。
  - (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関する事。
  - (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関する事。
  - (5) 美術館活動（美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。）に係る調査研究に関する事。
- 4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
  - (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関する事。
  - (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関する事。
  - (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関する事。
  - (4) 近代美術館協議会に関する事。

（入館の拒絶、制限及び退館命令）

**第6条** 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 伝染性疾患のある者
- (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
- (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
- (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認めた者

2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

（損害賠償の義務）

**第7条** 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

（委任）

**第8条** この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

**付 則**

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

**附 則**（昭和53年4月1日教育委員会規則第12号）

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則**（昭和56年5月28日教育委員会規則第7号）

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則**（昭和63年3月31日教育委員会規則第13号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

**附 則**（平成元年3月31日教育委員会規則第7号）

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

**附 則**（平成6年3月31日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

**附 則**（平成13年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

**附 則**（平成17年2月25日教育委員会規則第2号）

この規則は平成17年4月1日から施行する。

**附 則**（平成19年3月30日教育委員会規則第15号）

この規則は平成19年4月1日から施行する。

# ○和歌山県博物館協議会条例

昭和 57 年 3 月 29 日  
和歌山県条例第 11 号  
改正 平成 24 年和歌山県条例 28 号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

## 和歌山県博物館協議会条例

(設置)

**第 1 条** 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 20 条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の任命の基準)

**第 2 条** 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

**第 3 条** 委員の定数は、15 人以内とする。

(任期)

**第 4 条** 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

**第 5 条** 協議会に、会長及び副会長 1 人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第 6 条** 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

**第 7 条** 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。

- 2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。
- 3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。
- 4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

**第 8 条** 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

**第 9 条** この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 24 年 3 月 23 日条例第 28 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(平成元年 8 月 1 日教育長決定)

改正 平成 14 年 3 月 1 日

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱を次のように定める

### 和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(目的)

**第 1 条** 和歌山県博物館協議会条例(昭和 57 年和歌山県条例第 11 号)第 7 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)において収集する美術作品の選定に関する事務を適正かつ円滑に行うことを目的として、和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(業務)

**第 2 条** 委員会は、美術館において収集する美術作品の選定に関する事項を審議する。

(構成)

**第 3 条** 委員会は、委員 5 名以内をもって構成する。  
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。  
3 委員の任期は、2 年とし、再任することができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

**第 4 条** 委員会に、委員長を置く。  
2 委員長は、委員のうちから協議会会長が指名する。  
3 委員長は、会務を総理する。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

**第 5 条** 委員会の会議は、和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)が招集する。  
2 委員会の会議には、館長が、必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(庶務)

**第 6 条** 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

**第 7 条** この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は、館長が定める。

### 附 則

この要綱は、平成元年 8 月 1 日から施行する。

改正文(平成 14 年教育長決定)抄

この要綱は、平成 14 年 3 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館評価部会設置要綱

平成 26 年 4 月 1 日施行

(目的)

**第 1 条** 和歌山県博物館協議会条例(昭和 57 年和歌山県条例第 11 号)第 7 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)の運営の状況等を評価することを目的として、和歌山県立近代美術館評価部会(以下「部会」という。)を設置する。

(業務)

**第 2 条** 部会の業務は、次に掲げるとおりとする。  
(1) 美術館の運営について評価する項目を定め、各項目について評価を行う。  
(2) 館長が行った新規採用学芸員に係る条件付き採用期間中の評価及び既存の学芸員に係る 3 年に 1 度の評価に関し、意見を述べる。

(委員)

**第 3 条** 委員の定数は、5 人以内とする。  
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。

(任期)

**第 4 条** 委員の任期は、2 年とし、再任することができる。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

**第 5 条** 部会に、部会長を置く。  
2 部会長は、委員のうちから協議会会長が指名する。  
3 部会長は、会務を総理する。ただし、部会長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

**第 6 条** 部会の会議は、美術館長(以下「館長」という。)が招集する。  
2 部会の会議には、館長が、必要に応じて、委員ではない者の出席を求めることができる。

(庶務)

**第 7 条** 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

**第 8 条** この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、館長が定める。

# ○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和 46 年 10 月 12 日

和歌山県教育委員会規則第 26 号

改正 昭和 56 年 8 月 29 日教委規則第 15 号平成元年 3 月 31 日

教委規則第 8 号

平成 31 年 4 月 5 日教委規則第 17 号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

## 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

**第 1 条** この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

**第 2 条** 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認められた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

- 2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

**第 3 条** 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
- (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的
- (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中における保管及び管理の方法
- (7) その他参考となる事項

(貸付承認)

**第 4 条** 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。

(貸付期間)

**第 5 条** 美術品の貸付期間は、通常 2 月以内(以下「1 期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めるときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

**第 6 条** 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

- (1) 借り受ける美術品の名称及び数量
  - (2) 借受期間
  - (3) 返納期日
  - (4) 返納場所
  - (5) 貸付条件に従う旨
- 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。
  - 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

**第 7 条** 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

- 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

- 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

**第 8 条** 美術品の貸付料は、1 点につき 1 期間 3,300 円とし、第 5 条ただし書の貸付期間の延長の場合にあつては、1 月以内の延長期間については、1,650 円とし、1 月を超える延長期間については 3,300 円とする。

- 2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することができる。
- 3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

**第 9 条** 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を要求することができる。

(補則)

**第 10 条** この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和 42 年和歌山県教育委員会規則第 22 号)は、廃止する。

附 則(昭和 56 年 8 月 29 日教育委員会規則第 15 号)

この規則は、昭和 56 年 9 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号)

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 31 年 4 月 5 日教育委員会規則第 17 号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第 2 条の規定は、平成 31 年 10 月 1 日から施行する。

別記様式(第 4 条関係)

番号			
年 月 日			
<b>美術品貸付承認書</b>			
殿			
和歌山県立近代美術館長 印			
年 月 日付で承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。			
記			
1	貸付品	種別	作者名 題名
		材質	形状 製作年
2	貸付期間	年 月 日から	年 月 日まで
3	貸付料	金	円
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。			
4	美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受人において負うものとする。		
5	美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換えに引き渡すものとする。		
6	その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。		

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

# ○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日  
和歌山県教育委員会告示第12号  
改正 平成6年3月31日教委告示第1号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

## 和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

**第1条** この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

**第2条** 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

**第3条** 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第1号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならない。

(受入れ及び返還)

**第4条** 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第2号様式による受託証書を交付するものとする。

- 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に別記第3号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。
- 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。
- 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

**第5条** 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

- 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

**第6条** 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、又は所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出て、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

**第7条** 受託証書を忘失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

**第8条** 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

**第9条** この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会告示第1号)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

別記第1号様式(第3条関係)

## 美術作品保管依頼書

種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作品の所在地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住所

氏名

Ⓜ

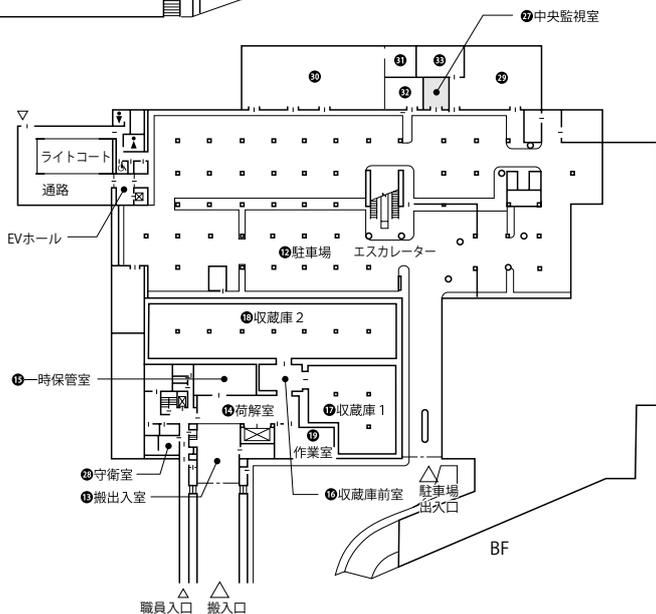
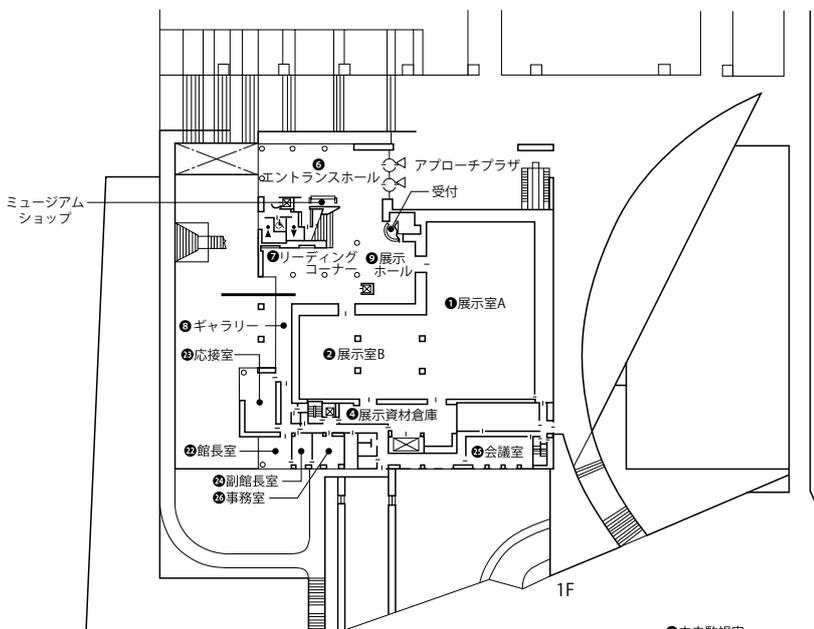
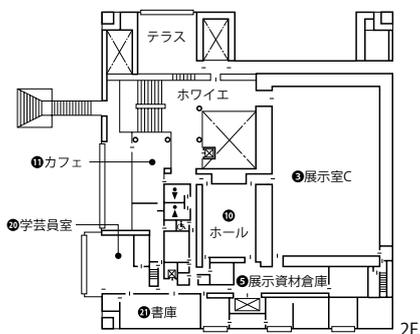
記

- 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
- 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
- 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

	文書番号
	年 月 日
<b>受託証書</b>	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。	
年 月 日	
住所	
氏名	様
	和歌山県立近代美術館長 ㊟

<b>返還請求書</b>	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。	
年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
	住所
	氏名
	㊟

# 建築概要



## 部門別面積表

部門	室名	面積 (㎡)
<b>展示部門</b>		
①	展示室 A	1,057.0
②	展示室 B	486.1
③	展示室 C	1,038.6
④	展示資材倉庫 (1F)	136.2
⑤	展示資材倉庫 (2F)	121.5
	(小 計)	2,839.4
<b>サービス部門</b>		
⑥	エントランスホール	402.2
⑦	リーディングコーナー	217.8
⑧	ギャラリー	46.9
⑨	展示ホール	134.0
⑩	ホール	181.5
	ホール前室、映写室、控室 A、倉庫	74.6
⑪	カフェ	105.1
	厨房	62.0
	テラス	217.9
	化粧室	181.9
⑫	駐車場	2,480.1
	EV ホール、廊下、階段、その他	1,670.7
	(小 計)	5,774.7
<b>収蔵部門</b>		
⑬	搬出入室	108.4
⑭	荷解室	130.0
⑮	一時保管室	81.0
⑯	収蔵庫前室	61.4
⑰	収蔵庫 1	342.5
⑱	収蔵庫 2	685.6
⑲	作業室	82.0
	(小 計)	1,490.9
<b>調査部門</b>		
⑳	学芸員室、倉庫	123.2
㉑	書庫	113.1
	(小 計)	236.3
<b>管理部門</b>		
㉒	館長室	
㉓	応接室	
㉔	副館長室	
㉕	会議室	
㉖	事務室	
㉗	中央監視室	
㉘	守衛室	444.7
	控室 B	
	控室 C	
	控室 D	
	更衣室	
	救護室	
㉙	電気室	212.4
㉚	マシンルーム	364.9
㉛	消火ポンプ室	38.7
㉜	ハロンボンベ室	51.2
㉝	発電機室	58.1
	空調機械室	295.5
	倉庫、その他	31.1
	(小 計)	1,496.6
	合 計	11,837.9
<b>階数</b>		
	各階面積	
2F	2,916.8	
1F	3,436.8	
BF	5,484.3	
合 計 (延床面積)	11,837.9	

## 近代美術館・博物館 建築概要

所在地	和歌山市吹上一丁目4番14号
敷地面積	23,356.78㎡
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円(用地費含む)〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

## 建物概要

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造) 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17㎡ (美術館部分4,500.62㎡ 博物館部分2,586.55㎡)
延床面積	18,704.50㎡(駐車場3,460.40㎡を含む) (美術館部分11,837.90㎡ 博物館部分6,866.60㎡)
仕上	外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイト仕上、アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

## 設備概要

### 電気設備

受変電設備	3φ3W6600V 60Hz 変圧器 1φ600KVA(うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA(うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービクル式直流電源装置 容量 300AH

### 空調設備

熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュウ式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560㎡
排煙設備	自然排煙+機械排煙6系統(うち美術館4系統 博物館2系統)

### 衛生設備

給水設備	受水槽 上水10㎡、雑用水29㎡ 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式(公共下水道へ放流)

消火設備	ハロンガス消火(収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) /屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火(駐車場)
------	--

自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理)
煙感知器	光電スポット型 美術館239台 博物館139台
熱感知機	差動スポット型 美術館91台 博物館52台 定温スポット型 美術館17台 博物館13台

### 防災・防犯設備(館内守衛室にて集中管理)

受信盤	複合GR型 1020回線
ITV監視装置、防災アンプ	(720W)
監視カメラ	美術館29台(うち展示室9台) 博物館15台(うち展示室6台)
防犯センサー	

## 展示・保存環境

		面積	床材	天上高
展示部門	1F 展示室 A	1,057.0㎡	ナラフローリング	5m
	ケース L13,706 × D1,200 × H3,372 + L31,070 × D1,200 × H3,372 (mm)			
	1F 展示室 B	486.1㎡	同上	4m
	2F 展示室 C	1,038.6㎡	同上	5m
	ケース L25,211 × D1,200 × H3,372 (mm)			
2F 展示資材倉庫	1F 展示資材倉庫	136.2㎡	ビニアスタイル	4 m
	121.5㎡	同上	4m	
収蔵部門	収蔵庫 1 (立体)	342.5㎡	耐水合板下地	4m
	ブナフローリング			
	収蔵庫 2 (平面)	685.6㎡	同上	4m
	前室	61.4㎡	同上	4m
	一時保管室	81.0㎡	モザイクパーケット	4m
	作業室	82.0㎡	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室	130.0㎡	同上	5.8m
搬出入口	108.4㎡	モルタル金ゴテ/エポキシ系塗床	4.8m	
展示照明 (1階)	LED ダウンライト/LED スポットライト (着脱式) / LED 壁面ケース内ライト			
	高演色タイプ、無段階調光調色可能			
(2階)	LED ダウンライト/LED スポットライト (着脱式) / LED 壁面ケース内ライト			
	高演色タイプ、無段階調光調色可能			
	* 2021年1月から4月にかけて1階展示室照明改修工事を実施			
空 調	展示室	2系統		
	収蔵庫	2系統		
	展示室	設定温度	通年 22℃	
		設定湿度	通年 55%	
	収蔵庫	設定温度	通年 22℃	
	設定湿度	通年 55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量 3.0 トン			
	H3,000 × W5,000 × D2,500 (mm)			

# 案内

## 利用案内

開館時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで)  
休館日 毎週月曜日 (祝日のときはその翌平日)  
年末年始 (12月29日～1月3日)  
展示替え期間  
駐車場 有料 (90台収容)

## 交通案内

JR 和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、  
「県庁前」下車、徒歩2分  
(和歌山城の南、県庁前交差点すぐ)



2021 (令和3) 年度

和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2023

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337

2023 (令和5) 年3月31日発行

印刷 中和印刷紙器株式会社

